

参考資料

参考資料 医療費等統計

1. 基礎統計

当医療費統計は、令和4年4月～令和5年3月診療分(12か月分)のレセプトデータを対象とし分析したものです。被保険者数、レセプト件数、医療費、患者数等は以下のとおりです。被保険者数は平均3,186人、レセプト件数は平均3,658件、患者数は平均1,591人です。また、患者一人当たりの医療費は平均62,517円となっています。

基礎統計

			令和4年4月	令和4年5月	令和4年6月	令和4年7月	令和4年8月	令和4年9月	令和4年10月
A	被保険者数(人)		3,267	3,220	3,213	3,205	3,195	3,183	3,192
B	レセプト件数(件)	入院外	2,157	2,067	2,111	2,093	2,175	2,073	2,093
		入院	70	77	78	72	65	70	77
		調剤	1,613	1,551	1,564	1,550	1,590	1,533	1,512
		合計	3,840	3,695	3,753	3,715	3,830	3,676	3,682
C	医療費(円) ※		94,348,710	94,968,230	98,007,020	92,009,230	97,115,580	93,363,910	117,433,980
D	患者数(人) ※		1,661	1,612	1,634	1,605	1,663	1,584	1,602
C/A	被保険者一人当たりの医療費(円)		28,879	29,493	30,503	28,708	30,396	29,332	36,790
C/B	レセプト一件当たりの医療費(円)		24,570	25,702	26,114	24,767	25,357	25,398	31,894
C/D	患者一人当たりの医療費(円)		56,802	58,913	59,980	57,327	58,398	58,942	73,305
D/A	有病率(%)		50.8%	50.1%	50.9%	50.1%	52.1%	49.8%	50.2%
三要素	受診率(件/人・月) ※		0.68	0.67	0.68	0.68	0.70	0.67	0.68
	一件当たりの日数(日) ※		1.88	1.94	1.93	1.91	1.89	1.93	2.00
	一日当たりの医療費(円) ※		22,512	22,845	23,180	22,267	22,894	22,557	27,009

			令和4年11月	令和4年12月	令和5年1月	令和5年2月	令和5年3月	12カ月平均	12カ月合計
A	被保険者数(人)		3,162	3,155	3,168	3,137	3,138	3,186	
B	レセプト件数(件)	入院外	2,060	2,061	1,912	1,839	2,050	2,058	24,691
		入院	74	83	78	89	74	76	907
		調剤	1,521	1,531	1,431	1,371	1,535	1,525	18,302
		合計	3,655	3,675	3,421	3,299	3,659	3,658	43,900
C	医療費(円) ※		102,419,210	104,573,310	99,587,910	104,344,030	95,536,560	99,475,640	1,193,707,680
D	患者数(人) ※		1,585	1,606	1,506	1,469	1,567	1,591	19,094
C/A	被保険者一人当たりの医療費(円)		32,391	33,145	31,436	33,262	30,445	31,220	
C/B	レセプト一件当たりの医療費(円)		28,022	28,455	29,111	31,629	26,110	27,192	
C/D	患者一人当たりの医療費(円)		64,618	65,114	66,127	71,031	60,968	62,517	
D/A	有病率(%)		50.1%	50.9%	47.5%	46.8%	49.9%	49.9%	
三要素	受診率(件/人・月) ※		0.67	0.68	0.63	0.61	0.68		
	一件当たりの日数(日) ※		1.94	2.03	2.06	2.02	1.93		
	一日当たりの医療費(円) ※		24,793	24,034	24,308	26,851	23,273		

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12か月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

※医療費…レセプトに記載されている請求点数を集計し、金額にするために10倍にして表示。

※患者数…同診療年月で一人の方に複数のレセプトが発行された場合は、一人として集計。

※受診率…被保険者一人当たり、一月当たりのレセプト件数。集計に調剤レセプトを含まない。一月当たりのレセプト件数のため、他帳票の受診率とは一致しない。

※一件当たりの日数…集計に調剤レセプトを含まない。

※一日当たりの医療費…医療費の集計に調剤レセプトを含む。日数の集計に調剤レセプトを含まない。

以下は、令和4年4月～令和5年3月診療分(12か月分)における、被保険者一人当たりの医療費及びその構成要素である受診率、一件当たりの日数、一日当たりの医療費を入院・入院外別に示したものです。

受診率が表すのは被保険者一人当たりのレセプト件数です。受診動向や感染症の流行に影響を受けやすく医療機関を受診する人が多いと受診率が高くなります。一件当たりの日数はレセプト一件当たりの診療実日数であり、通院頻度や入院日数等の影響を受けます。一日当たりの医療費は医療費の単価(一回の診療または一日の入院にかかる医療費)を表しています。

被保険者一人当たりの医療費及び医療費の三要素

		入院	入院外	全体
被保険者一人当たりの医療費(円)		156,569	179,687	336,256
三要素	受診率(件/人) ※	0.26	6.96	7.21
	一件当たりの日数(日) ※	18.42	1.35	1.95
	一日当たりの医療費(円) ※	33,267	19,156	23,871

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12か月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

本分析における被保険者一人当たりの医療費は、分析期間内の被保険者数を用いて算出している。そのため、月単位の被保険者数を用いて算出している他帳票とは一致しない。

※受診率…被保険者一人当たりのレセプト件数。集計に調剤レセプトを含まない。

※一件当たりの日数…集計に調剤レセプトを含まない。

※一日当たりの医療費…医療費の集計に調剤レセプトを含む。日数の集計に調剤レセプトを含まない。

以下は、年齢階層別に被保険者数、レセプト件数、医療費、患者数等を示したものです。

年齢階層別基礎統計

年齢階層	A	B				C	D
	被保険者数(人)	レセプト件数(件)				医療費(円) ※	患者数(人) ※
		入院外	入院	調剤	合計		
0歳 ～ 4歳	48	259	7	223	489	10,940,900	44
5歳 ～ 9歳	71	297	0	237	534	4,260,240	60
10歳 ～ 14歳	72	275	1	182	458	4,688,960	53
15歳 ～ 19歳	65	150	0	108	258	1,943,060	43
20歳 ～ 24歳	75	106	2	57	165	2,385,260	31
25歳 ～ 29歳	76	163	15	105	283	9,622,190	39
30歳 ～ 34歳	95	290	6	215	511	7,408,420	53
35歳 ～ 39歳	119	514	11	341	866	15,367,580	72
40歳 ～ 44歳	159	617	41	404	1,062	35,299,470	100
45歳 ～ 49歳	148	597	28	446	1,071	40,196,090	86
50歳 ～ 54歳	133	646	41	454	1,141	39,616,690	95
55歳 ～ 59歳	184	979	15	771	1,765	41,078,990	121
60歳 ～ 64歳	335	2,517	83	1,808	4,408	131,552,140	267
65歳 ～ 69歳	773	6,229	237	4,587	11,053	281,358,940	650
70歳 ～	1,197	11,052	420	8,364	19,836	567,988,750	1,115
合計	3,550	24,691	907	18,302	43,900	1,193,707,680	2,829

年齢階層	C/A	C/B	C/D	D/A	医療費の三要素		
	被保険者一人当たりの医療費(円)	レセプト一件当たりの医療費(円)	患者一人当たりの医療費(円)	有病率(%)	受診率(件/人) ※	一件当たりの日数(日) ※	一日当たりの医療費(円) ※
0歳 ～ 4歳	227,935	22,374	248,657	91.7%	5.54	1.55	26,620
5歳 ～ 9歳	60,003	7,978	71,004	84.5%	4.18	1.25	11,514
10歳 ～ 14歳	65,124	10,238	88,471	73.6%	3.83	1.23	13,791
15歳 ～ 19歳	29,893	7,531	45,187	66.2%	2.31	1.19	10,855
20歳 ～ 24歳	31,803	14,456	76,944	41.3%	1.44	1.40	15,796
25歳 ～ 29歳	126,608	34,001	246,723	51.3%	2.34	3.04	17,786
30歳 ～ 34歳	77,983	14,498	139,782	55.8%	3.12	1.34	18,661
35歳 ～ 39歳	129,139	17,745	213,439	60.5%	4.41	1.41	20,795
40歳 ～ 44歳	222,009	33,239	352,995	62.9%	4.14	2.97	18,038
45歳 ～ 49歳	271,595	37,531	467,396	58.1%	4.22	2.65	24,273
50歳 ～ 54歳	297,870	34,721	417,018	71.4%	5.17	2.87	20,059
55歳 ～ 59歳	223,255	23,274	339,496	65.8%	5.40	1.59	25,934
60歳 ～ 64歳	392,693	29,844	492,705	79.7%	7.76	1.97	25,664
65歳 ～ 69歳	363,983	25,455	432,860	84.1%	8.36	1.92	22,612
70歳 ～	474,510	28,634	509,407	93.1%	9.58	1.93	25,657
合計	336,256	27,192	421,954	79.7%	7.21	1.95	23,871

データ化範囲(分析対象)…入院(D P Cを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12か月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

年齢階層別基礎統計は分析期間内の被保険者数、患者数を算出している。他基礎統計では被保険者数、患者数を月単位で算出しており、本統計とは一致しない。

※医療費…レセプトに記載されている請求点数を集計し、金額にするために10倍にして表示。

※患者数…分析期間中に一人の方に複数のレセプトが発行された場合は、一人として集計。

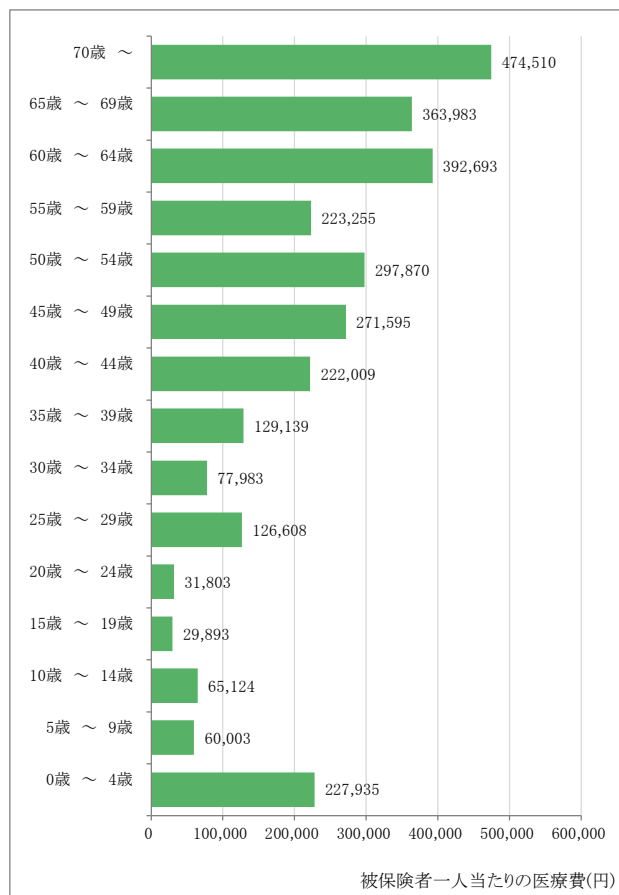
※受診率…被保険者一人当たりのレセプト件数。集計に調剤レセプトを含まない。

※一件当たりの日数…集計に調剤レセプトを含まない。

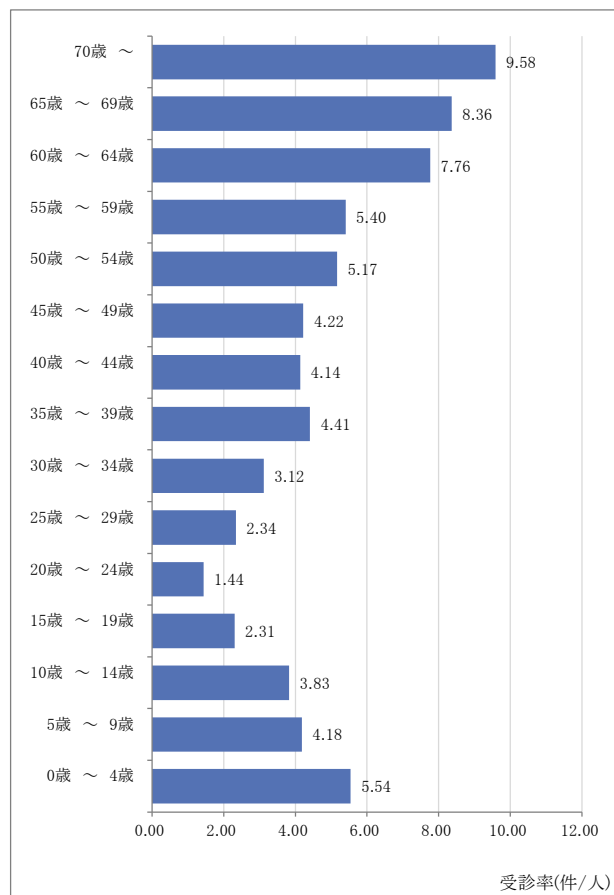
※一日当たりの医療費…医療費の集計に調剤レセプトを含む。日数の集計に調剤レセプトを含まない。

以下は、被保険者一人当たりの医療費、受診率、一件当たりの日数、一日当たりの医療費の年齢階層別の状況をグラフにて示したものです。

年齢階層別 被保険者一人当たりの医療費

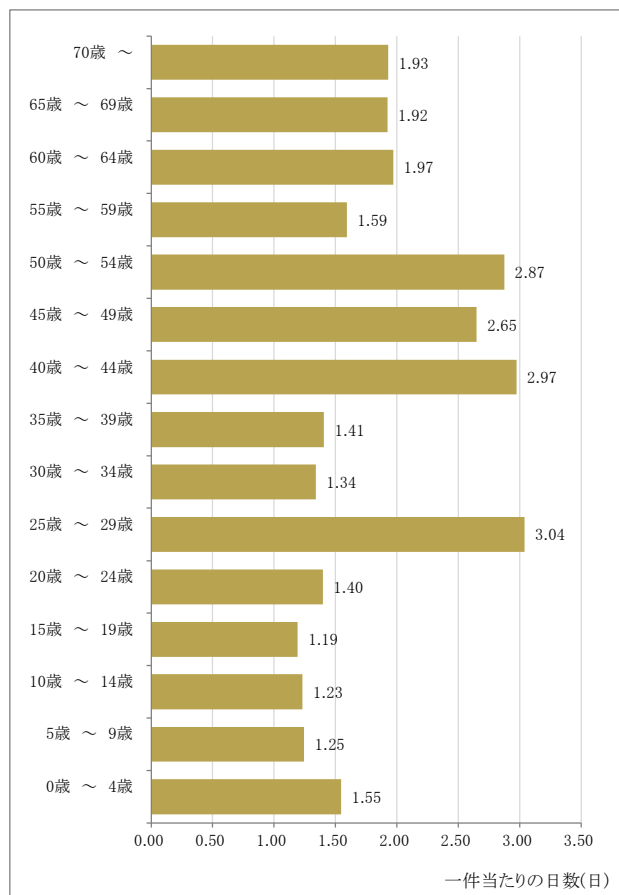


年齢階層別 受診率

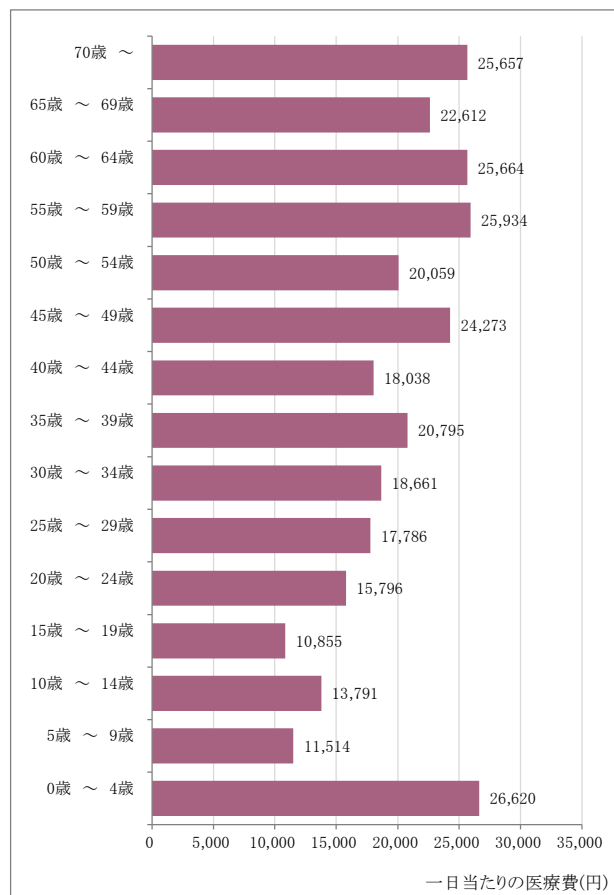


データ化範囲(分析対象)…入院(D P Cを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
 対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12か月分)。
 資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。
 受診率…被保険者一人当たりのレセプト件数。集計に調剤レセプトを含まない。

年齢階層別 一件当たりの日数



年齢階層別 一日当たりの医療費



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12か月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

一件当たりの日数…集計に調剤レセプトを含まない。

一日当たりの医療費…医療費の集計に調剤レセプトを含む。日数の集計に調剤レセプトを含まない。

令和3年度から令和4年度におけるレセプトデータを対象とし年度別に分析します。令和4年度を令和3年度と比較すると、一か月平均の被保険者数3,186人は、令和3年度3,240人より54人減少しており、医療費11億9,371万円は令和3年度12億2,372万円より3,001万円減少しています。また、一か月平均の患者数1,591人は、令和3年度1,627人より36人減少しています。

年度別 基礎統計

			令和3年度	令和4年度
A	一か月平均の被保険者数(人)		3,240	3,186
B	レセプト件数(件)	入院外	25,179	24,691
		入院	930	907
		調剤	18,828	18,302
		合計	44,937	43,900
C	医療費(円) ※		1,223,715,920	1,193,707,680
D	一か月平均の患者数(人) ※		1,627	1,591
C/A	被保険者一人当たりの医療費(円)		377,739	374,643
C/B	レセプト一件当たりの医療費(円)		27,232	27,192
D/A	有病率(%)		50.2%	49.9%

データ化範囲(分析対象)…入院(D P Cを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和3年4月～令和5年3月診療分(24か月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

※医療費…レセプトに記載されている請求点数を集計し、金額にするために10倍にして表示。

※一か月平均の患者数…同診療年月で一人の方に複数のレセプトが発行された場合は一人として集計。

年度別 医療費及び有病率



データ化範囲(分析対象)…入院(D P Cを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和3年4月～令和5年3月診療分(24か月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

※医療費…レセプトに記載されている請求点数を集計し、金額にするために10倍にして表示。

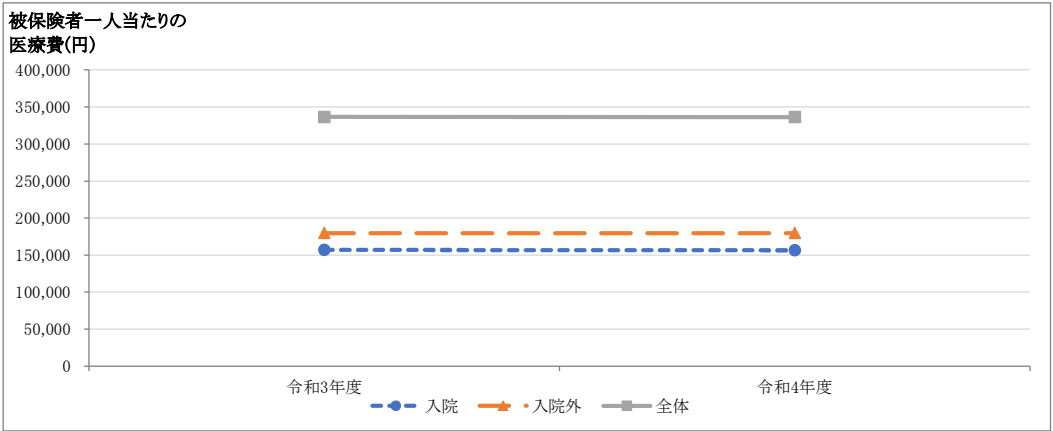
以下は、年度別の被保険者一人当たりの医療費及びその構成要素である受診率、一件当たりの日数、一日当たりの医療費について入院・入院外別に示したものです。

年度別 被保険者一人当たりの医療費及び医療費の三要素

年度			令和3年度	令和4年度
入院	被保険者一人当たりの医療費(円)		156,898	156,569
	三要素	受診率(件/人) ※	0.26	0.26
		一件当たりの日数(日) ※	18.36	18.42
		一日当たりの医療費(円) ※	33,425	33,267
入院外	被保険者一人当たりの医療費(円)		179,565	179,687
	三要素	受診率(件/人) ※	6.92	6.96
		一件当たりの日数(日) ※	1.37	1.35
		一日当たりの医療費(円) ※	18,899	19,156
全体	被保険者一人当たりの医療費(円)		336,463	336,256
	三要素	受診率(件/人) ※	7.18	7.21
		一件当たりの日数(日) ※	1.98	1.95
		一日当たりの医療費(円) ※	23,703	23,871

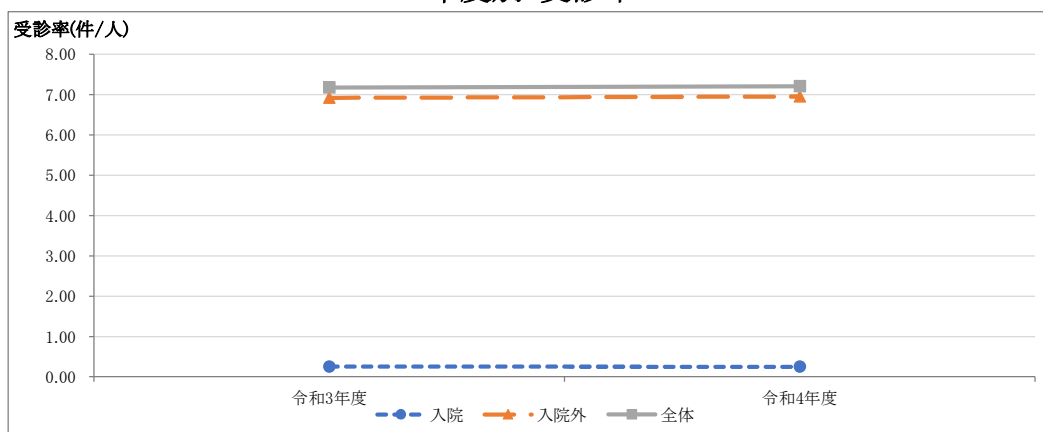
データ化範囲(分析対象)…入院(D P Cを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は令和3年4月～令和5年3月診療分(24か月分)。
資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。
本分析における被保険者一人当たりの医療費は、各年度内の被保険者数を用いて算出している。
年度別基礎統計の被保険者一人当たりの医療費は、各年度の一か月平均の被保険者数を用いて算出しているため、本分析とは一致しない。
※受診率…被保険者一人当たりのレセプト件数。集計に調剤レセプトを含まない。
※一件当たりの日数…集計に調剤レセプトを含まない。
※一日当たりの医療費…医療費の集計に調剤レセプトを含む。日数の集計に調剤レセプトを含まない。

年度別 被保険者一人当たりの医療費



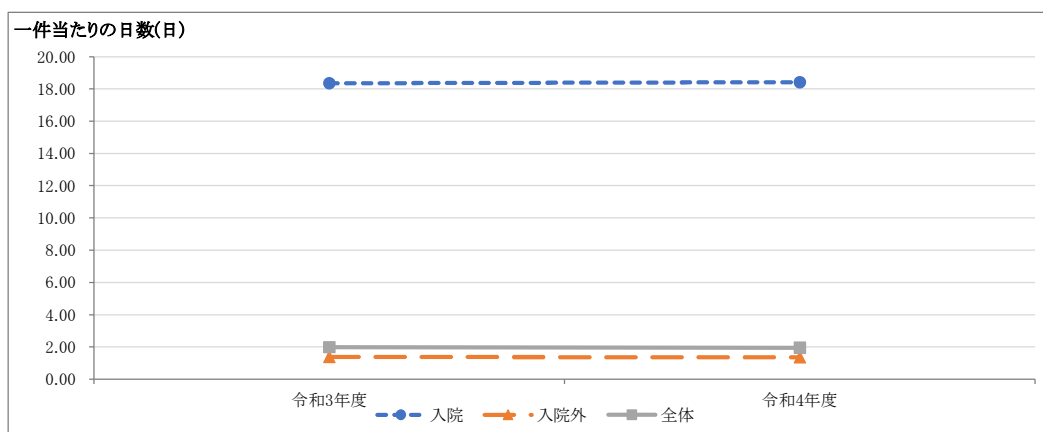
データ化範囲(分析対象)…入院(D P Cを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は令和3年4月～令和5年3月診療分(24か月分)。
資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

年度別 受診率



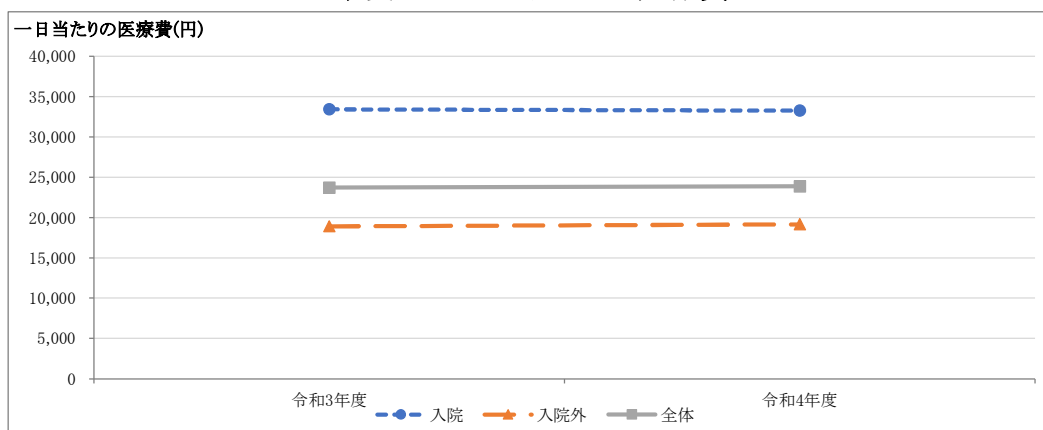
データ化範囲(分析対象)…入院(D P Cを含む)、入院外の電子レセプト。
 対象診療年月は令和3年4月～令和5年3月診療分(24か月分)。
 資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。
 受診率…被保険者一人当たりのレセプト件数。集計に調剤レセプトを含まない。

年度別 一件当たりの日数



データ化範囲(分析対象)…入院(D P Cを含む)、入院外の電子レセプト。
 対象診療年月は令和3年4月～令和5年3月診療分(24か月分)。
 資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。
 一件当たりの日数…集計に調剤レセプトを含まない。

年度別 一日当たりの医療費



データ化範囲(分析対象)…入院(D P Cを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
 対象診療年月は令和3年4月～令和5年3月診療分(24か月分)。
 資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。
 一日当たりの医療費…医療費の集計に調剤レセプトを含む。日数の集計に調剤レセプトを含まない。

2. 高額レセプトに係る分析

(1) 高額レセプトの件数及び割合

令和4年4月～令和5年3月診療分(12か月分)に発生しているレセプトのうち、診療点数が5万点以上のものを高額レセプトとし、以下のとおり集計しました。高額レセプトは449件発生しており、レセプト件数全体の1.0%を占めています。高額レセプトの医療費は4億4,701万円となり、医療費全体の37.4%を占めています。

高額(5万点以上)レセプト件数及び割合

		令和4年4月	令和4年5月	令和4年6月	令和4年7月	令和4年8月	令和4年9月	令和4年10月
A	レセプト件数(件)	3,840	3,695	3,753	3,715	3,830	3,676	3,682
B	高額レセプト件数(件)	31	39	34	39	36	37	39
B/A	総レセプト件数に占める高額レセプトの割合(%)	0.8%	1.1%	0.9%	1.0%	0.9%	1.0%	1.1%
C	医療費全体(円) ※	94,348,710	94,968,230	98,007,020	92,009,230	97,115,580	93,363,910	117,433,980
D	高額レセプトの医療費(円) ※	27,872,410	34,336,730	31,687,940	33,220,400	34,289,290	32,757,440	52,801,060
E	その他レセプトの医療費(円) ※	66,476,300	60,631,500	66,319,080	58,788,830	62,826,290	60,606,470	64,632,920
D/C	総医療費に占める高額レセプトの割合(%)	29.5%	36.2%	32.3%	36.1%	35.3%	35.1%	45.0%

		令和4年11月	令和4年12月	令和5年1月	令和5年2月	令和5年3月	12カ月平均	12カ月合計
A	レセプト件数(件)	3,655	3,675	3,421	3,299	3,659	3,658	43,900
B	高額レセプト件数(件)	39	42	42	38	33	37	449
B/A	総レセプト件数に占める高額レセプトの割合(%)	1.1%	1.1%	1.2%	1.2%	0.9%	1.0%	
C	医療費全体(円) ※	102,419,210	104,573,310	99,587,910	104,344,030	95,536,560	99,475,640	1,193,707,680
D	高額レセプトの医療費(円) ※	42,057,540	41,623,270	40,203,340	43,508,360	32,651,870	37,250,804	447,009,650
E	その他レセプトの医療費(円) ※	60,361,670	62,950,040	59,384,570	60,835,670	62,884,690	62,224,836	746,698,030
D/C	総医療費に占める高額レセプトの割合(%)	41.1%	39.8%	40.4%	41.7%	34.2%	37.4%	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12か月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

※医療費全体…データ化範囲(分析対象)全体での医療費を算出。

※高額レセプトの医療費…高額(5万点以上)レセプトの医療費。

※その他レセプトの医療費…高額(5万点以上)レセプト以外の医療費。

以下は、令和3年度から令和4年度に発生している高額レセプトの集計結果を年度別に示したものです。令和4年度高額レセプト件数449件は令和3年度435件より14件増加しており、令和4年度高額レセプトの医療費4億4,701万円は令和3年度4億6,140万円より1,439万円減少しています。

年度別 高額(5万点以上)レセプト件数及び割合

		令和3年度	令和4年度
A	レセプト件数(件)	44,937	43,900
B	高額レセプト件数(件)	435	449
B/A	総レセプト件数に占める高額レセプトの割合(%)	1.0%	1.0%
C	医療費全体(円) ※	1,223,715,920	1,193,707,680
D	高額レセプトの医療費(円) ※	461,397,580	447,009,650
E	その他レセプトの医療費(円) ※	762,318,340	746,698,030
D/C	総医療費に占める高額レセプトの割合(%)	37.7%	37.4%

データ化範囲(分析対象)…入院(D P Cを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和3年4月～令和5年3月診療分(24か月分)。

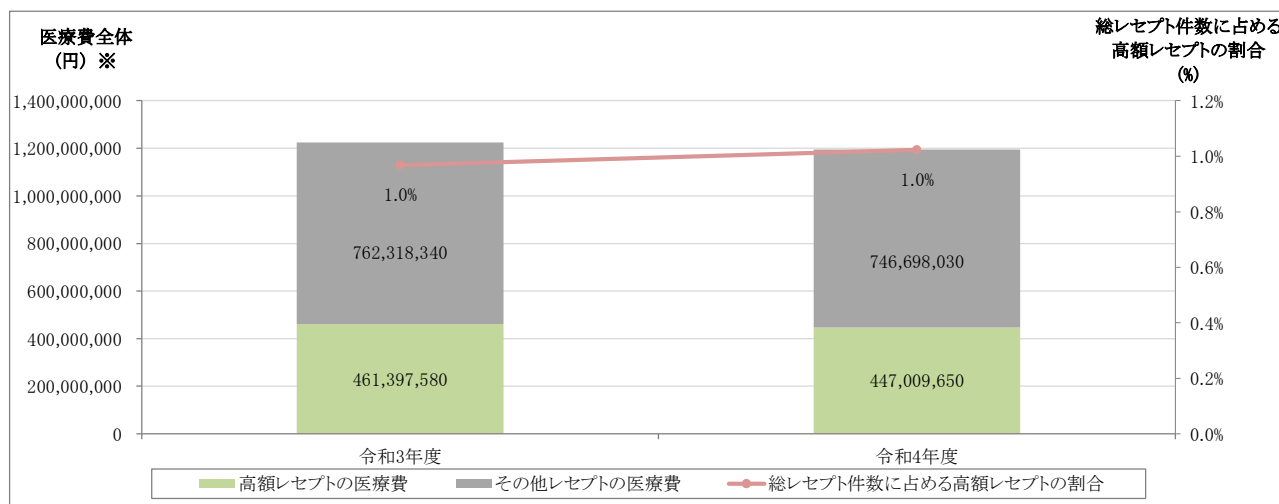
資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

※医療費全体…データ化範囲(分析対象)全体での医療費を算出。

※高額レセプトの医療費…高額(5万点以上)レセプトの医療費。

※その他レセプトの医療費…高額(5万点以上)レセプト以外の医療費。

年度別 高額(5万点以上)レセプトの医療費及び件数割合



データ化範囲(分析対象)…入院(D P Cを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和3年4月～令和5年3月診療分(24か月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

※医療費全体…データ化範囲(分析対象)全体での医療費を算出。

(2)高額レセプト発生患者の疾病傾向

以下は、令和4年4月～令和5年3月診療分(12か月分)に発生しているレセプトのうち、高額レセプト発生患者の疾病傾向を示したものです。高額レセプト発生患者の分析期間の全レセプトを医療費分解後、最も医療費がかかっている疾病を主要傷病名と定義し、対象者の全医療費を集計しました。高額レセプト発生患者を主要傷病名で中分類毎に分類した結果、高額レセプト発生患者の一人当たり医療費が高額な疾病分類は「喘息」「頭蓋内損傷及び内臓の損傷」「その他の損傷及びその他の外因の影響」等となっています。

高額(5万点以上)レセプト発生患者の疾病傾向(患者一人当たりの医療費順)

順位	疾病分類(中分類)		主要傷病名 ※ (上位3疾病まで記載)	患者数 (人) ※	医療費(円) ※			患者一人当たりの 医療費(円) ※
					入院	入院外	合計	
1	1010	喘息	気管支喘息	1	7,790,260	0	7,790,260	7,790,260
2	1902	頭蓋内損傷及び内臓の損傷	急性硬膜下血腫・頭蓋内に達する開放創合併なし	1	7,357,540	0	7,357,540	7,357,540
3	1905	その他の損傷及びその他の外因の影響	頸髄損傷, 前十字靱帯損傷	2	13,256,500	380,410	13,636,910	6,818,455
4	0109	その他の感染症及び寄生虫症	敗血症性ショック, MRSA敗血症	2	7,867,290	5,282,740	13,150,030	6,575,015
5	0210	その他の悪性新生物<腫瘍>	前立腺癌, 多発性骨髄腫, 側頭葉膠芽腫	18	68,120,790	42,942,950	111,063,740	6,170,208
6	0604	脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群	痙性四肢麻痺	1	5,817,760	0	5,817,760	5,817,760
7	0507	その他の精神及び行動の障害	てんかん性精神病, 注意欠陥多動障害	2	11,204,560	57,900	11,262,460	5,631,230
8	0603	てんかん	症候性てんかん	1	4,886,460	238,820	5,125,280	5,125,280
9	0606	その他の神経系の疾患	ベッカー型筋ジストロフィー, 前頭側頭葉型認知症, 不眠症	3	14,925,670	348,700	15,274,370	5,091,457
10	1402	腎不全	慢性腎不全, 慢性腎臓病ステージG5, 慢性腎臓病ステージG5D	10	27,390,360	23,145,720	50,536,080	5,053,608
11	0912	その他の循環器系の疾患	腹部大動脈瘤, 上行胸部大動脈瘤, 胸部大動脈瘤	4	18,151,700	2,040,950	20,192,650	5,048,163
12	0211	良性新生物<腫瘍>及びその他の新生物<腫瘍>	子宮筋腫, 芽球増加を伴う不応性貧血-1, 蝶形骨平面髄膜腫	5	20,754,810	1,792,630	22,547,440	4,509,488
13	0501	血管性及び詳細不明の認知症	血管性認知症	1	4,468,380	0	4,468,380	4,468,380
14	0208	悪性リンパ腫	びまん性大細胞型B細胞性リンパ腫	1	2,756,180	1,691,640	4,447,820	4,447,820
15	0503	統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	統合失調症	5	20,748,220	304,680	21,052,900	4,210,580
16	0602	アルツハイマー病	アルツハイマー型認知症	2	7,864,520	152,810	8,017,330	4,008,665
17	1109	肝硬変(アルコール性のものを除く)	非代償性肝硬変	1	3,173,660	801,110	3,974,770	3,974,770
18	1601	妊娠及び胎児発育に関連する障害	低出生体重児	1	3,104,260	780,310	3,884,570	3,884,570
19	0205	気管, 気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	上葉肺癌, 上葉肺扁平上皮癌, 上葉肺腺癌	5	10,999,280	8,191,430	19,190,710	3,838,142
20	1011	その他の呼吸器系の疾患	誤嚥性肺炎, 慢性呼吸不全, 続発性気胸	7	21,063,340	5,515,290	26,578,630	3,796,947

データ化範囲(分析対象)…入院(D P Cを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12か月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

※主要傷病名…高額レセプト発生患者の分析期間の全レセプトを医療費分解後、患者毎に最も医療費が高額となった疾病。

※患者数…高額レセプト発生患者を主要傷病名で中分類毎に集計した。

※医療費…高額レセプト発生患者の分析期間の全レセプトの医療費(高額レセプトに限らない)。

※患者一人当たりの医療費…高額レセプト発生患者の分析期間中の患者一人当たり医療費。

以下は、令和3年度から令和4年度における、高額レセプト発生患者の疾病傾向を患者一人当たりの医療費順に年度別に示したものです。

年度別 高額(5万点以上)レセプト発生患者の疾病傾向(患者一人当たりの医療費順)

年度	順位	疾病分類(中分類)	主要傷病名 ※ (上位3疾病まで記載)	患者数(人) ※	患者一人当たりの 医療費(円) ※
令和3年度	1	1902 頭蓋内損傷及び内臓の損傷	急性硬膜下血腫・頭蓋内に達する開放創合併なし	1	15,266,140
	2	0912 その他の循環器系の疾患	胸部大動脈瘤、急性大動脈解離DeBakeyIIIb	3	9,117,187
	3	0604 脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群	脳性麻痺、痙性四肢麻痺	2	7,756,350
	4	1010 喘息	気管支喘息	1	7,737,370
	5	1402 腎不全	慢性腎不全、末期腎不全、慢性腎臓病	7	6,424,913
令和4年度	1	1010 喘息	気管支喘息	1	7,790,260
	2	1902 頭蓋内損傷及び内臓の損傷	急性硬膜下血腫・頭蓋内に達する開放創合併なし	1	7,357,540
	3	1905 その他の損傷及びその他の外因の影響	頸髄損傷、前十字靱帯損傷	2	6,818,455
	4	0109 その他の感染症及び寄生虫症	敗血症性ショック、MRSA敗血症	2	6,575,015
	5	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	前立腺癌、多発性骨髄腫、側頭葉膠芽腫	18	6,170,208

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和3年4月～令和5年3月診療分(24か月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

※主要傷病名…高額レセプト発生患者の分析期間の全レセプトを医療費分解後、患者毎に最も医療費が高額となった疾病。

※患者数…高額レセプト発生患者を主要傷病名で中分類毎に集計した。

※患者一人当たりの医療費…高額レセプト発生患者の分析期間中の患者一人当たり医療費。

以下は、令和４年４月～令和５年３月診療分(12か月分)の高額レセプト発生患者の疾病傾向を患者数順に示したものです。高額レセプト発生患者を主要傷病名で中分類毎に分類した結果、高額レセプト発生患者数が多い疾病分類は「その他の悪性新生物＜腫瘍＞」「骨折」「その他の心疾患」等となっています。

高額(５万点以上)レセプト発生患者の疾病傾向(患者数順)

順位	疾病分類(中分類)		主要傷病名 ※ (上位3疾病まで記載)	患者数 (人) ※	医療費(円) ※			患者一人当たりの 医療費(円) ※
					入院	入院外	合計	
1	0210	その他の悪性新生物＜腫瘍＞	前立腺癌, 多発性骨髄腫, 側頭葉膠芽腫	18	68,120,790	42,942,950	111,063,740	6,170,208
2	1901	骨折	大腿骨頸部骨折, 腰椎圧迫骨折, 大腿骨転子部骨折	12	24,352,110	2,992,150	27,344,260	2,278,688
3	0903	その他の心疾患	持続性心室頻拍, 大動脈弁狭窄症, 非弁膜症性発作性心房細動	10	28,114,880	3,576,700	31,691,580	3,169,158
3	1402	腎不全	慢性腎不全, 慢性腎臓病ステージG5, 慢性腎臓病ステージG5D	10	27,390,360	23,145,720	50,536,080	5,053,608
5	0902	虚血性心疾患	急性下壁心筋梗塞, 不安定狭心症, 安静時狭心症	9	15,303,660	3,338,250	18,641,910	2,071,323
6	0206	乳房の悪性新生物＜腫瘍＞	乳房上外側部乳癌, 乳癌, 乳房下外側部乳癌	7	5,443,480	14,190,130	19,633,610	2,804,801
6	1011	その他の呼吸器系の疾患	膵嚢性肺炎, 慢性呼吸不全, 続発性気胸	7	21,063,340	5,515,290	26,578,630	3,796,947
8	0704	その他の眼及び付属器の疾患	裂孔原性網膜剥離, 増殖性硝子体網膜症, 網膜前膜	6	5,090,170	918,480	6,008,650	1,001,442
8	1302	関節症	形成不全性股関節症, 変形性膝関節症, 一側性形成不全性変形性股関節症	6	12,097,300	1,569,780	13,667,080	2,277,847
10	0201	胃の悪性新生物＜腫瘍＞	胃体部癌, 胃癌	5	5,166,700	9,714,320	14,881,020	2,976,204
10	0205	気管, 気管支及び肺の悪性新生物＜腫瘍＞	上葉肺癌, 上葉肺扁平上皮癌, 上葉肺腺癌	5	10,999,280	8,191,430	19,190,710	3,838,142
10	0211	良性新生物＜腫瘍＞及びその他の新生物＜腫瘍＞	子宮筋腫, 芽球増加を伴う不応性貧血－1, 蝶形骨平面髄膜腫	5	20,754,810	1,792,630	22,547,440	4,509,488
10	0503	統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	統合失調症	5	20,748,220	304,680	21,052,900	4,210,580
14	0504	気分[感情]障害(躁うつ病を含む)	うつ病, 双極性障害, うつ状態	4	12,433,710	1,142,100	13,575,810	3,393,953
14	0905	脳内出血	脳出血, 被殻出血, 脳皮質下出血	4	14,649,620	483,080	15,132,700	3,783,175
14	0912	その他の循環器系の疾患	腹部大動脈瘤, 上行胸部大動脈瘤, 胸部大動脈瘤	4	18,151,700	2,040,950	20,192,650	5,048,163
14	1113	その他の消化器系の疾患	小腸大腸クローン病, 便秘症, 癒着性イレウス	4	7,276,620	4,118,750	11,395,370	2,848,843
14	1310	その他の筋骨格系及び結合組織の疾患	廃用症候群, 外反母趾, IgG4関連疾患	4	6,001,430	1,831,340	7,832,770	1,958,193
19	0202	結腸の悪性新生物＜腫瘍＞	S状結腸癌, 脾弯曲部癌, 盲腸癌	3	4,784,520	1,982,980	6,767,500	2,255,833
19	0606	その他の神経系の疾患	ベッカー型筋ジストロフィー, 前頭側頭葉型認知症, 不眠症	3	14,925,670	348,700	15,274,370	5,091,457

データ化範囲(分析対象)…入院(D P Cを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は令和４年４月～令和５年３月診療分(12か月分)。

資格確認日…１日でも資格があれば分析対象としている。

※主要傷病名…高額レセプト発生患者の分析期間の全レセプトを医療費分解後、患者毎に最も医療費が高額となった疾病。

※患者数…高額レセプト発生患者を主要傷病名で中分類毎に集計した。

※医療費…高額レセプト発生患者の分析期間の全レセプトの医療費(高額レセプトに限らない)。

※患者一人当たりの医療費…高額レセプト発生患者の分析期間中の患者一人当たり医療費。

以下は、令和3年度から令和4年度における、高額レセプト発生患者の疾病傾向を患者数順に年度別に示したものです。

年度別 高額(5万点以上)レセプト発生患者の疾病傾向(患者数順)

年度	順位	疾病分類(中分類)	主要傷病名 ※ (上位3疾病まで記載)	患者数(人) ※	患者一人当たりの 医療費(円) ※
令和3年度	1	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	前立腺癌, 上顎洞癌, 腭体部癌	29	3,449,650
	2	0903 その他の心疾患	非弁膜症性発作性心房細動, 発作性心房細動, 僧帽弁閉鎖不全症	11	4,259,394
	2	1901 骨折	脛骨天蓋骨折, 膝蓋骨骨折, 大腿骨頸部骨折	11	3,156,959
	4	0205 気管, 気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	上葉肺癌, 小細胞肺癌, 肺腺癌	8	4,219,898
	5	0902 虚血性心疾患	不安定狭心症, 急性前壁心筋梗塞, 冠攣縮性狭心症	7	2,254,689
	5	1402 腎不全	慢性腎不全, 末期腎不全, 慢性腎臓病	7	6,424,913
令和4年度	1	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	前立腺癌, 多発性骨髄腫, 側頭葉膠芽腫	18	6,170,208
	2	1901 骨折	大腿骨頸部骨折, 腰椎圧迫骨折, 大腿骨転子部骨折	12	2,278,688
	3	0903 その他の心疾患	持続性心室頻拍, 大動脈弁狭窄症, 非弁膜症性発作性心房細動	10	3,169,158
	3	1402 腎不全	慢性腎不全, 慢性腎臓病ステージG5, 慢性腎臓病ステージG5D	10	5,053,608
	5	0902 虚血性心疾患	急性下壁心筋梗塞, 不安定狭心症, 安静時狭心症	9	2,071,323

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は令和3年4月～令和5年3月診療分(24か月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。
※主要傷病名…高額レセプト発生患者の分析期間の全レセプトを医療費分解後、患者毎に最も医療費が高額となった疾病。
※患者数…高額レセプト発生患者を主要傷病名で中分類毎に集計した。
※患者一人当たりの医療費…高額レセプト発生患者の分析期間中の患者一人当たり医療費。

3. 疾病別医療費

(1) 大分類による疾病別医療費統計

令和4年4月～令和5年3月診療分(12か月分)に発生しているレセプトより、疾病項目毎に医療費、レセプト件数、患者数を算出しました。「新生物＜腫瘍＞」が医療費合計の19.0%、「循環器系の疾患」は医療費合計の15.4%と高い割合を占めています。

※各項目毎に上位5疾病を 網掛け 表示する。

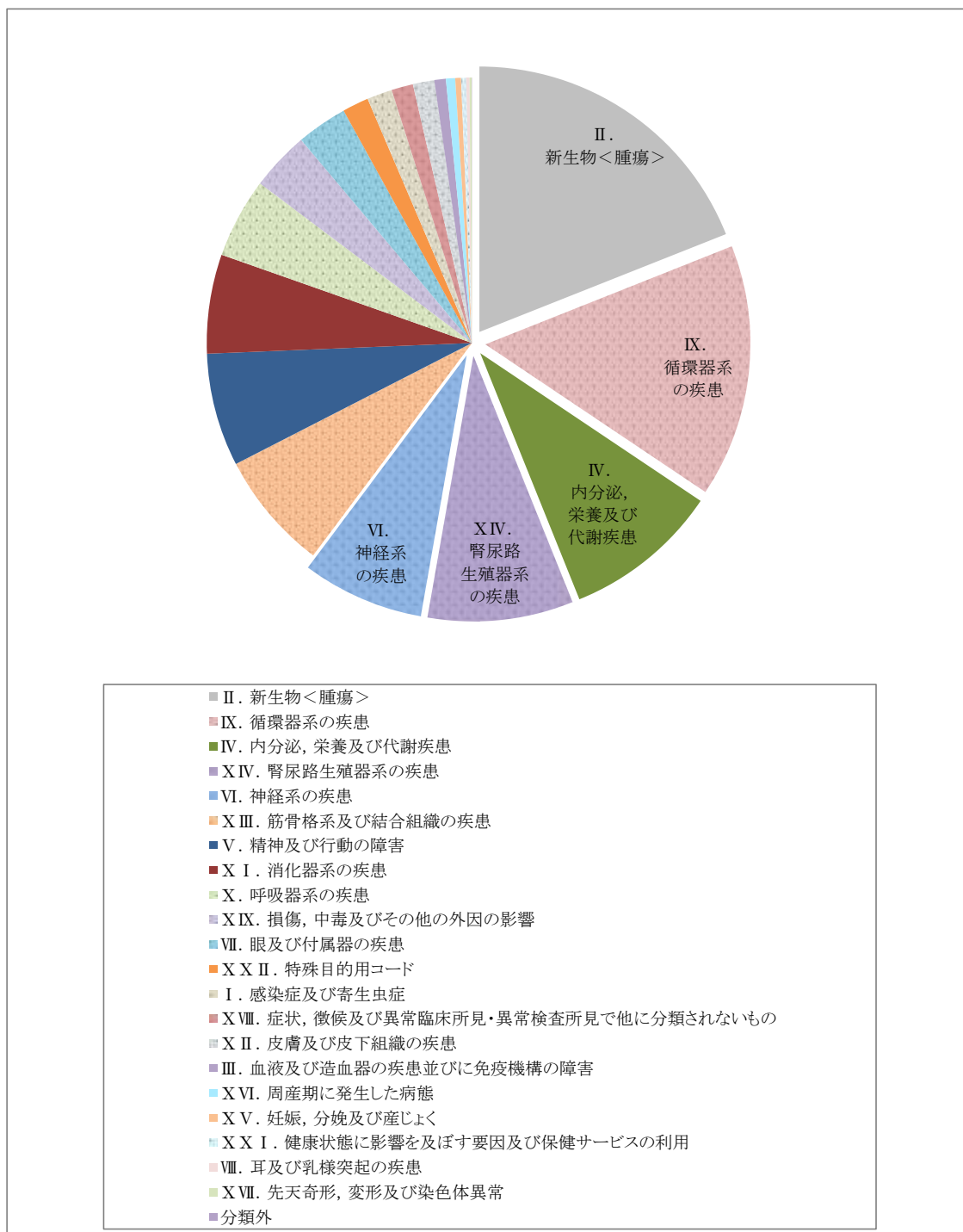
大分類による疾病別医療費統計

疾病分類(大分類)	A			B		C		A/C	
	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	順位	患者数 (人) ※	順位	患者一人当たりの医療費 (円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	18,217,850	1.5%	13	2,885	13	641	13	28,421	15
II. 新生物＜腫瘍＞	225,735,864	19.0%	1	4,060	10	904	6	249,708	3
III. 血液及び造血系の疾患並びに免疫機構の障害	8,210,484	0.7%	16	2,001	14	413	15	19,880	18
IV. 内分泌、栄養及び代謝疾患	112,939,847	9.5%	3	18,659	2	1,636	2	69,034	9
V. 精神及び行動の障害	81,873,276	6.9%	7	3,917	11	339	16	241,514	4
VI. 神経系の疾患	88,612,607	7.5%	5	7,135	5	654	11	135,493	6
VII. 眼及び付属器の疾患	36,934,335	3.1%	11	4,248	9	882	7	41,876	13
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	2,449,148	0.2%	20	656	18	160	18	15,307	20
IX. 循環器系の疾患	183,256,696	15.4%	2	19,574	1	1,682	1	108,952	7
X. 呼吸器系の疾患	57,962,867	4.9%	9	5,852	6	993	5	58,371	11
X I. 消化器系の疾患 ※	71,701,283	6.0%	8	13,474	3	1,426	3	50,281	12
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	15,599,876	1.3%	15	3,777	12	694	10	22,478	17
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	86,082,004	7.2%	6	11,863	4	1,274	4	67,568	10
X IV. 泌尿路生殖器系の疾患	105,439,550	8.9%	4	4,833	7	652	12	161,717	5
X V. 妊娠、分娩及び産じょく ※	4,038,244	0.3%	18	36	21	16	21	252,390	2
X VI. 周産期に発生した病態 ※	6,793,888	0.6%	17	10	22	4	22	1,698,472	1
X VII. 先天奇形、変形及び染色体異常	1,501,339	0.1%	21	116	19	48	19	31,278	14
X VIII. 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	15,831,443	1.3%	14	4,775	8	857	8	18,473	19
X IX. 損傷、中毒及びその他の外因の影響	42,788,780	3.6%	10	1,793	15	538	14	79,533	8
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	3,795,775	0.3%	19	1,658	16	252	17	15,063	21
X X II. 特殊目的用コード	19,020,868	1.6%	12	1,539	17	720	9	26,418	16
分類外	141,156	0.0%	22	86	20	21	20	6,722	22
合計	1,188,927,180			43,493		2,810		423,106	

データ化範囲(分析対象)…入院(D P Cを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12か月分)。
資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。
株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。
※医療費…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。
そのため他統計と一致しない。
※レセプト件数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計件数は他統計と一致しない(一件のレセプトに複数の疾病があるため)。
※患者数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。
※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。
※妊娠、分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため、“男性”においても医療費が発生する可能性がある。
※周産期に発生した病態…A B O因子不適合等の傷病名が含まれるため、周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。

疾病項目別医療費割合は、「新生物＜腫瘍＞」「循環器系の疾患」「内分泌、栄養及び代謝疾患」「腎尿路生殖器系の疾患」「神経系の疾患」の医療費で高い割合を占めています。

疾病項目別医療費割合



データ化範囲(分析対象)…入院(D P Cを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12か月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

以下は、令和3年度から令和4年度に発生しているレセプトより、疾病項目毎に医療費を算出し年度別に示したものです。

※各年度毎に上位5疾病を 網掛け 表示する。

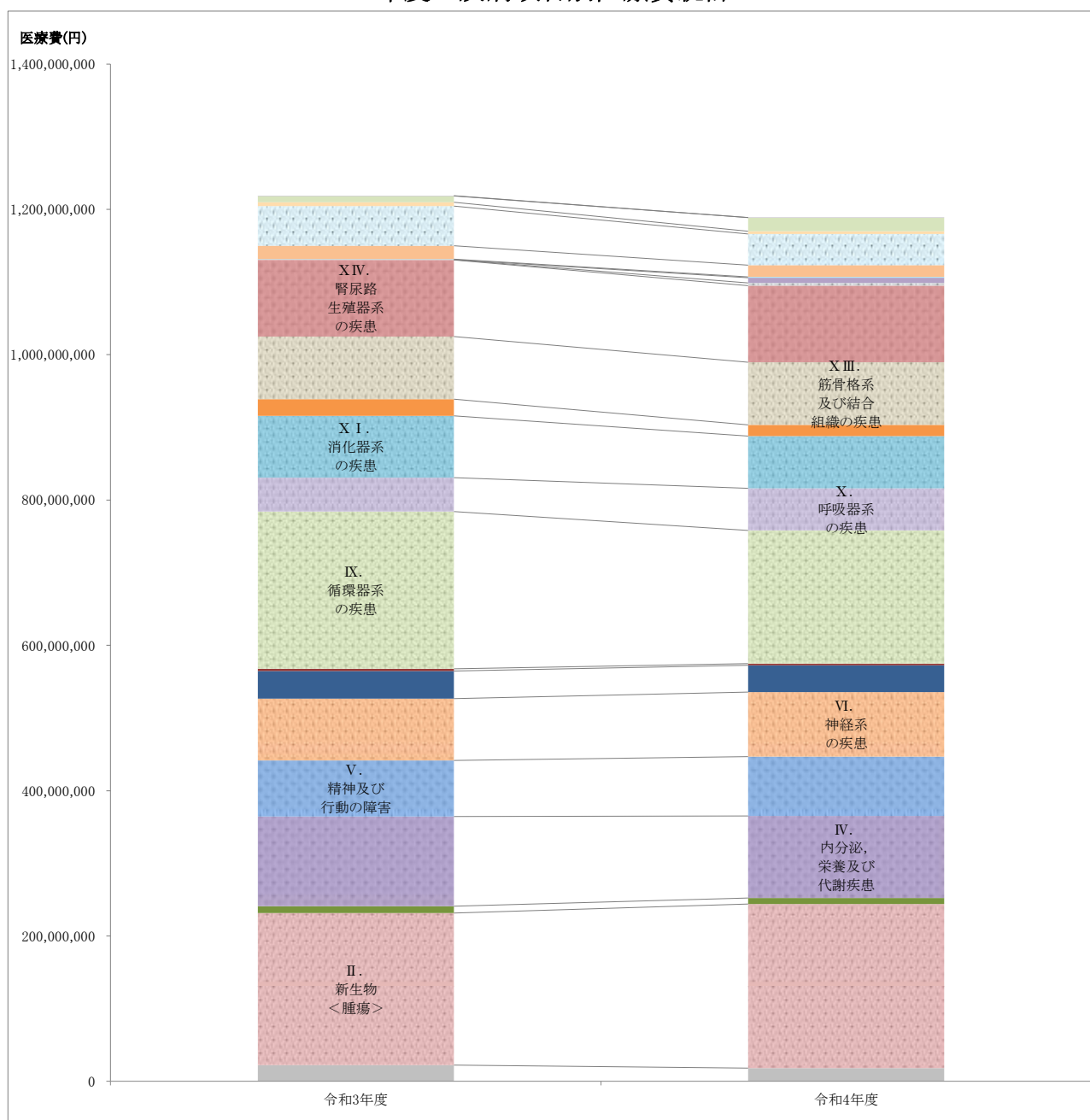
年度別 大分類による疾病別医療費統計

疾病分類(大分類)	令和3年度			令和4年度		
	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	22,294,618	1.8%	13	18,217,850	1.5%	13
II. 新生物<腫瘍>	209,089,774	17.2%	2	225,735,864	19.0%	1
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	9,466,989	0.8%	15	8,210,484	0.7%	16
IV. 内分泌、栄養及び代謝疾患	123,375,684	10.1%	3	112,939,847	9.5%	3
V. 精神及び行動の障害	77,298,681	6.3%	8	81,873,276	6.9%	7
VI. 神経系の疾患	85,211,738	7.0%	6	88,612,607	7.5%	5
VII. 眼及び付属器の疾患	37,764,351	3.1%	11	36,934,335	3.1%	11
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	3,349,757	0.3%	18	2,449,148	0.2%	20
IX. 循環器系の疾患	216,046,030	17.7%	1	183,256,696	15.4%	2
X. 呼吸器系の疾患	46,806,320	3.8%	10	57,962,867	4.9%	9
X I. 消化器系の疾患 ※	85,175,894	7.0%	7	71,701,283	6.0%	8
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	22,980,278	1.9%	12	15,599,876	1.3%	15
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	86,323,098	7.1%	5	86,082,004	7.2%	6
X IV. 腎尿路生殖器官系の疾患	105,107,494	8.6%	4	105,439,550	8.9%	4
X V. 妊娠、分娩及び産じょく ※	717,747	0.1%	19	4,038,244	0.3%	18
X VI. 周産期に発生した病態 ※	14,410	0.0%	22	6,793,888	0.6%	17
X VII. 先天奇形、変形及び染色体異常	535,709	0.0%	20	1,501,339	0.1%	21
X VIII. 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	18,270,589	1.5%	14	15,831,443	1.3%	14
X IX. 損傷、中毒及びその他の外因の影響	54,752,241	4.5%	9	42,788,780	3.6%	10
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	5,062,331	0.4%	17	3,795,775	0.3%	19
X X II. 特殊目的用コード	8,914,126	0.7%	16	19,020,868	1.6%	12
分類外	118,771	0.0%	21	141,156	0.0%	22
合計	1,218,676,630			1,188,927,180		

データ化範囲(分析対象)…入院(D P Cを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は令和3年4月～令和5年3月診療分(24か月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。
株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。
※医療費…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。
※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。
※妊娠、分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため、“男性”においても医療費が発生する可能性がある。
※周産期に発生した病態…A B O因子不適合等の傷病名が含まれるため、周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。

年度・疾病項目別医療費統計



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和3年4月～令和5年3月診療分(24か月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

医療費…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

(2) 中分類による疾病別医療費統計

以下は、令和4年4月～令和5年3月診療分(12か月分)に発生しているレセプトより、疾病中分類毎に集計し、医療費、患者数、患者一人当たりの医療費、各項目の上位10疾病を示したものです。

中分類による疾病別統計(医療費上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)		医療費(円) ※	構成比(%) (医療費総計全体に 対して占める割合)	患者数(人)
1	0210	その他の悪性新生物<腫瘍>	120,395,602	10.1%	450
2	1402	腎不全	81,448,995	6.9%	116
3	0402	糖尿病	66,833,728	5.6%	1,221
4	0903	その他の心疾患	60,341,683	5.1%	653
5	0606	その他の神経系の疾患	46,992,518	4.0%	582
6	0901	高血圧性疾患	46,077,609	3.9%	1,263
7	1113	その他の消化器系の疾患	41,733,952	3.5%	1,008
8	0902	虚血性心疾患	29,947,237	2.5%	458
9	0211	良性新生物<腫瘍>及びその他の新生物<腫瘍>	29,431,135	2.5%	348
10	0503	統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	27,199,982	2.3%	119

データ化範囲(分析対象)…入院(D P Cを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12か月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

中分類による疾病別統計(患者数上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)		医療費(円)	患者数(人) ※	構成比(%) (患者数全体に 対して占める割合)
1	0901	高血圧性疾患	46,077,609	1,263	44.9%
2	0402	糖尿病	66,833,728	1,221	43.5%
3	1113	その他の消化器系の疾患	41,733,952	1,008	35.9%
4	0403	脂質異常症	26,597,180	953	33.9%
5	1800	症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	15,831,443	857	30.5%
6	0703	屈折及び調節の障害	2,524,132	732	26.0%
7	2220	その他の特殊目的用コード	19,020,868	720	25.6%
8	0903	その他の心疾患	60,341,683	653	23.2%
9	1105	胃炎及び十二指腸炎	8,666,387	594	21.1%
10	0606	その他の神経系の疾患	46,992,518	582	20.7%

データ化範囲(分析対象)…入院(D P Cを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12か月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

中分類による疾病別統計(患者一人当たりの医療費上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)		医療費(円) ※	患者数(人)	患者一人当たりの医療費(円)
1	1601	妊娠及び胎児発育に関連する障害	3,077,241	1	3,077,241
2	1602	その他の周産期に発生した病態	3,716,647	4	929,162
3	1402	腎不全	81,448,995	116	702,147
4	0602	アルツハイマー病	13,658,295	23	593,839
5	0209	白血病	4,139,234	7	591,319
6	1902	頭蓋内損傷及び内臓の損傷	6,402,439	12	533,537
7	0501	血管性及び詳細不明の認知症	5,261,982	11	478,362
8	0203	直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物<腫瘍>	5,568,432	13	428,341
9	0502	精神作用物質使用による精神及び行動の障害	3,373,556	10	337,356
10	0507	その他の精神及び行動の障害	12,414,887	38	326,708

データ化範囲(分析対象)…入院(D P Cを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12か月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

以下は、令和3年度から令和4年度に発生しているレセプトより、疾病中分類毎に集計し、医療費上位10疾病を年度別に示したものです。

年度別 中分類による疾病別統計(医療費上位10疾病)

年度	順位	疾病分類(中分類)	医療費(円) ※	構成比(%) (医療費総計全体に対して占める割合)	患者数(人) ※
令和3年度	1	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	108,094,266	8.9%	407
	2	1402 腎不全	79,666,229	6.5%	117
	3	0903 その他の心疾患	75,050,352	6.2%	669
	4	0402 糖尿病	73,258,711	6.0%	1,188
	5	1113 その他の消化器系の疾患	48,188,449	4.0%	1,011
	6	0606 その他の神経系の疾患	47,848,090	3.9%	584
	7	0901 高血圧性疾患	47,754,438	3.9%	1,246
	8	0902 虚血性心疾患	29,920,005	2.5%	464
	9	0205 気管, 気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	29,117,653	2.4%	112
	10	0403 脂質異常症	28,598,201	2.3%	943
令和4年度	1	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	120,395,602	10.1%	450
	2	1402 腎不全	81,448,995	6.9%	116
	3	0402 糖尿病	66,833,728	5.6%	1,221
	4	0903 その他の心疾患	60,341,683	5.1%	653
	5	0606 その他の神経系の疾患	46,992,518	4.0%	582
	6	0901 高血圧性疾患	46,077,609	3.9%	1,263
	7	1113 その他の消化器系の疾患	41,733,952	3.5%	1,008
	8	0902 虚血性心疾患	29,947,237	2.5%	458
	9	0211 良性新生物<腫瘍>及びその他の新生物<腫瘍>	29,431,135	2.5%	348
	10	0503 統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	27,199,982	2.3%	119

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和3年4月～令和5年3月診療分(24か月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

以下は、患者数上位10疾病を年度別に示したものです。

年度別 中分類による疾病別統計(患者数上位10疾病)

年度	順位	疾病分類(中分類)	医療費(円) ※	患者数(人) ※	構成比(%) (患者数全体に 対して占める割合)
令和3年度	1	0901 高血圧性疾患	47,754,438	1,246	44.5%
	2	0402 糖尿病	73,258,711	1,188	42.4%
	3	1113 その他の消化器系の疾患	48,188,449	1,011	36.1%
	4	0403 脂質異常症	28,598,201	943	33.7%
	5	1800 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	18,270,589	859	30.7%
	6	0703 屈折及び調節の障害	2,409,837	709	25.3%
	7	0903 その他の心疾患	75,050,352	669	23.9%
	8	0606 その他の神経系の疾患	47,848,090	584	20.8%
	9	1105 胃炎及び十二指腸炎	8,577,478	571	20.4%
	10	0704 その他の眼及び付属器の疾患	19,937,254	563	20.1%
令和4年度	1	0901 高血圧性疾患	46,077,609	1,263	44.9%
	2	0402 糖尿病	66,833,728	1,221	43.5%
	3	1113 その他の消化器系の疾患	41,733,952	1,008	35.9%
	4	0403 脂質異常症	26,597,180	953	33.9%
	5	1800 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	15,831,443	857	30.5%
	6	0703 屈折及び調節の障害	2,524,132	732	26.0%
	7	2220 その他の特殊目的用コード	19,020,868	720	25.6%
	8	0903 その他の心疾患	60,341,683	653	23.2%
	9	1105 胃炎及び十二指腸炎	8,666,387	594	21.1%
	10	0606 その他の神経系の疾患	46,992,518	582	20.7%

データ化範囲(分析対象)…入院(D P Cを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は令和3年4月～令和5年3月診療分(24か月分)。
資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。
株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。
※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。
※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

以下は、患者一人当たりの医療費上位10疾病を年度別に示したものです。

年度別 中分類による疾病別統計(患者一人当たりの医療費上位10疾病)

年度	順位	疾病分類(中分類)	医療費(円) ※	患者数(人) ※	患者一人当たりの医療費(円)
令和3年度	1	1902 頭蓋内損傷及び内臓の損傷	15,038,842	21	716,135
	2	1402 腎不全	79,666,229	117	680,908
	3	0502 精神作用物質使用による精神及び行動の障害	6,210,490	10	621,049
	4	0209 白血病	4,124,882	7	589,269
	5	0604 脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群	6,018,781	17	354,046
	6	0904 くも膜下出血	5,240,315	19	275,806
	7	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	108,094,266	407	265,588
	8	0205 気管、気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	29,117,653	112	259,979
	9	0507 その他の精神及び行動の障害	10,769,774	42	256,423
	10	0203 直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物<腫瘍>	4,766,191	19	250,852
令和4年度	1	1601 妊娠及び胎児発育に関連する障害	3,077,241	1	3,077,241
	2	1602 その他の周産期に発生した病態	3,716,647	4	929,162
	3	1402 腎不全	81,448,995	116	702,147
	4	0602 アルツハイマー病	13,658,295	23	593,839
	5	0209 白血病	4,139,234	7	591,319
	6	1902 頭蓋内損傷及び内臓の損傷	6,402,439	12	533,537
	7	0501 血管性及び詳細不明の認知症	5,261,982	11	478,362
	8	0203 直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物<腫瘍>	5,568,432	13	428,341
	9	0502 精神作用物質使用による精神及び行動の障害	3,373,556	10	337,356
	10	0507 その他の精神及び行動の障害	12,414,887	38	326,708

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は令和3年4月～令和5年3月診療分(24か月分)。
資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。
株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。
※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。
※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

※大分類毎の集計を 網掛け 表示する。
 ※各項目毎に上位10疾病(中分類)を 網掛け 表示する。

中分類による疾病別医療費統計(全項目)

総合計		医療費総計(円)			レセプト件数 ※			患者数 ※				
		1,188,927,180			43,493			2,810				
疾病分類		医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	構成比 (%)	順位	患者数 ※	構成比 (%)	順位	患者一人当たりの医療費 (円)	順位
Ⅰ. 感染症及び寄生虫症		18,217,850	1.5%		2,885	6.6%		641	22.8%		28,421	
0101	腸管感染症	1,050,802	0.1%	86	688	1.6%	52	170	6.0%	45	6,181	112
0102	結核	354,974	0.0%	103	96	0.2%	96	35	1.2%	91	10,142	96
0103	主として性的伝播様式をとる感染症	292,307	0.0%	106	132	0.3%	91	65	2.3%	72	4,497	118
0104	皮膚及び粘膜の病変を伴うウイルス性疾患	1,723,148	0.1%	79	483	1.1%	62	112	4.0%	63	15,385	79
0105	ウイルス性肝炎	1,873,988	0.2%	77	552	1.3%	54	136	4.8%	56	13,779	85
0106	その他のウイルス性疾患	1,225,789	0.1%	84	74	0.2%	102	25	0.9%	95	49,032	40
0107	真菌症	3,235,061	0.3%	68	872	2.0%	47	196	7.0%	39	16,505	75
0108	感染症及び寄生虫症の続発・後遺症	11,037	0.0%	120	4	0.0%	119	2	0.1%	118	5,519	114
0109	その他の感染症及び寄生虫症	8,450,744	0.7%	37	529	1.2%	56	143	5.1%	53	59,096	35
Ⅱ. 新生物<腫瘍>		225,735,864	19.0%		4,060	9.3%		904	32.2%		249,708	
0201	胃の悪性新生物<腫瘍>	19,997,092	1.7%	15	802	1.8%	49	273	9.7%	32	73,249	30
0202	結腸の悪性新生物<腫瘍>	7,854,808	0.7%	40	515	1.2%	59	194	6.9%	40	40,489	47
0203	直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物<腫瘍>	5,568,432	0.5%	48	108	0.2%	94	13	0.5%	103	428,341	8
0204	肝及び肝内胆管の悪性新生物<腫瘍>	767,267	0.1%	90	246	0.6%	80	67	2.4%	71	11,452	91
0205	気管、気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	16,278,738	1.4%	22	293	0.7%	75	96	3.4%	65	169,570	18
0206	乳房の悪性新生物<腫瘍>	15,943,548	1.3%	23	285	0.7%	76	49	1.7%	80	325,379	11
0207	子宮の悪性新生物<腫瘍>	498,896	0.0%	98	64	0.1%	103	28	1.0%	93	17,818	71
0208	悪性リンパ腫	4,861,112	0.4%	56	176	0.4%	87	60	2.1%	74	81,019	25
0209	白血病	4,139,234	0.3%	58	47	0.1%	106	7	0.2%	112	591,319	5
0210	その他の悪性新生物<腫瘍>	120,395,602	10.1%	1	2,179	5.0%	21	450	16.0%	16	267,546	14
0211	良性新生物<腫瘍>及びその他の新生物<腫瘍>	29,431,135	2.5%	9	1,020	2.3%	44	348	12.4%	25	84,572	24
Ⅲ. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害		8,210,484	0.7%		2,001	4.6%		413	14.7%		19,880	
0301	貧血	4,556,979	0.4%	57	1,364	3.1%	35	269	9.6%	33	16,940	73
0302	その他の血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	3,653,505	0.3%	64	804	1.8%	48	229	8.1%	36	15,954	78
Ⅳ. 内分泌、栄養及び代謝疾患		112,939,847	9.5%		18,659	42.9%		1,636	58.2%		69,034	
0401	甲状腺障害	4,989,740	0.4%	54	1,314	3.0%	37	303	10.8%	29	16,468	76
0402	糖尿病	66,833,728	5.6%	3	10,756	24.7%	3	1,221	43.5%	2	54,737	37
0403	脂質異常症	26,597,180	2.2%	11	12,096	27.8%	2	953	33.9%	4	27,909	62
0404	その他の内分泌、栄養及び代謝疾患	14,519,199	1.2%	27	3,597	8.3%	10	435	15.5%	17	33,377	56
Ⅴ. 精神及び行動の障害		81,873,276	6.9%		3,917	9.0%		339	12.1%		241,514	
0501	血管性及び詳細不明の認知症	5,261,982	0.4%	50	45	0.1%	107	11	0.4%	107	478,362	7
0502	精神作用物質使用による精神及び行動の障害	3,373,556	0.3%	66	85	0.2%	100	10	0.4%	108	337,356	9
0503	統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	27,199,982	2.3%	10	1,542	3.5%	31	119	4.2%	60	228,571	16

※大分類毎の集計を 網掛け 表示する。
 ※各項目毎に上位10疾病(中分類)を 網掛け 表示する。

総合計	医療費総計(円)	レセプト件数 ※	患者数 ※
	1,188,927,180	43,493	2,810

疾病分類	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	構成比 (%)	順位	患者数 ※	構成比 (%)	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
0504 気分[感情]障害(躁うつ病を含む)	19,161,302	1.6%	16	1,776	4.1%	27	147	5.2%	51	130,349	21
0505 神経症性障害, ストレス関連障害及び身体表現性障害	12,515,112	1.1%	30	1,923	4.4%	25	178	6.3%	41	70,310	31
0506 知的障害<精神遅滞>	1,946,455	0.2%	76	250	0.6%	78	26	0.9%	94	74,864	28
0507 その他の精神及び行動の障害	12,414,887	1.0%	31	354	0.8%	69	38	1.4%	88	326,708	10
Ⅵ. 神経系の疾患	88,612,607	7.5%		7,135	16.4%		654	23.3%		135,493	
0601 パーキンソン病	5,202,135	0.4%	52	449	1.0%	63	37	1.3%	89	140,598	19
0602 アルツハイマー病	13,658,295	1.1%	29	239	0.5%	81	23	0.8%	96	593,839	4
0603 てんかん	19,124,130	1.6%	17	1,040	2.4%	43	89	3.2%	67	214,878	17
0604 脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群	3,453,475	0.3%	65	50	0.1%	105	12	0.4%	105	287,790	13
0605 自律神経系の障害	182,054	0.0%	109	160	0.4%	89	18	0.6%	99	10,114	97
0606 その他の神経系の疾患	46,992,518	4.0%	5	6,111	14.1%	5	582	20.7%	10	80,743	26
Ⅶ. 眼及び付属器の疾患	36,934,335	3.1%		4,248	9.8%		882	31.4%		41,876	
0701 結膜炎	3,195,402	0.3%	70	2,015	4.6%	23	406	14.4%	19	7,870	105
0702 白内障	10,329,051	0.9%	33	2,114	4.9%	22	392	14.0%	22	26,350	64
0703 屈折及び調節の障害	2,524,132	0.2%	74	3,444	7.9%	11	732	26.0%	6	3,448	121
0704 その他の眼及び付属器の疾患	20,885,750	1.8%	13	2,858	6.6%	15	559	19.9%	11	37,363	49
Ⅷ. 耳及び乳様突起の疾患	2,449,148	0.2%		656	1.5%		160	5.7%		15,307	
0801 外耳炎	323,128	0.0%	104	174	0.4%	88	48	1.7%	81	6,732	110
0802 その他の外耳疾患	181,117	0.0%	110	91	0.2%	97	43	1.5%	85	4,212	119
0803 中耳炎	321,802	0.0%	105	121	0.3%	92	37	1.3%	89	8,697	102
0804 その他の中耳及び乳様突起の疾患	94,441	0.0%	114	42	0.1%	108	18	0.6%	99	5,247	115
0805 メニエール病	479,341	0.0%	99	189	0.4%	85	30	1.1%	92	15,978	77
0806 その他の内耳疾患	169,794	0.0%	111	78	0.2%	101	23	0.8%	96	7,382	109
0807 その他の耳疾患	879,525	0.1%	88	208	0.5%	83	53	1.9%	77	16,595	74
Ⅸ. 循環器系の疾患	183,256,696	15.4%		19,574	45.0%		1,682	59.9%		108,952	
0901 高血圧性疾患	46,077,609	3.9%	6	16,590	38.1%	1	1,263	44.9%	1	36,483	50
0902 虚血性心疾患	29,947,237	2.5%	8	3,009	6.9%	12	458	16.3%	15	65,387	34
0903 その他の心疾患	60,341,683	5.1%	4	4,792	11.0%	6	653	23.2%	8	92,407	23
0904 くも膜下出血	189,799	0.0%	108	38	0.1%	110	9	0.3%	111	21,089	68
0905 脳内出血	13,830,922	1.2%	28	183	0.4%	86	48	1.7%	81	288,144	12
0906 脳梗塞	7,508,429	0.6%	42	1,195	2.7%	38	174	6.2%	43	43,152	44
0907 脳動脈硬化(症)	53,561	0.0%	117	5	0.0%	118	5	0.2%	114	10,712	94
0908 その他の脳血管疾患	6,892,083	0.6%	44	421	1.0%	64	150	5.3%	50	45,947	43
0909 動脈硬化(症)	1,241,187	0.1%	83	528	1.2%	57	152	5.4%	48	8,166	104
0911 低血圧(症)	360,647	0.0%	102	87	0.2%	98	10	0.4%	108	36,065	52
0912 その他の循環器系の疾患	16,813,539	1.4%	21	971	2.2%	45	228	8.1%	37	73,744	29
Ⅹ. 呼吸器系の疾患	57,962,867	4.9%		5,852	13.5%		993	35.3%		58,371	
1001 急性鼻咽頭炎[かぜ]<感冒>	646,000	0.1%	95	325	0.7%	71	137	4.9%	55	4,715	116
1002 急性咽喉炎及び急性扁桃炎	817,926	0.1%	89	385	0.9%	66	176	6.3%	42	4,647	117
1003 その他の急性上気道感染症	2,761,558	0.2%	72	1,044	2.4%	42	301	10.7%	30	9,175	99

※大分類毎の集計を 網掛け 表示する。
 ※各項目毎に上位10疾病(中分類)を 網掛け 表示する。

総合計	医療費総計(円)	レセプト件数 ※	患者数 ※
	1,188,927,180	43,493	2,810

疾病分類		医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	構成比 (%)	順位	患者数 ※	構成比 (%)	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
1004	肺炎	5,387,500	0.5%	49	265	0.6%	77	105	3.7%	64	51,310	39
1005	急性気管支炎及び急性細気管支炎	1,127,169	0.1%	85	411	0.9%	65	152	5.4%	48	7,416	108
1006	アレルギー性鼻炎	5,062,801	0.4%	53	2,278	5.2%	19	366	13.0%	23	13,833	84
1007	慢性副鼻腔炎	473,503	0.0%	100	319	0.7%	73	52	1.9%	78	9,106	101
1008	急性又は慢性と明示されない気管支炎	1,272,480	0.1%	82	62	0.1%	104	13	0.5%	103	97,883	22
1009	慢性閉塞性肺疾患	8,337,972	0.7%	38	1,123	2.6%	40	157	5.6%	47	53,108	38
1010	喘息	8,033,112	0.7%	39	1,415	3.3%	34	172	6.1%	44	46,704	42
1011	その他の呼吸器系の疾患	24,042,846	2.0%	12	1,331	3.1%	36	306	10.9%	28	78,571	27
X I . 消化器系の疾患		71,701,283	6.0%		13,474	31.0%		1,426	50.7%		50,281	
1101	う蝕 ※	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	
1102	歯肉炎及び歯周疾患	7,635	0.0%	121	1	0.0%	121	1	0.0%	120	7,635	106
1103	その他の歯及び歯の支持組織の障害	12,421	0.0%	119	15	0.0%	113	3	0.1%	117	4,140	120
1104	胃潰瘍及び十二指腸潰瘍	5,741,593	0.5%	47	1,932	4.4%	24	232	8.3%	35	24,748	66
1105	胃炎及び十二指腸炎	8,666,387	0.7%	36	4,496	10.3%	9	594	21.1%	9	14,590	82
1106	痔核	463,358	0.0%	101	196	0.5%	84	43	1.5%	85	10,776	93
1107	アルコール性肝疾患	233,599	0.0%	107	114	0.3%	93	16	0.6%	101	14,600	81
1108	慢性肝炎 (アルコール性のものを除く)	648,271	0.1%	94	324	0.7%	72	51	1.8%	79	12,711	87
1109	肝硬変 (アルコール性のものを除く)	2,127,949	0.2%	75	248	0.6%	79	44	1.6%	83	48,362	41
1110	その他の肝疾患	3,751,513	0.3%	61	1,499	3.4%	33	341	12.1%	26	11,002	92
1111	胆石症及び胆のう炎	3,342,555	0.3%	67	782	1.8%	50	136	4.8%	56	24,578	67
1112	膵疾患	4,972,050	0.4%	55	509	1.2%	61	116	4.1%	61	42,863	45
1113	その他の消化器系の疾患	41,733,952	3.5%	7	9,917	22.8%	4	1,008	35.9%	3	41,403	46
X II . 皮膚及び皮下組織の疾患		15,599,876	1.3%		3,777	8.7%		694	24.7%		22,478	
1201	皮膚及び皮下組織の感染症	988,104	0.1%	87	382	0.9%	67	120	4.3%	59	8,234	103
1202	皮膚炎及び湿疹	6,882,837	0.6%	45	2,657	6.1%	16	478	17.0%	13	14,399	83
1203	その他の皮膚及び皮下組織の疾患	7,728,935	0.7%	41	1,905	4.4%	26	402	14.3%	20	19,226	69
X III . 筋骨格系及び結合組織の疾患		86,082,004	7.2%		11,863	27.3%		1,274	45.3%		67,568	
1301	炎症性多発性関節障害	14,666,612	1.2%	26	1,679	3.9%	28	223	7.9%	38	65,770	33
1302	関節症	17,385,885	1.5%	20	2,548	5.9%	17	316	11.2%	27	55,019	36
1303	脊椎障害(脊椎症を含む)	10,124,288	0.9%	35	2,281	5.2%	18	291	10.4%	31	34,791	53
1304	椎間板障害	1,784,932	0.2%	78	517	1.2%	58	63	2.2%	73	28,332	61
1305	頸腕症候群	620,684	0.1%	96	510	1.2%	60	68	2.4%	70	9,128	100
1306	腰痛症及び坐骨神経痛	7,092,639	0.6%	43	2,975	6.8%	13	414	14.7%	18	17,132	72
1307	その他の脊柱障害	3,225,383	0.3%	69	546	1.3%	55	94	3.3%	66	34,313	54
1308	肩の傷害<損傷>	1,544,315	0.1%	80	908	2.1%	46	129	4.6%	58	11,971	90
1309	骨の密度及び構造の障害	17,484,037	1.5%	19	4,652	10.7%	8	481	17.1%	12	36,349	51
1310	その他の筋骨格系及び結合組織の疾患	12,153,229	1.0%	32	2,905	6.7%	14	468	16.7%	14	25,968	65

※大分類毎の集計を 網掛け 表示する。
 ※各項目毎に上位10疾病(中分類)を 網掛け 表示する。

総合計	医療費総計(円)	レセプト件数 ※	患者数 ※
	1,188,927,180	43,493	2,810

疾病分類	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	構成比 (%)	順位	患者数 ※	構成比 (%)	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
XIV. 腎尿路生殖器系の疾患	105,439,550	8.9%		4,833	11.1%		652	23.2%		161,717	
1401 糸球体疾患及び腎尿細管間質性疾患	4,029,762	0.3%	59	772	1.8%	51	140	5.0%	54	28,784	60
1402 腎不全	81,448,995	6.9%	2	1,095	2.5%	41	116	4.1%	61	702,147	3
1403 尿路結石症	705,228	0.1%	92	211	0.5%	82	56	2.0%	75	12,593	89
1404 その他の腎尿路系の疾患	10,209,126	0.9%	34	2,278	5.2%	19	354	12.6%	24	28,839	59
1405 前立腺肥大(症)	5,230,330	0.4%	51	1,574	3.6%	30	161	5.7%	46	32,487	57
1406 その他の男性生殖器の疾患	526,447	0.0%	97	379	0.9%	68	41	1.5%	87	12,840	86
1407 月経障害及び閉経周辺期障害	686,057	0.1%	93	328	0.8%	70	54	1.9%	76	12,705	88
1408 乳房及びその他の女性生殖器の疾患	2,603,605	0.2%	73	308	0.7%	74	84	3.0%	68	30,995	58
XV. 妊娠、分娩及び産じょく	4,038,244	0.3%		36	0.1%		16	0.6%		252,390	
1501 流産	137,431	0.0%	113	6	0.0%	117	2	0.1%	118	68,716	32
1502 妊娠高血圧症候群	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	
1503 単胎自然分娩	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	
1504 その他の妊娠、分娩及び産じょく	3,900,813	0.3%	60	32	0.1%	111	15	0.5%	102	260,054	15
XVI. 産産期に発生した病態	6,793,888	0.6%		10	0.0%		4	0.1%		1,698,472	
1601 妊娠及び胎児発育に関連する障害	3,077,241	0.3%	71	3	0.0%	120	1	0.0%	120	3,077,241	1
1602 その他の産産期に発生した病態	3,716,647	0.3%	63	9	0.0%	116	4	0.1%	115	929,162	2
XVII. 先天奇形、変形及び染色体異常	1,501,339	0.1%		116	0.3%		48	1.7%		31,278	
1701 心臓の先天奇形	30,064	0.0%	118	10	0.0%	115	4	0.1%	115	7,516	107
1702 その他の先天奇形、変形及び染色体異常	1,471,275	0.1%	81	106	0.2%	95	44	1.6%	83	33,438	55
XVIII. 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	15,831,443	1.3%		4,775	11.0%		857	30.5%		18,473	
1800 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	15,831,443	1.3%	24	4,775	11.0%	7	857	30.5%	5	18,473	70
XIX. 損傷、中毒及びその他の外因の影響	42,788,780	3.6%		1,793	4.1%		538	19.1%		79,533	
1901 骨折	20,201,983	1.7%	14	593	1.4%	53	147	5.2%	51	137,428	20
1902 頭蓋内損傷及び内臓の損傷	6,402,439	0.5%	46	41	0.1%	109	12	0.4%	105	533,537	6
1903 熱傷及び腐食	59,202	0.0%	116	23	0.1%	112	10	0.4%	108	5,920	113
1904 中毒	727,763	0.1%	91	140	0.3%	90	72	2.6%	69	10,108	98
1905 その他の損傷及びその他の外因の影響	15,397,393	1.3%	25	1,178	2.7%	39	395	14.1%	21	38,981	48
XXI. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	3,795,775	0.3%		1,658	3.8%		252	9.0%		15,063	
2101 検査及び診査のための保健サービスの利用者	64,017	0.0%	115	13	0.0%	114	6	0.2%	113	10,670	95
2102 予防接種	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	
2103 正常妊娠及び産じょくの管理並びに家族計画	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	
2104 歯の補てつ	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	

※大分類毎の集計を 網掛け 表示する。
 ※各項目毎に上位10疾病(中分類)を 網掛け 表示する。

総合計	医療費総計(円)	レセプト件数 ※	患者数 ※
	1,188,927,180	43,493	2,810

疾病分類		医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	構成比 (%)	順位	患者数 ※	構成比 (%)	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
2105	特定の処置(歯の補てつを除く)及び保健ケアのための保健サービスの利用者	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	
2106	その他の理由による保健サービスの利用者	3,731,758	0.3%	62	1,645	3.8%	29	247	8.8%	34	15,108	80
X X II. 特殊目的用コード		19,020,868	1.6%		1,539	3.5%		720	25.6%		26,418	
2210	重症急性呼吸器症候群[SARS]	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	
2220	その他の特殊目的用コード	19,020,868	1.6%	18	1,539	3.5%	32	720	25.6%	7	26,418	63
分類外		141,156	0.0%		86	0.2%		21	0.7%		6,722	
9999	分類外	141,156	0.0%	112	86	0.2%	99	21	0.7%	98	6,722	111

データ化範囲(分析対象)…入院(D P Cを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
 対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12か月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

※レセプト件数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計件数は他統計と一致しない(一件のレセプトに複数の疾病があるため)。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

※う蝕…「う蝕」等歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

4. 生活習慣病に係る医療費等の状況

(1) 生活習慣病と生活習慣病以外の医療費と患者数

以下は、令和4年4月～令和5年3月診療分(12か月分)のレセプトより、疾病分類表における中分類単位で生活習慣病と生活習慣病以外の医療費を集計したものです。ここでは、生活習慣病の基礎疾患(糖尿病、脂質異常症、高血圧性疾患)及び生活習慣病に関係する重症化疾患を生活習慣病とし集計しました。生活習慣病の医療費は2億7,728,647円で、医療費全体の23.0%を占めています。

生活習慣病と生活習慣病以外の医療費

	入院(円)	構成比(%)	入院外(円)	構成比(%)	合計(円)	構成比(%)
生活習慣病	70,636,947	12.7%	203,091,700	32.1%	273,728,647	23.0%
生活習慣病以外	485,183,233	87.3%	430,015,300	67.9%	915,198,533	77.0%
合計(円)	555,820,180		633,107,000		1,188,927,180	

データ化範囲(分析対象)…入院(D P Cを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12か月分)。

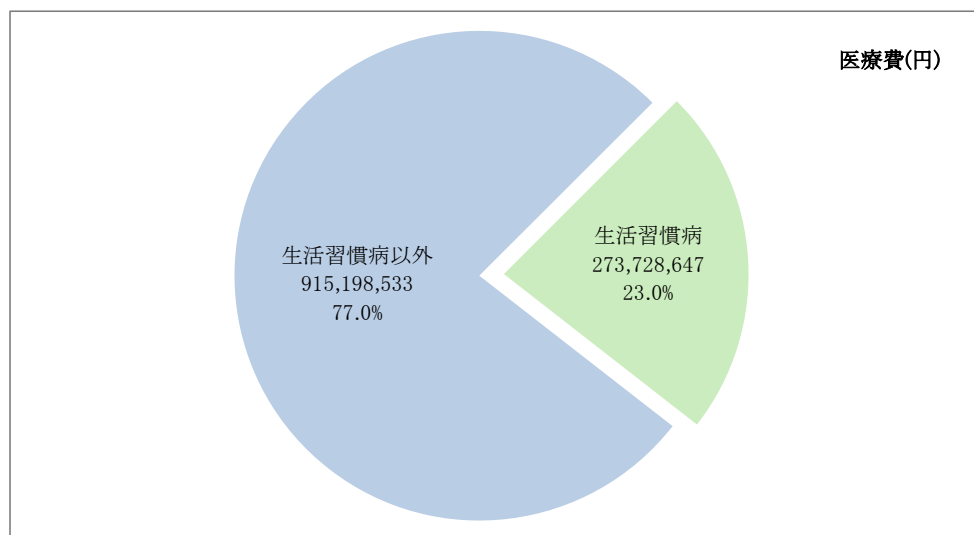
資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

生活習慣病…厚生労働省「特定健康診査等実施計画作成の手引き(第4版)」には、生活習慣病の明確な定義が記載されていないため、「特定健康診査等実施計画作成の手引き(第2版)」に記載された疾病中分類を生活習慣病の疾病項目としている。

0402 糖尿病、0403 脂質異常症、0901 高血圧性疾患、0902 虚血性心疾患、0904 くも膜下出血、0905 脳内出血、0906 脳梗塞、0907 脳動脈硬化(症)、0909 動脈硬化(症)、1402 腎不全

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

医療費全体に占める生活習慣病医療費の割合



データ化範囲(分析対象)…入院(D P Cを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12か月分)。

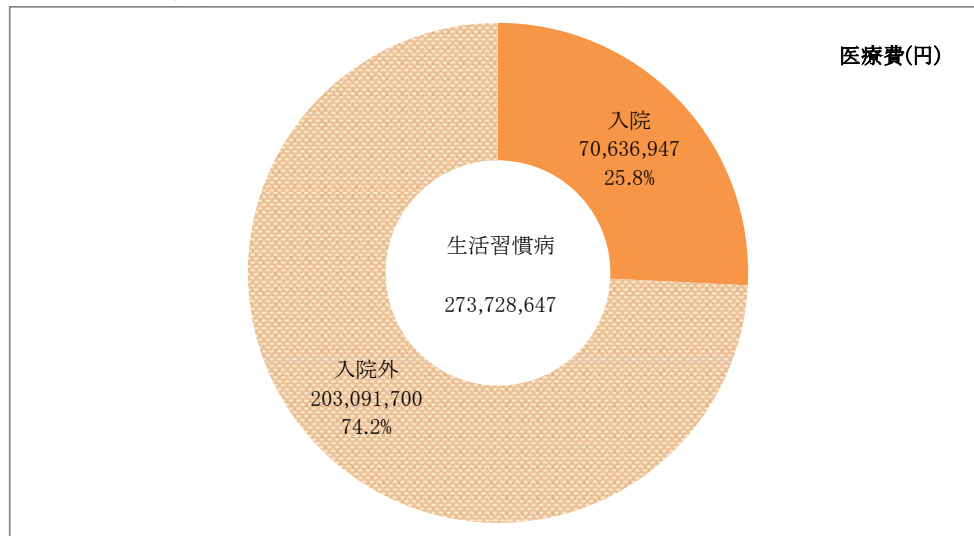
資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

生活習慣病…厚生労働省「特定健康診査等実施計画作成の手引き(第4版)」には、生活習慣病の明確な定義が記載されていないため、「特定健康診査等実施計画作成の手引き(第2版)」に記載された疾病中分類を生活習慣病の疾病項目としている。

0402 糖尿病、0403 脂質異常症、0901 高血圧性疾患、0902 虚血性心疾患、0904 くも膜下出血、0905 脳内出血、0906 脳梗塞、0907 脳動脈硬化(症)、0909 動脈硬化(症)、1402 腎不全

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

生活習慣病医療費に占める入院、入院外医療費の割合



データ化範囲(分析対象)…入院(D P Cを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12か月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

生活習慣病…厚生労働省「特定健康診査等実施計画作成の手引き(第4版)」には、生活習慣病の明確な定義が記載されていないため、「特定健康診査等実施計画作成の手引き(第2版)」に記載された疾病中分類を生活習慣病の疾病項目としている。

0402 糖尿病、0403 脂質異常症、0901 高血圧性疾患、0902 虚血性心疾患、0904 くも膜下出血、0905 脳内出血、0906 脳梗塞、0907 脳動脈硬化(症)、0909 動脈硬化(症)、1402 腎不全

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

生活習慣病で医療機関を受診している患者数は1,857人で、被保険者全体に占めるその割合は52.3%です。

医療機関受診状況及び生活習慣病罹患状況

		人数(人)	割合(%)
A	被保険者数	3,550	
B	医療機関受診者数(患者数)	2,829	79.7%
C	生活習慣病有 ※	1,857	52.3%
B-C	生活習慣病無 ※	972	27.4%
A-B	医療機関未受診者数	721	20.3%

データ化範囲(分析対象)…入院(D P Cを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12か月分)

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

※生活習慣病有…分析期間中に生活習慣病に関する診療行為がある患者を対象に集計している。

※生活習慣病無…レセプトが発生している患者のうち、

分析期間中に生活習慣病に関する診療行為がない患者を対象に集計している。

生活習慣病…厚生労働省「特定健康診査等実施計画作成の手引き(第4版)」には、

生活習慣病の明確な定義が記載されていないため、

「特定健康診査等実施計画作成の手引き(第2版)」に記載された

疾病中分類を生活習慣病の疾病項目としている。

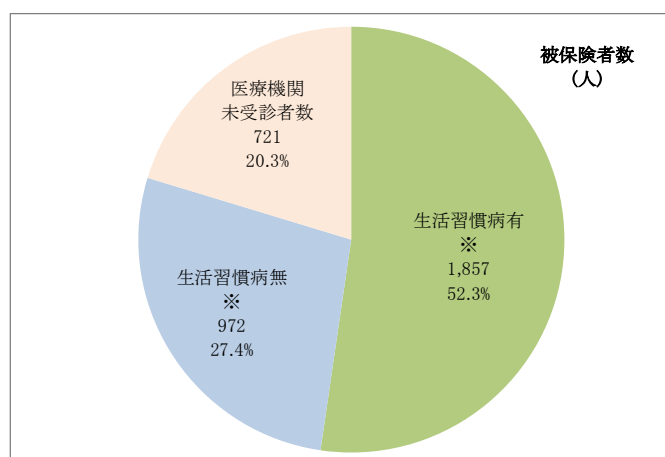
0402 糖尿病、0403 脂質異常症、0901 高血圧性疾患、0902 虚血性心疾患、

0904 くも膜下出血、0905 脳内出血、0906 脳梗塞、0907 脳動脈硬化(症)、

0909 動脈硬化(症)、1402 腎不全

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

被保険者全体に占める生活習慣病患者の状況



データ化範囲(分析対象)…入院(D P Cを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12か月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

※生活習慣病有…分析期間中に生活習慣病に関する診療行為がある患者を対象に集計している。

※生活習慣病無…レセプトが発生している患者のうち、

分析期間中に生活習慣病に関する診療行為がない患者を対象に集計している。

生活習慣病…厚生労働省「特定健康診査等実施計画作成の手引き(第4版)」には、

生活習慣病の明確な定義が記載されていないため、

「特定健康診査等実施計画作成の手引き(第2版)」に記載された

疾病中分類を生活習慣病の疾病項目としている。

0402 糖尿病、0403 脂質異常症、0901 高血圧性疾患、0902 虚血性心疾患、

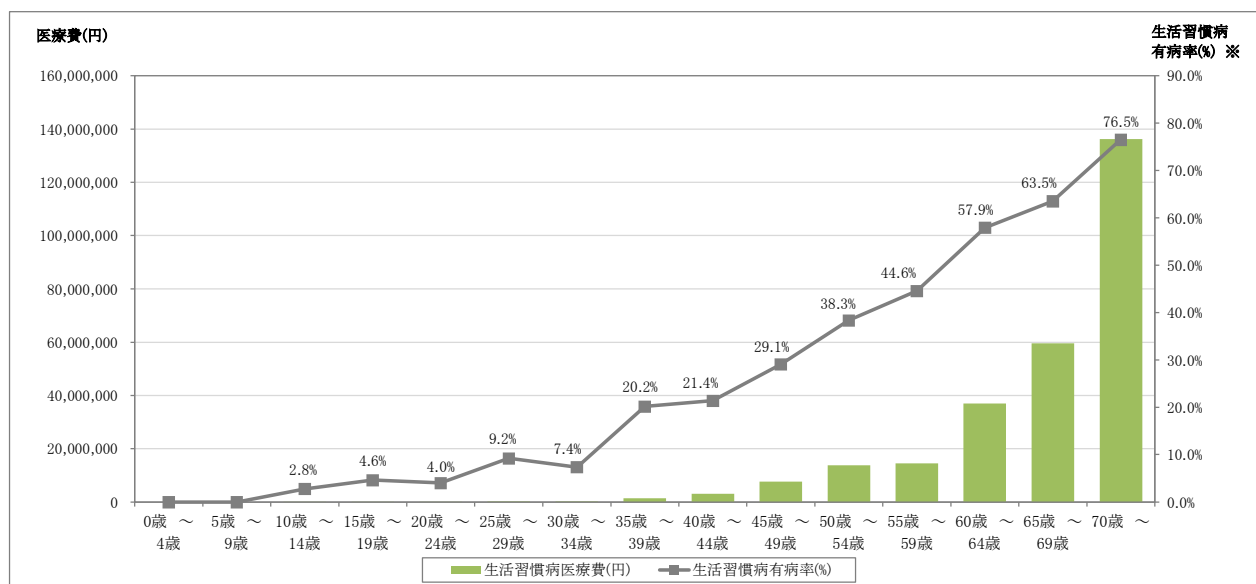
0904 くも膜下出血、0905 脳内出血、0906 脳梗塞、0907 脳動脈硬化(症)、

0909 動脈硬化(症)、1402 腎不全

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

以下は、年齢階層別の生活習慣病医療費と有病率を示したものです。年齢階層が上がるにつれて患者数が増え医療費が増大する傾向にあります。

年齢階層別 生活習慣病医療費と有病率



データ化範囲(分析対象)…入院(D P Cを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12か月分)

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

※生活習慣病有病率…被保険者数に占める生活習慣病患者数の割合。

生活習慣病…厚生労働省「特定健康診査等実施計画作成の手引き(第4版)」には、生活習慣病の明確な定義が記載されていないため、

「特定健康診査等実施計画作成の手引き(第2版)」に記載された疾病中分類を生活習慣病の疾病項目としている。

0402 糖尿病、0403 脂質異常症、0901 高血圧性疾患、0902 虚血性心疾患、0904 くも膜下出血、0905 脳内出血、

0906 脳梗塞、0907 脳動脈硬化(症)、0909 動脈硬化(症)、1402 腎不全

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

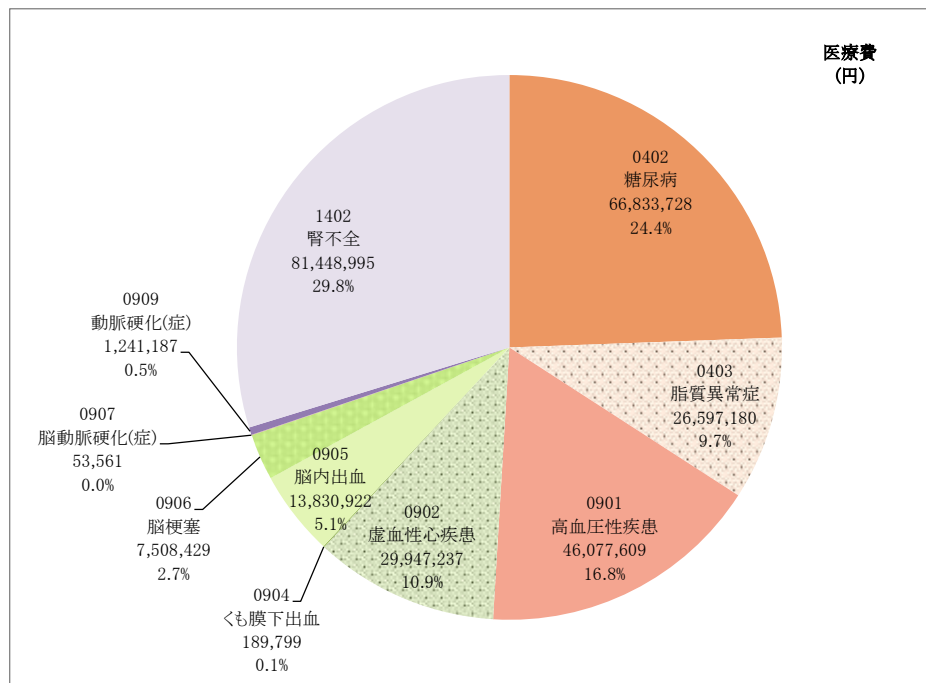
(2)生活習慣病疾病別医療費等の状況

以下は、令和4年4月～令和5年3月診療分(12か月分)における、生活習慣病疾病別の医療費、患者数、患者一人当たりの医療費、有病率を示したものです。

生活習慣病疾病別 医療費統計

疾病分類(中分類)	医療費(円)	構成比(%)	順位	患者数(人)	有病率(%) ※	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
0402 糖尿病	66,833,728	24.4%	2	1,221	34.4%	2	54,737	4
0403 脂質異常症	26,597,180	9.7%	5	953	26.8%	3	27,909	7
0901 高血圧性疾患	46,077,609	16.8%	3	1,263	35.6%	1	36,483	6
0902 虚血性心疾患	29,947,237	10.9%	4	458	12.9%	4	65,387	3
0904 くも膜下出血	189,799	0.1%	9	9	0.3%	9	21,089	8
0905 脳内出血	13,830,922	5.1%	6	48	1.4%	8	288,144	2
0906 脳梗塞	7,508,429	2.7%	7	174	4.9%	5	43,152	5
0907 脳動脈硬化(症)	53,561	0.0%	10	5	0.1%	10	10,712	9
0909 動脈硬化(症)	1,241,187	0.5%	8	152	4.3%	6	8,166	10
1402 腎不全	81,448,995	29.8%	1	116	3.3%	7	702,147	1
合計	273,728,647			1,857	52.3%		147,404	

生活習慣病疾病別 医療費割合



データ化範囲(分析対象)…入院(D P Cを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12か月分)。

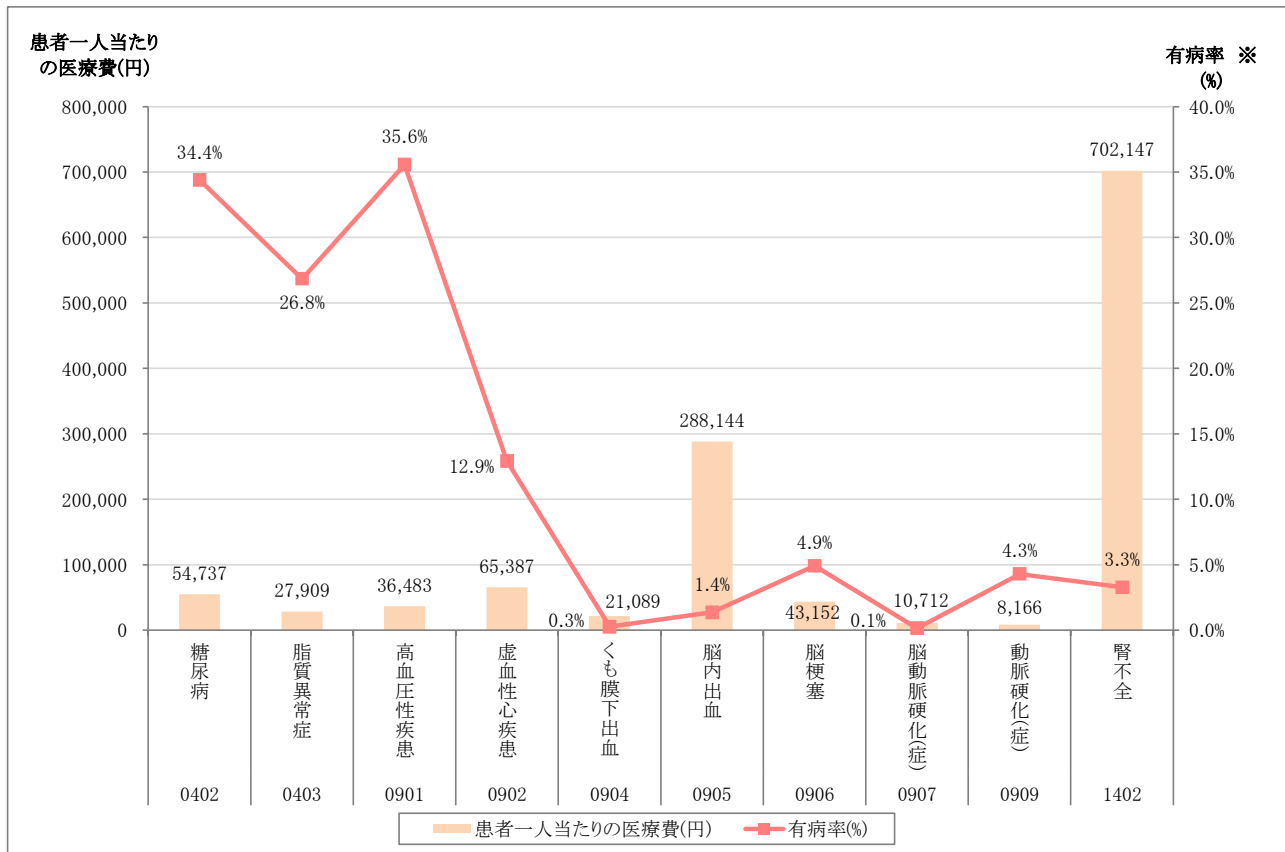
資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

※有病率…被保険者数に占める患者数の割合。

生活習慣病…厚生労働省「特定健康診査等実施計画作成の手引き(第4版)」には、生活習慣病の明確な定義が記載されていないため、「特定健康診査等実施計画作成の手引き(第2版)」に記載された疾病中分類を生活習慣病の疾病項目としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

生活習慣病疾病別 患者一人当たりの医療費と有病率



データ化範囲(分析対象)…入院(D P Cを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12か月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

※有病率…被保険者数に占める患者数の割合。

生活習慣病…厚生労働省「特定健康診査等実施計画作成の手引き(第4版)」には、生活習慣病の明確な定義が記載されていないため、「特定健康診査等実施計画作成の手引き(第2版)」に記載された疾病中分類を生活習慣病の疾病項目としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

以下は、令和3年度から令和4年度における、生活習慣病医療費を年度別に示したものです。令和4年度を令和3年度と比較すると、糖尿病医療費6,683万円は、令和3年度7,326万円より643万円減少しています。また、脂質異常症医療費2,660万円は、令和3年度2,860万円より200万円減少しています。高血圧性疾患医療費4,608万円は、令和3年度4,775万円より167万円減少しています。

年度別 生活習慣病医療費

疾病分類(中分類)		令和3年度		令和4年度	
		医療費(円) ※	構成比(%)	医療費(円) ※	構成比(%)
0402	糖尿病	73,258,711	25.1%	66,833,728	24.4%
0403	脂質異常症	28,598,201	9.8%	26,597,180	9.7%
0901	高血圧性疾患	47,754,438	16.4%	46,077,609	16.8%
0902	虚血性心疾患	29,920,005	10.3%	29,947,237	10.9%
0904	くも膜下出血	5,240,315	1.8%	189,799	0.1%
0905	脳内出血	5,449,812	1.9%	13,830,922	5.1%
0906	脳梗塞	20,679,234	7.1%	7,508,429	2.7%
0907	脳動脈硬化(症)	53,683	0.0%	53,561	0.0%
0909	動脈硬化(症)	815,540	0.3%	1,241,187	0.5%
1402	腎不全	79,666,229	27.3%	81,448,995	29.8%
合計		291,436,168		273,728,647	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和3年4月～令和5年3月診療分(24か月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

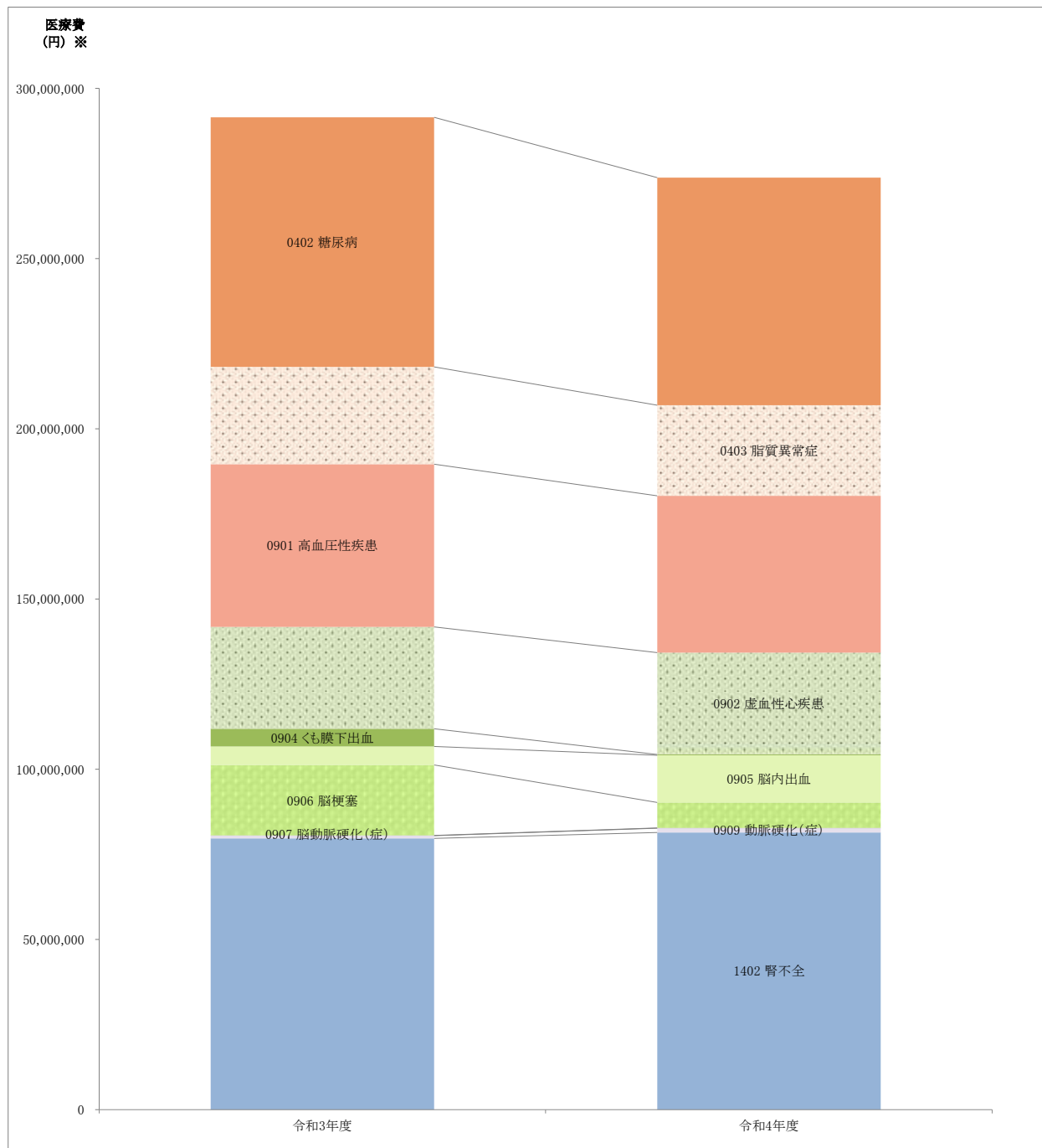
株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

生活習慣病…厚生労働省「特定健康診査等実施計画作成の手引き(第4版)」には、生活習慣病の明確な定義が記載されていないため、

「特定健康診査等実施計画作成の手引き(第2版)」に記載された疾病中分類を生活習慣病の疾病項目としている。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

年度別 生活習慣病医療費



データ化範囲(分析対象)…入院(D P Cを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和3年4月～令和5年3月診療分(24か月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

生活習慣病…厚生労働省「特定健康診査等実施計画作成の手引き(第4版)」には、生活習慣病の明確な定義が記載されていないため、「特定健康診査等実施計画作成の手引き(第2版)」に記載された疾病中分類を生活習慣病の疾病項目としている。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

5. 特定健康診査に係る分析結果

(1) メタボリックシンドローム該当状況

以下は、令和4年4月～令和5年3月診療分(12か月分)における、特定健康診査受診者のメタボリックシンドローム該当状況を示したものです。基準該当は25.3%、予備群該当は9.3%です。

メタボリックシンドローム該当状況

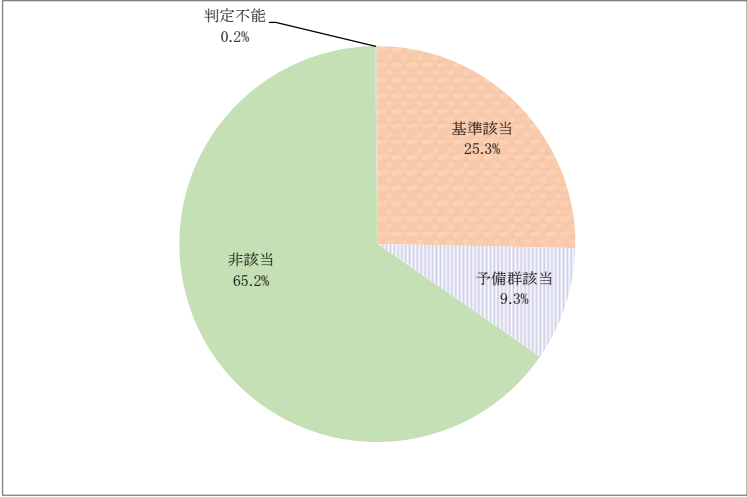
	健診受診者数	基準該当	予備群該当	非該当	判定不能
該当者数(人)	1,204	305	112	785	2
割合(%) ※	-	25.3%	9.3%	65.2%	0.2%

データ化範囲(分析対象)…健康診査データは令和4年4月～令和5年3月診療分(12か月分)。

資格確認日…令和5年3月31日時点。

※割合…特定健康診査受診者のうち、各レベルに該当した人の割合。

メタボリックシンドローム該当状況



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは令和4年4月～令和5年3月診療分(12か月分)。

資格確認日…令和5年3月31日時点。

※割合…特定健康診査受診者のうち、各レベルに該当した人の割合。

※メタボリックシンドローム判定基準

腹囲	追加リスク (①血糖 ②脂質 ③血圧)	該当状況
≥85cm (男性)	2つ以上該当	メタボリックシンドローム基準該当者
≥90cm (女性)	1つ該当	メタボリックシンドローム予備群該当者

※追加リスクの基準値は以下のとおりである。

①血糖:空腹時血糖が110mg/dl以上

②脂質:中性脂肪150mg/dl以上 または HDL コレステロール40mg/dl未満

③血圧:収縮期血圧130mmHg以上 または 拡張期血圧85mmHg以上

※糖尿病、高血圧症または脂質異常症の治療に係る薬剤を服用している者も対象となる。

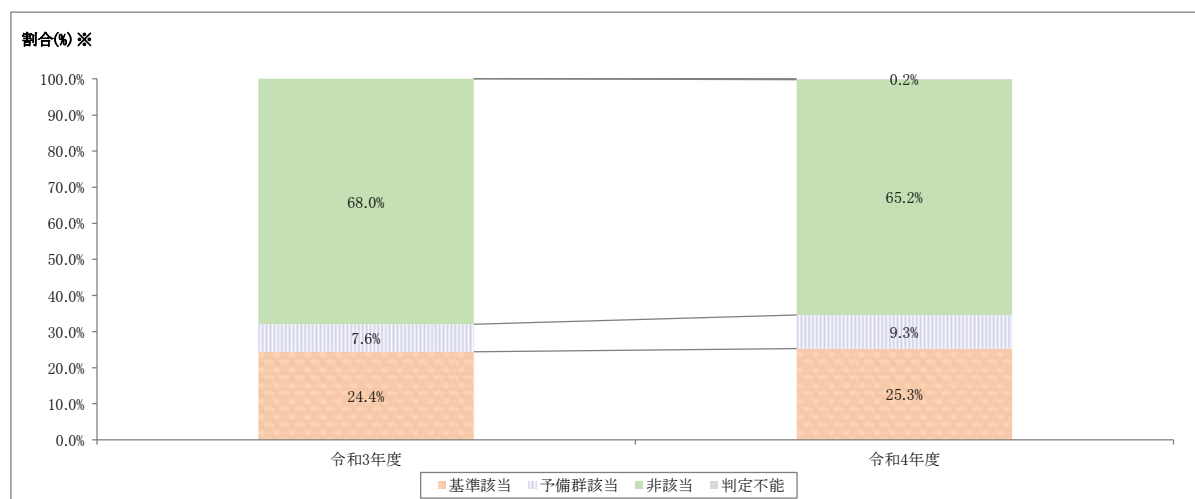
以下は、令和3年度から令和4年度における、特定健康診査受診者のメタボリックシンドローム該当状況を年度別に示したものです。令和4年度を令和3年度と比較すると、基準該当25.3%は令和3年度24.4%より0.9ポイント増加しており、予備群該当9.3%は令和3年度7.6%より1.7ポイント増加しています。

年度別 メタボリックシンドローム該当状況

年度	健診受診者数(人)
令和3年度	1,222
令和4年度	1,204

年度	基準該当		予備群該当		非該当		判定不能	
	人数(人)	割合(%) ※	人数(人)	割合(%) ※	人数(人)	割合(%) ※	人数(人)	割合(%) ※
令和3年度	298	24.4%	93	7.6%	831	68.0%	0	0.0%
令和4年度	305	25.3%	112	9.3%	785	65.2%	2	0.2%

年度別 メタボリックシンドローム該当状況



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは令和3年4月～令和5年3月診療分(24か月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※割合…特定健康診査受診者のうち、各レベルに該当した人の割合。

(2) 有所見者割合

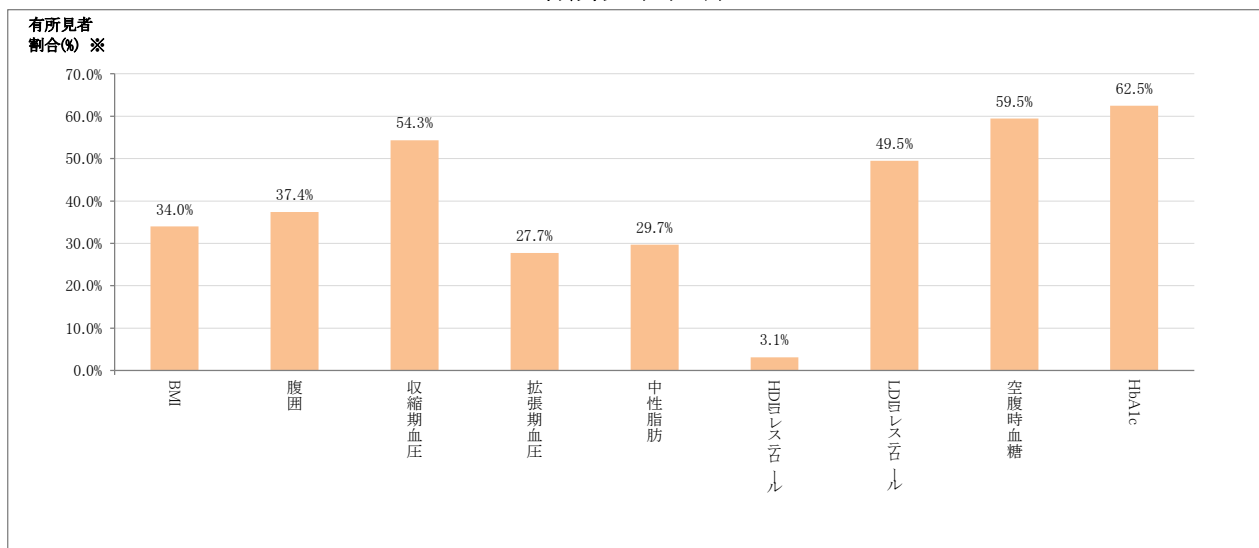
以下は、令和4年4月～令和5年3月診療分(12か月分)における、特定健康診査受診者の有所見者割合を示したものです。

有所見者割合

	BMI	腹囲	収縮期血圧	拡張期血圧
対象者数(人) ※	1,204	1,203	1,204	1,204
有所見者数(人) ※	409	450	654	334
有所見者割合(%) ※	34.0%	37.4%	54.3%	27.7%

	中性脂肪	HDLコレステロール	LDLコレステロール	空腹時血糖	HbA1c
対象者数(人) ※	1,204	1,204	1,204	37	1,204
有所見者数(人) ※	357	37	596	22	752
有所見者割合(%) ※	29.7%	3.1%	49.5%	59.5%	62.5%

有所見者割合



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは令和4年4月～令和5年3月診療分(12か月分)。

資格確認日…令和5年3月31日時点。

※対象者数 …健診検査値が記録されている人数。

※有所見者数 …保健指導判定値を超えている人数。

※有所見者割合…健診検査値が記録されている人のうち、保健指導判定値を超えている人の割合。

保健指導判定値

BMI:25以上、腹囲:男性85cm以上、女性90cm以上、収縮期血圧:130mmHg以上、拡張期血圧:85mmHg以上、
中性脂肪:150mg/dl以上、HDLコレステロール:39mg/dl以下、LDLコレステロール:120mg/dl以上、
空腹時血糖値:100mg/dl以上、HbA1c:5.6%以上

以下は、令和３年度から令和４年度における、特定健康診査受診者の有所見者割合を年度別に示したものです。

年度別 有所見者割合

		令和3年度	令和4年度
BMI	対象者数(人) ※	1,222	1,204
	有所見者数(人) ※	428	409
	有所見者割合(%) ※	35.0%	34.0%
腹囲	対象者数(人) ※	1,222	1,203
	有所見者数(人) ※	415	450
	有所見者割合(%) ※	34.0%	37.4%
収縮期血圧	対象者数(人) ※	1,222	1,204
	有所見者数(人) ※	704	654
	有所見者割合(%) ※	57.6%	54.3%
拡張期血圧	対象者数(人) ※	1,222	1,204
	有所見者数(人) ※	361	334
	有所見者割合(%) ※	29.5%	27.7%
中性脂肪	対象者数(人) ※	1,222	1,204
	有所見者数(人) ※	382	357
	有所見者割合(%) ※	31.3%	29.7%
HDLコレステロール	対象者数(人) ※	1,222	1,204
	有所見者数(人) ※	50	37
	有所見者割合(%) ※	4.1%	3.1%
LDLコレステロール	対象者数(人) ※	1,222	1,204
	有所見者数(人) ※	602	596
	有所見者割合(%) ※	49.3%	49.5%
空腹時血糖	対象者数(人) ※	51	37
	有所見者数(人) ※	26	22
	有所見者割合(%) ※	51.0%	59.5%
HbA1c	対象者数(人) ※	1,222	1,204
	有所見者数(人) ※	851	752
	有所見者割合(%) ※	69.6%	62.5%

データ化範囲(分析対象)…健康診査データは令和３年４月～令和５年３月診療分(24か月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※対象者数 …健診検査値が記録されている人数。

※有所見者数 …保健指導判定値を超えている人数。

※有所見者割合…健診検査値が記録されている人のうち、保健指導判定値を超えている人の割合。

保健指導判定値

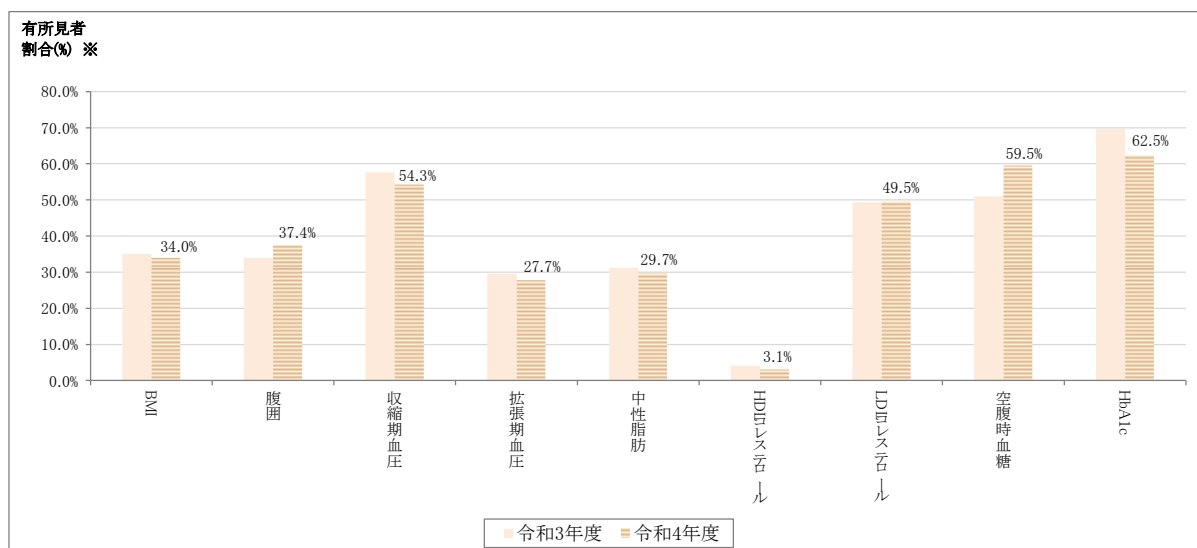
B M I :25以上、 腹 囲:男性85cm以上、 女性90cm以上、

収縮期血圧:130mmHg以上、 拡張期血圧:85mmHg以上、

中性脂肪:150mg/dl以上、 H D L コレステロール : 39mg/dl以下、 L D L コレステロール:120mg/dl以上、

空腹時血糖値:100mg/dl以上、 H b A 1 c :5. 6%以上

年度別 有所見者割合



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは令和3年4月～令和5年3月診療分(24か月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※有所見者割合…健診検査値が記録されている人のうち、保健指導判定値を超えている人の割合。

保健指導判定値

BMI:25以上、 腹囲:男性85cm以上、 女性90cm以上、

収縮期血圧:130mmHg以上、 拡張期血圧:85mmHg以上、

中性脂肪:150mg/dl以上、HDLコレステロール:39mg/dl以下、 LDLコレステロール:120mg/dl以上、

空腹時血糖値:100mg/dl以上、 HbA1c:5.6%以上

(3) 質問別回答状況

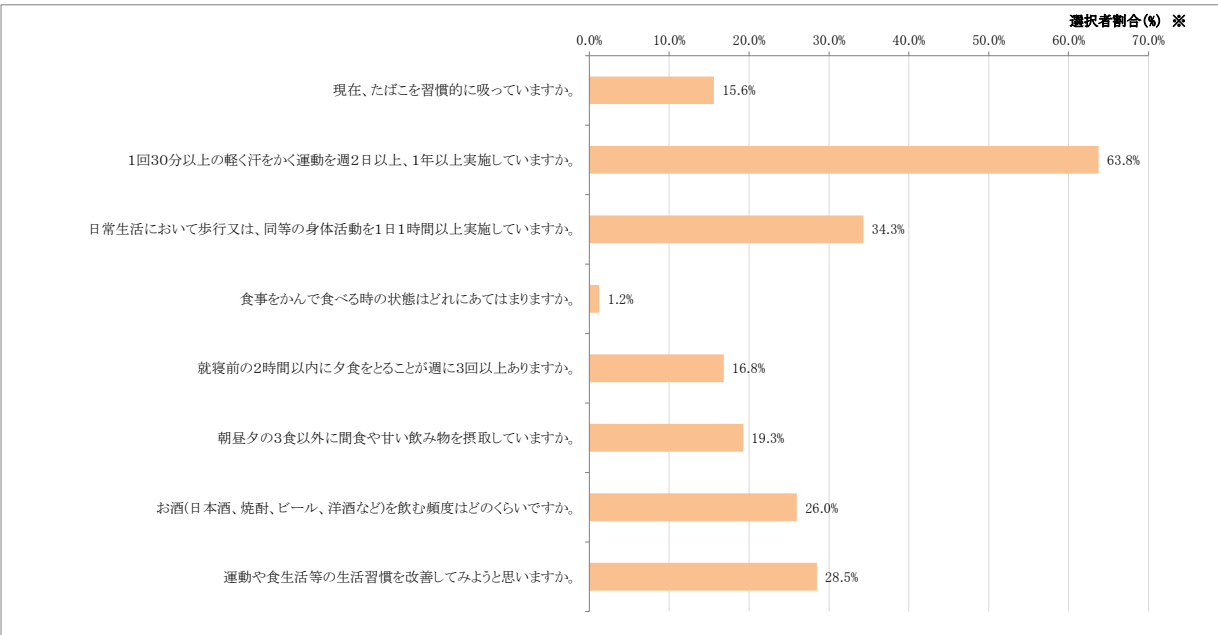
以下は、令和4年4月～令和5年3月診療分(12か月分)における、特定健康診査の喫煙・運動・口腔機能・食習慣・飲酒・生活習慣の改善に関する各質問において、対応の考慮が必要な選択肢を選択した者の割合を示したものです。

対応の考慮が必要な選択肢の選択状況

	喫煙	運動		口腔機能
	現在、たばこを習慣的に吸っていますか。	1回30分以上の軽く汗をかく運動を週2日以上、1年以上実施していますか。	日常生活において歩行又は、同等の身体活動を1日1時間以上実施していますか。	食事をかんで食べる時の状態はどれにあてはまりますか。
質問の選択肢	「はい」	「いいえ」	「いいえ」	「ほとんどかめない」
質問回答者数(人) ※	1,204	1,203	1,201	1,203
選択者数(人) ※	188	767	412	15
選択者割合(%) ※	15.6%	63.8%	34.3%	1.2%

	食習慣	飲酒	生活習慣の改善	
	就寝前の2時間以内に夕食をとることが週に3回以上ありますか。	朝昼夕の3食以外に間食や甘い飲み物を摂取していますか。	お酒(日本酒、焼酎、ビール、洋酒など)を飲む頻度はどのくらいですか。	運動や食生活等の生活習慣を改善してみようと思いますか。
質問の選択肢	「はい」	「毎日」	「毎日」	「改善するつもりはない」
質問回答者数(人) ※	1,195	1,200	1,201	1,127
選択者数(人) ※	201	231	312	321
選択者割合(%) ※	16.8%	19.3%	26.0%	28.5%

対応の考慮が必要な選択肢の選択者割合



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは令和4年4月～令和5年3月診療分(12か月分)。

資格確認日…令和5年3月31日時点。

※質問回答者数…質問に回答した人数。

※選択者数…該当の選択肢を選択した人数。

※選択者割合…質問回答者のうち、該当の選択肢を選択した人の割合。

以下は、令和3年度から令和4年度における、特定健康診査の喫煙・運動・口腔機能・食習慣・飲酒・生活習慣の改善に関する各質問において、対応の考慮が必要な選択肢を選択した者の割合を年度別に示したものです。

年度別 対応の考慮が必要な選択肢の選択状況

類型名	質問文	質問の選択肢		令和3年度	令和4年度
喫煙	現在、たばこを習慣的に吸っていますか。	「はい」	質問回答者数(人) ※	1,222	1,204
			選択者数(人) ※	174	188
			選択者割合(%) ※	14.2%	15.6%
運動	1回30分以上の軽く汗をかく運動を週2日以上、1年以上実施していますか。	「いいえ」	質問回答者数(人) ※	1,214	1,203
			選択者数(人) ※	733	767
			選択者割合(%) ※	60.4%	63.8%
	日常生活において歩行又は、同等の身体活動を1日1時間以上実施していますか。	「いいえ」	質問回答者数(人) ※	1,213	1,201
			選択者数(人) ※	352	412
			選択者割合(%) ※	29.0%	34.3%
口腔機能	食事をかんで食べる時の状態はどれにあてはまりますか。	「ほとんどかめない」	質問回答者数(人) ※	1,210	1,203
			選択者数(人) ※	12	15
			選択者割合(%) ※	1.0%	1.2%
食習慣	就寝前の2時間以内に夕食をとることが週に3回以上ありますか。	「はい」	質問回答者数(人) ※	1,209	1,195
			選択者数(人) ※	152	201
			選択者割合(%) ※	12.6%	16.8%
	朝昼夕の3食以外に間食や甘い飲み物を摂取していますか。	「毎日」	質問回答者数(人) ※	1,213	1,200
			選択者数(人) ※	202	231
			選択者割合(%) ※	16.7%	19.3%
飲酒	お酒(日本酒、焼酎、ビール、洋酒など)を飲む頻度はどのくらいですか。	「毎日」	質問回答者数(人) ※	1,208	1,201
			選択者数(人) ※	299	312
			選択者割合(%) ※	24.8%	26.0%
生活習慣の改善	運動や食生活等の生活習慣を改善してみようと思いますか。	「改善するつもりはない」	質問回答者数(人) ※	1,114	1,127
			選択者数(人) ※	263	321
			選択者割合(%) ※	23.6%	28.5%

データ化範囲(分析対象)…健康診査データは令和3年4月～令和5年3月診療分(24か月分)。

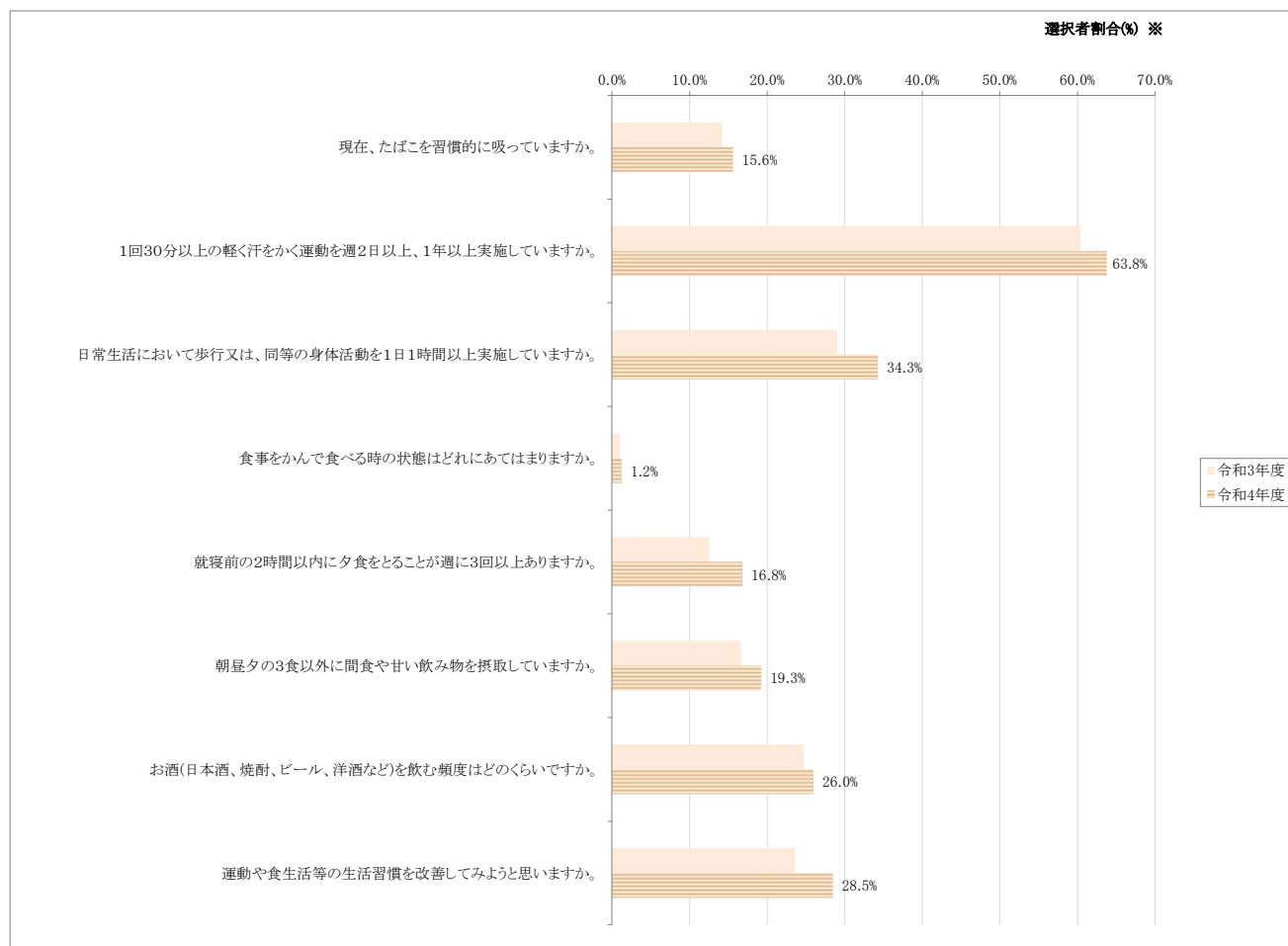
資格確認日…各年度末時点。

※質問回答者数…質問に回答した人数。

※選択者数…該当の選択肢を選択した人数。

※選択者割合…質問回答者のうち、該当の選択肢を選択した人の割合。

年度別 対応の考慮が必要な選択肢の選択者割合



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは令和3年4月～令和5年3月診療分(24か月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※選択者割合…質問回答者のうち、該当の選択肢を選択した人の割合。

- ・現在、たばこを習慣的に吸っていますか。
- ・1回30分以上の軽く汗をかく運動を週2日以上、1年以上実施していますか。
- ・日常生活において歩行又は同等の身体活動を1日1時間以上実施していますか。
- ・食事をかんで食べる時の状態はどれにあてはまりますか。
- ・就寝前の2時間以内に夕食をとることが週に3回以上ありますか。
- ・朝昼夕の3食以外に間食や甘い飲み物を摂取していますか。
- ・お酒(日本酒、焼酎、ビール、洋酒など)を飲む頻度はどのくらいですか。
- ・運動や食生活等の生活習慣を改善してみようと思いますか。

- …「はい」の選択者数を集計。
- …「いいえ」の選択者数を集計。
- …「いいえ」の選択者数を集計。
- …「ほとんどかめない」の選択者数を集計。
- …「はい」の選択者数を集計。
- …「毎日」の選択者数を集計。
- …「毎日」の選択者数を集計。
- …「改善するつもりはない」の選択者数を集計。

6.骨折予防・骨粗鬆症重症化予防に係る分析

厚生労働省「2019年国民生活基礎調査」によると、「骨折・転倒」は要介護になった主な要因において「認知症」「脳血管疾患(脳卒中)」「高齢による衰弱」に次ぐ第4位であり、全体の12.5%を占めています。骨折及び骨折のリスクを高める要因となる骨粗鬆症は健康寿命を阻害する危険因子の一つです。ここでは骨折予防・骨粗鬆症重症化予防の取組みに向けての基礎調査として、骨折及び骨粗鬆症の医療費等の状況について分析します。

(1)骨折及び骨粗鬆症医療費の状況

以下は、40歳以上の被保険者を対象として、骨折医療費の状況について示したものです。骨折医療費は1,918万円で、医療費総計の1.7%を占めています。骨折医療費のうち、入院医療費は1,740万円、入院外医療費は178万円であり、入院の患者一人当たりの骨折医療費は83万円と高額になっています。

骨折医療費の状況

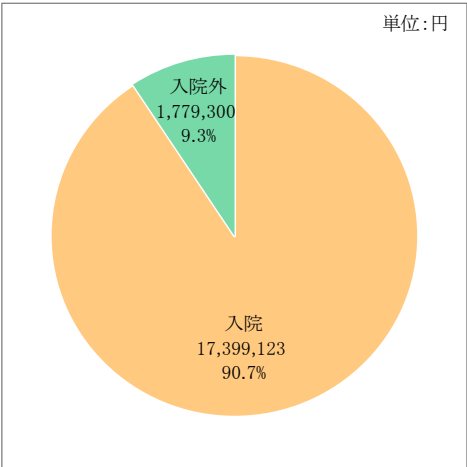
	A	B	B/A	C	B/C
	医療費総計(円)	骨折医療費(円)	医療費総計に占める骨折医療費の割合(%)	骨折患者数(人)	患者一人当たりの骨折医療費(円)
合計	1,132,464,080	19,178,423	1.7%	132	145,291
入院	533,241,800	17,399,123	3.3%	21	828,530
入院外	599,222,280	1,779,300	0.3%	127	14,010

データ化範囲(分析対象)…入院(D P Cを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。対象年齢は40歳以上。
対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12か月分)。

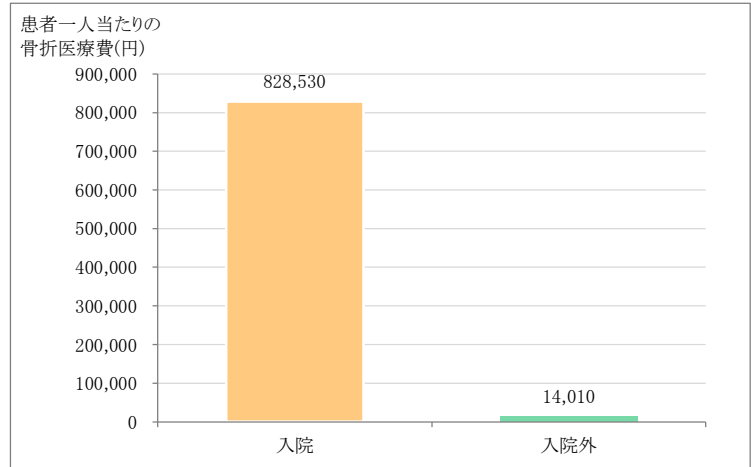
資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

骨折…中分類により、次の疾病を対象に集計。1901「骨折」

骨折医療費の内訳(入院・入院外)



患者一人当たりの骨折医療費の比較(入院・入院外)



データ化範囲(分析対象)…入院(D P Cを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。対象年齢は40歳以上。
対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12か月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

骨折…中分類により、次の疾病を対象に集計。1901「骨折」

次に示すのは、男女別の状況です。

骨折医療費1,918万円のうち、男性の医療費は1,041万円、女性の医療費は877万円であり、その構成比は男性54.3%、女性45.7%です。また、骨折の有病率(40歳以上の被保険者に占める割合)は、男女計では4.5%、男性3.9%、女性5.1%となっています。

男女別 骨折医療費の状況

	医療費(円)	構成比(%)	患者数(人)	患者一人当たりの医療費(円)	有病率(%)
合計	19,178,423		132	145,291	4.5%
男性	10,406,481	54.3%	59	176,381	3.9%
女性	8,771,942	45.7%	73	120,164	5.1%

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。対象年齢は40歳以上。

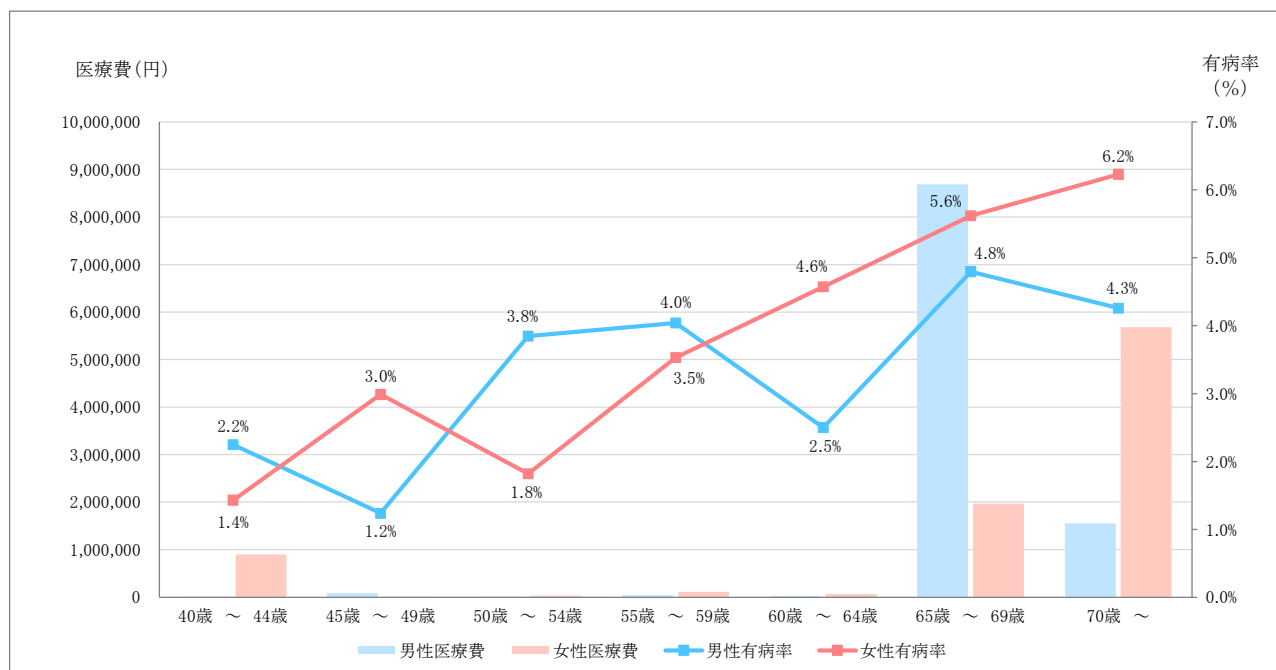
対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12か月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

骨折…中分類により、次の疾病を対象に集計。1901「骨折」

男女年齢階層別の状況は以下のとおりです。

男女年齢階層別 骨折の医療費及び有病率



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。対象年齢は40歳以上。

対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12か月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

骨折…中分類により、次の疾病を対象に集計。1901「骨折」

高齢者に骨折が多い理由は、運動機能・筋力の低下で転倒しやすいことに加えて、骨粗鬆症による骨の脆弱化により軽微な外力であっても骨折しやすいことによるとされています。骨粗鬆症は「骨折の最大の危険因子」（「骨粗鬆症の予防と治療ガイドライン2015年版」）です。

以下は、骨粗鬆症の医療費の状況について示したものです。骨粗鬆症医療費は男女計で1,739万円、男性148万円、女性1,591万円であり、その構成比は男性8.5%、女性91.5%です。また、骨粗鬆症の有病率(40歳以上の被保険者に占める割合)は、男女計では16.1%、男性2.3%、女性30.9%となっています。

男女別 骨粗鬆症医療費の状況

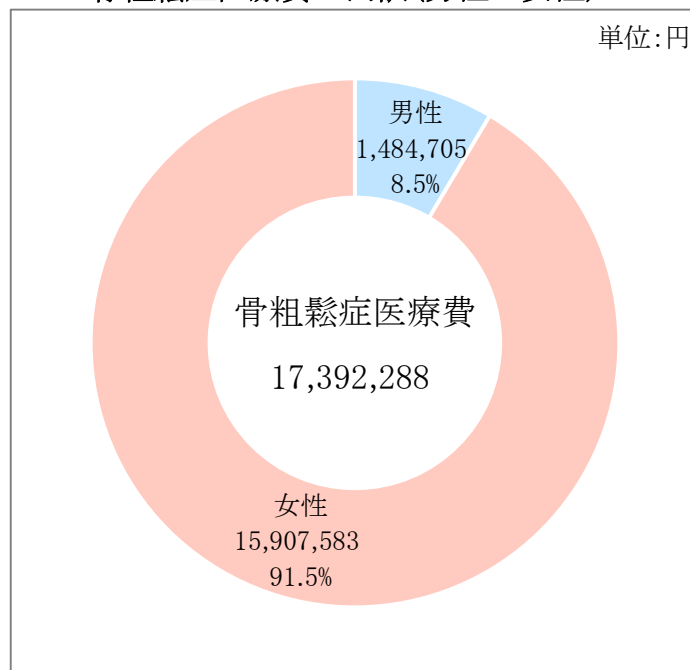
	医療費(円)		患者数(人)	患者一人当たりの医療費(円)	有病率(%)
		構成比(%)			
合計	17,392,288		473	36,770	16.1%
男性	1,484,705	8.5%	35	42,420	2.3%
女性	15,907,583	91.5%	438	36,319	30.9%

データ化範囲(分析対象)…入院(D P Cを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。対象年齢は40歳以上。

対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12か月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

骨粗鬆症医療費の内訳(男性・女性)



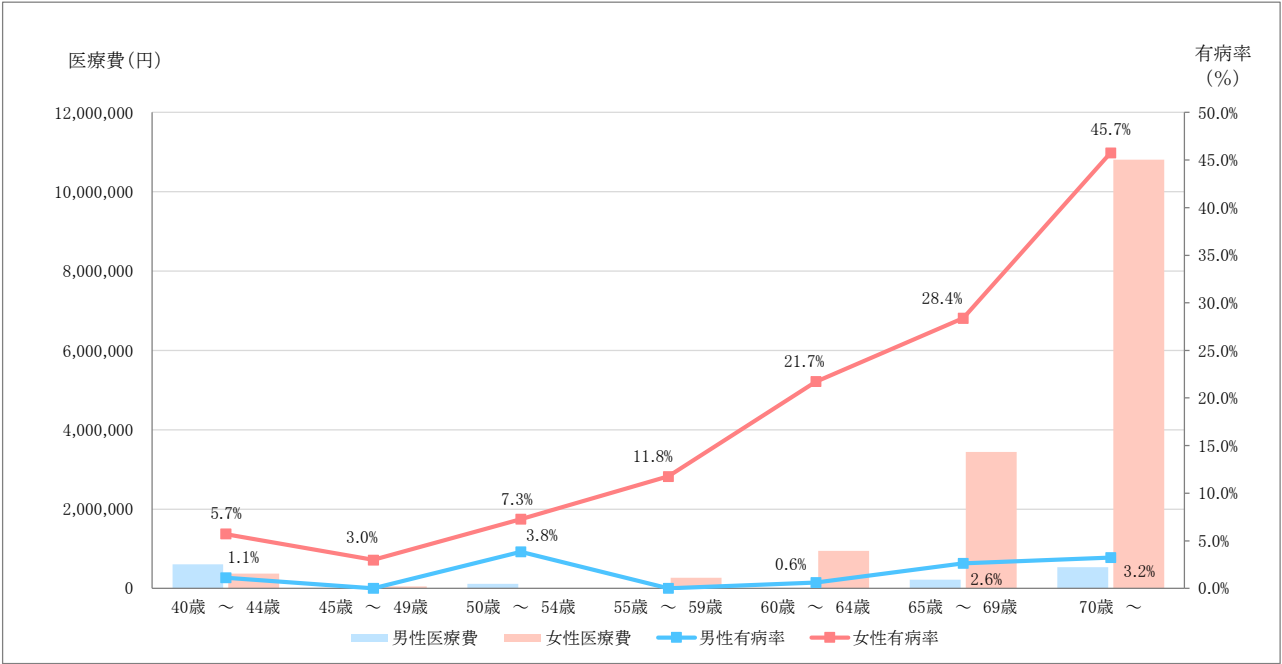
データ化範囲(分析対象)…入院(D P Cを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。対象年齢は40歳以上。

対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12か月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

男女年齢階層別の状況は以下のとおりです。

男女年齢階層別 骨粗鬆症の医療費及び有病率



データ化範囲(分析対象)…入院(D P Cを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。対象年齢は40歳以上。
対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12か月分)。
資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

脆弱性骨折(骨の強度が低下し、軽微な外力によって生じる非外傷性骨折)は、椎体(背骨を構成する骨(椎骨)の円柱状の部分)、大腿骨近位部(足の付け根)、下腿骨(膝と足首の間の骨)、上腕骨近位部(腕の付け根)、橈骨遠位端(手首)、肋骨等において発生頻度が高くなっています。骨粗鬆症患者がこれらの部位に骨折を生じた場合、骨折の要因として骨粗鬆症の影響が強く疑われます。骨粗鬆症患者において脆弱性骨折の好発部位に生じた骨折をここでは骨粗鬆症関連骨折と定義して、その発生状況をレセプトデータから確認しました。

骨粗鬆症患者のうち、分析期間に骨粗鬆症関連骨折が発生している患者数は46人であり、患者全体の9.7%を占めています。

骨粗鬆症患者における骨粗鬆症関連骨折発生状況

	患者数(人)	構成比(%)
骨粗鬆症患者全体	473	
骨粗鬆症関連骨折あり	46	9.7%
骨粗鬆症関連骨折なし	427	90.3%

データ化範囲(分析対象)…入院(D P Cを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。対象年齢は40歳以上。
対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12か月分)。
資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。
骨粗鬆症関連骨折…「骨粗鬆症の予防と治療ガイドライン2015年版(骨粗鬆症の予防と治療ガイドライン作成委員会編)」に基づき、株式会社データホライズンにて選定した、骨粗鬆症に関連性が高い骨折(椎体骨折、上腕骨近位部骨折、骨盤骨折、肋骨骨折、橈骨遠位端骨折、大腿骨近位部骨折、下腿骨骨折、脆弱性骨折)の総称。

以下は、骨粗鬆症患者における骨粗鬆症関連骨折の医療費の状況について示したものです。医療費が最も高いのは「大腿骨近位部骨折」、患者数が最も多いのは「椎体骨折」、患者一人当たりの医療費が最も高いのは「大腿骨近位部骨折」となっています。

骨粗鬆症患者における骨粗鬆症関連骨折の医療費の状況

	医療費(円)	構成比(%)	患者数(人)	患者一人当たりの医療費(円)
骨粗鬆症関連骨折	10,211,330		46	221,985
椎体骨折	3,082,924	30.2%	15	205,528
上腕骨近位部骨折	0	0.0%	0	0
骨盤骨折	16,609	0.2%	5	3,322
肋骨骨折	46,253	0.5%	6	7,709
橈骨遠位端骨折	95,895	0.9%	5	19,179
大腿骨近位部骨折	5,605,575	54.9%	11	509,598
下腿骨骨折	1,364,074	13.4%	10	136,407
脆弱性骨折	0	0.0%	0	0

データ化範囲(分析対象)…入院(D P Cを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。対象年齢は40歳以上。

対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12か月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

骨粗鬆症関連骨折…「骨粗鬆症の予防と治療ガイドライン2015年版(骨粗鬆症の予防と治療ガイドライン作成委員会編)」に基づき、株式会社データホライゾンにて選定した、骨粗鬆症に関連性が高い骨折(椎体骨折、上腕骨近位部骨折、骨盤骨折、肋骨骨折、橈骨遠位端骨折、大腿骨近位部骨折、下腿骨骨折、脆弱性骨折)の総称。

集計対象範囲を骨粗鬆症患者に限定しているため、他統計と一致しない。

(2) 骨粗鬆症患者の治療継続状況

骨粗鬆症の治療と予防の目的は、骨折を予防し、生活機能及びQOLの維持・改善を図ることです。骨粗鬆症の薬物治療は長期的な継続が必要ですが、一般的に服薬継続率が低く、それに伴う骨折の抑制率の低下が問題となっています。ここでは令和4年4月～令和5年3月診療分(12か月分)のレセプトデータから、骨粗鬆症患者の治療状況について分析しました。分析期間に骨粗鬆症治療薬の処方がある患者(治療薬服用中患者)のうち、男女計では4.0%、男性13.6%、女性3.3%が、治療薬の適切な服用間隔を超えて処方が確認できない治療中断患者に該当します。

骨粗鬆症患者の治療状況

	A	B	B1	B2	B2/B
	骨粗鬆症患者数(人)				
	治療薬服用中患者数(人)				治療薬服用中患者に占める治療中断患者の割合(%)
			継続治療中患者数(人)	治療中断患者数(人)	
合計	473	353	339	14	4.0%
男性	35	22	19	3	13.6%
女性	438	331	320	11	3.3%

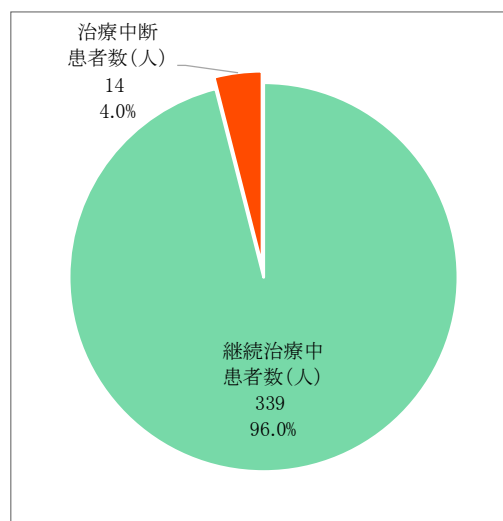
データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。対象年齢は40歳以上。

対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12か月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

治療薬服用中患者…骨粗鬆症患者のうち、1種類以上の骨粗鬆症治療薬の処方がある患者。骨粗鬆症治療薬は、「骨粗鬆症の予防と治療ガイドライン2015年版(骨粗鬆症の予防と治療ガイドライン作成委員会編)」に基づき、株式会社データホライゾンにて選定した。

骨粗鬆症治療薬服用中患者の治療継続状況



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。対象年齢は40歳以上。

対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12か月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

治療薬服用中患者…骨粗鬆症患者のうち、1種類以上の骨粗鬆症治療薬の処方がある患者。骨粗鬆症治療薬は、「骨粗鬆症の予防と治療ガイドライン2015年版(骨粗鬆症の予防と治療ガイドライン作成委員会編)」に基づき、株式会社データホライゾンにて選定した。

治療中断患者の判定について

治療薬の適切な服用間隔を超えて処方が確認できない場合に当該治療薬について中断とする。分析期間内に複数の骨粗鬆症治療薬の処方がある患者については、処方されている全ての骨粗鬆症治療薬について中断に該当する場合のみ、治療中断患者として判定している。

7. 要介護認定状況に係る分析

(1) 要介護度別被保険者数

以下は、丸森町国民健康保険における、要介護度別被保険者数を示したものです。要介護認定者数は117人で、要介護認定状況が確認できた40歳以上の被保険者の4.0%を占めています。

年齢階層別 要介護度別被保険者数

単位:人

年齢階層	非該当	要介護認定								不明	合計
			要支援		要介護						
			要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5		
40歳 ～ 44歳	159	0	0	0	0	0	0	0	0	0	159
45歳 ～ 49歳	148	0	0	0	0	0	0	0	0	0	148
50歳 ～ 54歳	132	1	0	0	0	1	0	0	0	0	133
55歳 ～ 59歳	179	5	0	0	2	2	0	0	1	0	184
60歳 ～ 64歳	327	8	0	2	1	0	2	0	3	0	335
65歳 ～ 69歳	750	23	6	5	2	4	1	2	3	0	773
70歳 ～	1,117	80	16	17	9	12	13	8	5	0	1,197
合計	2,812	117	22	24	14	19	16	10	12	0	2,929

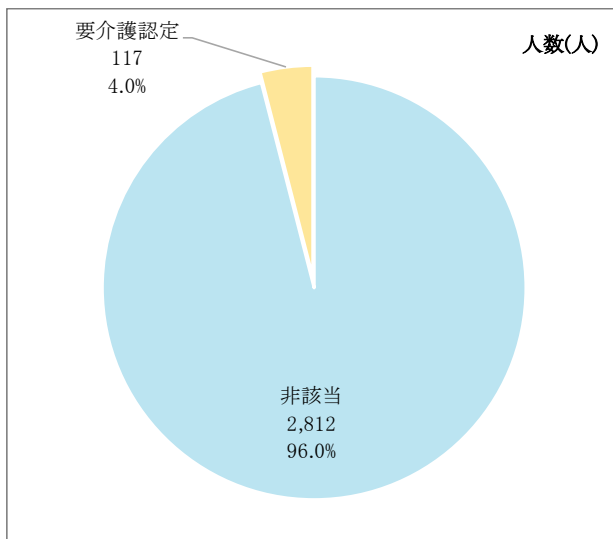
データ化範囲(分析対象)…介護データ。令和4年4月～令和5年3月診療分(12か月分)。対象年齢は40歳以上。

被保険者の資格情報は令和4年4月～令和5年3月診療分(12か月分)。

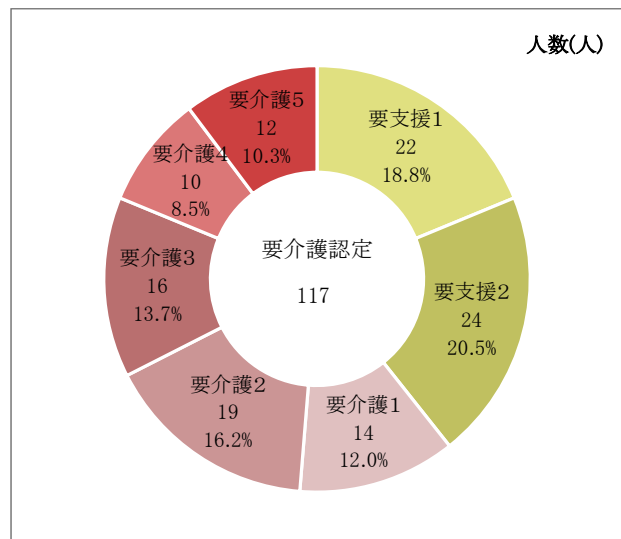
資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

介護データの期間内で資格が確認できた最終年月の要介護度で集計している(介護データの期間内で資格が確認できた最終年月において、要介護認定者ではない被保険者は「非該当」とする。以下同じ。)。介護データの期間内に資格が確認できない被保険者が存在した場合、その要介護度は「不明」とする。

要介護認定率



要介護度別認定者数構成比



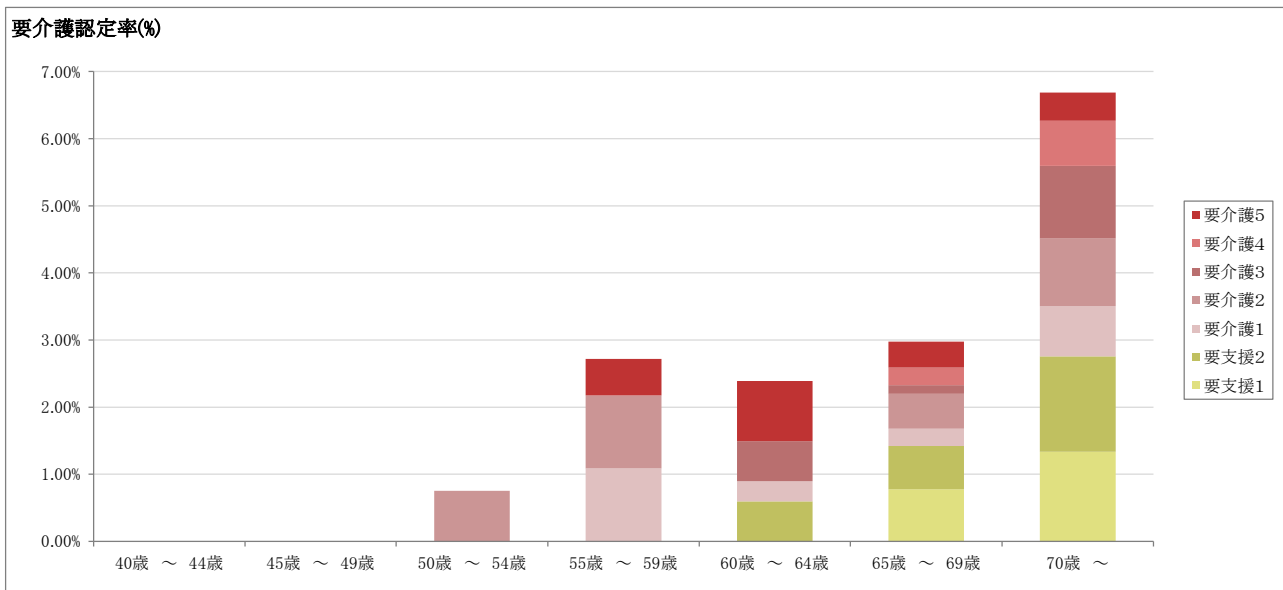
データ化範囲(分析対象)…介護データ。令和4年4月～令和5年3月診療分(12か月分)。対象年齢は40歳以上。

被保険者の資格情報は令和4年4月～令和5年3月診療分(12か月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

介護データの期間内で資格が確認できた最終年月の要介護度で集計している。要介護認定率は要介護度が「不明」の被保険者を含めず算出。

年齢階層別 要介護認定率



データ化範囲(分析対象)…介護データ。令和4年4月～令和5年3月診療分(12か月分)。対象年齢は40歳以上。

被保険者の資格情報は令和4年4月～令和5年3月診療分(12か月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

介護データの期間内で資格が確認できた最終年月の要介護度で集計している。

以下は、要介護度別被保険者数を男女年齢階層別に示したものです。

年齢階層別 要介護度別被保険者数(男性)

単位:人

年齢階層	非該当	要介護認定								不明	合計
		要支援		要介護							
		要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5			
40歳 ～ 44歳	89	0	0	0	0	0	0	0	0	0	89
45歳 ～ 49歳	81	0	0	0	0	0	0	0	0	0	81
50歳 ～ 54歳	77	1	0	0	0	1	0	0	0	0	78
55歳 ～ 59歳	95	4	0	0	2	2	0	0	0	0	99
60歳 ～ 64歳	157	3	0	0	0	0	1	0	2	0	160
65歳 ～ 69歳	400	17	5	4	2	4	0	0	2	0	417
70歳 ～	542	45	11	9	2	7	9	5	2	0	587
合計	1,441	70	16	13	6	14	10	5	6	0	1,511

データ化範囲(分析対象)…介護データ。令和4年4月～令和5年3月診療分(12か月分)。対象年齢は40歳以上。

被保険者の資格情報は令和4年4月～令和5年3月診療分(12か月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

介護データの期間内で資格が確認できた最終年月の要介護度で集計している。介護データの期間内に資格が確認できない被保険者が存在した場合、その要介護度は「不明」とする。

年齢階層別 要介護度別被保険者数(女性)

単位:人

年齢階層	非該当	要介護認定								不明	合計
			要支援		要介護						
			要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5		
40歳 ～ 44歳	70	0	0	0	0	0	0	0	0	0	70
45歳 ～ 49歳	67	0	0	0	0	0	0	0	0	0	67
50歳 ～ 54歳	55	0	0	0	0	0	0	0	0	0	55
55歳 ～ 59歳	84	1	0	0	0	0	0	0	1	0	85
60歳 ～ 64歳	170	5	0	2	1	0	1	0	1	0	175
65歳 ～ 69歳	350	6	1	1	0	0	1	2	1	0	356
70歳 ～	575	35	5	8	7	5	4	3	3	0	610
合計	1,371	47	6	11	8	5	6	5	6	0	1,418

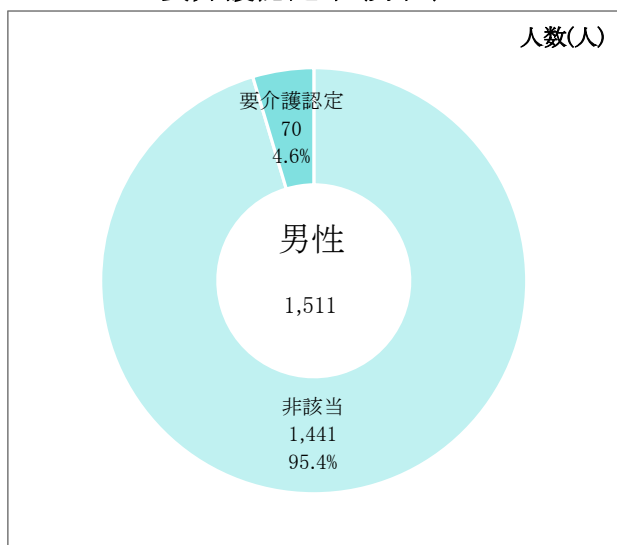
データ化範囲(分析対象)…介護データ。令和4年4月～令和5年3月診療分(12か月分)。対象年齢は40歳以上。

被保険者の資格情報は令和4年4月～令和5年3月診療分(12か月分)。

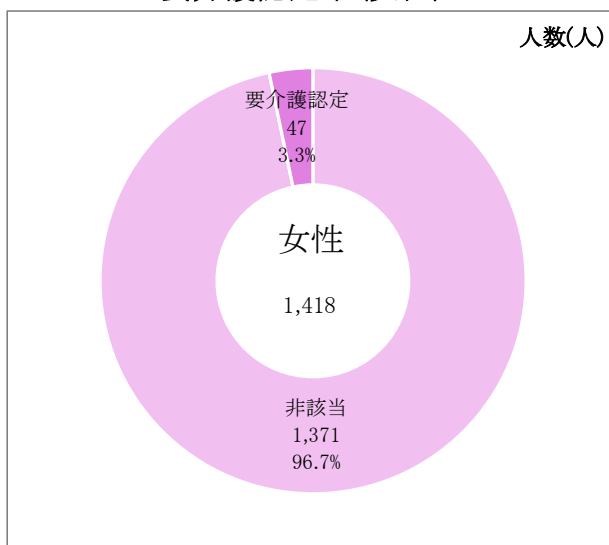
資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

介護データの期間内で資格が確認できた最終年月の要介護度で集計している。介護データの期間内に資格が確認できない被保険者が存在した場合、その要介護度は「不明」とする。

要介護認定率(男性)



要介護認定率(女性)



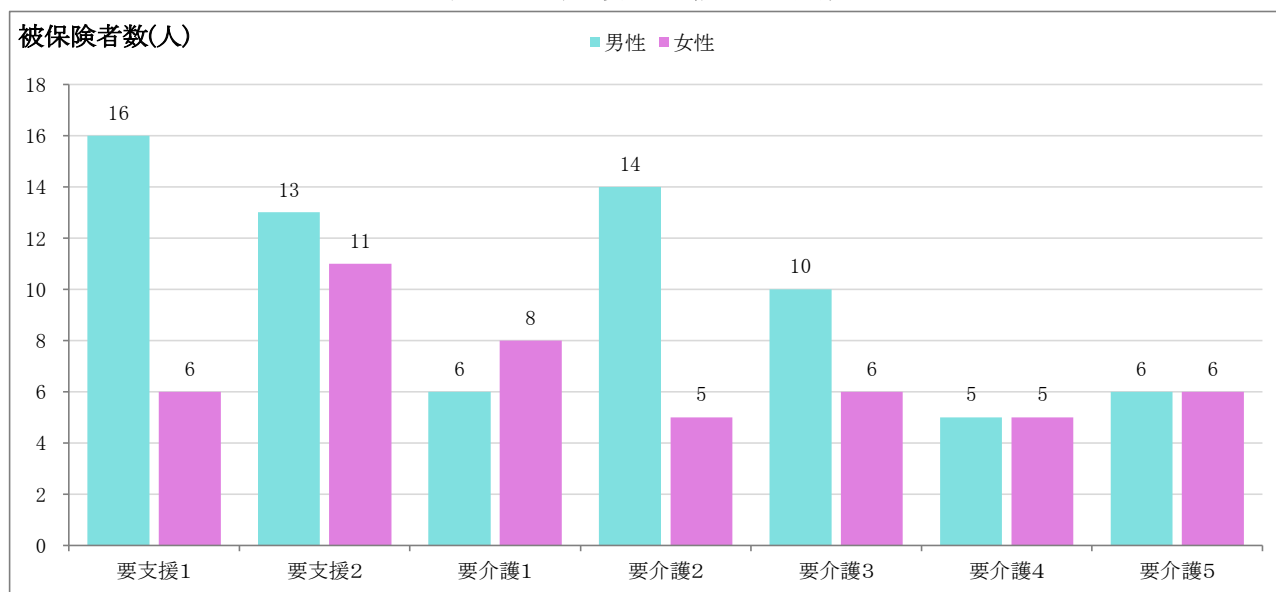
データ化範囲(分析対象)…介護データ。令和4年4月～令和5年3月診療分(12か月分)。対象年齢は40歳以上。

被保険者の資格情報は令和4年4月～令和5年3月診療分(12か月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

介護データの期間内で資格が確認できた最終年月の要介護度で集計している。要介護認定率は要介護度が「不明」の被保険者を含めず算出。

男女別 要介護度別被保険者数



データ化範囲(分析対象)…介護データ。令和4年4月～令和5年3月診療分(12か月分)。対象年齢は40歳以上。

被保険者の資格情報は令和令和4年4月～令和5年3月診療分(12か月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

介護データの期間内で資格が確認できた最終年月の要介護度で集計している。

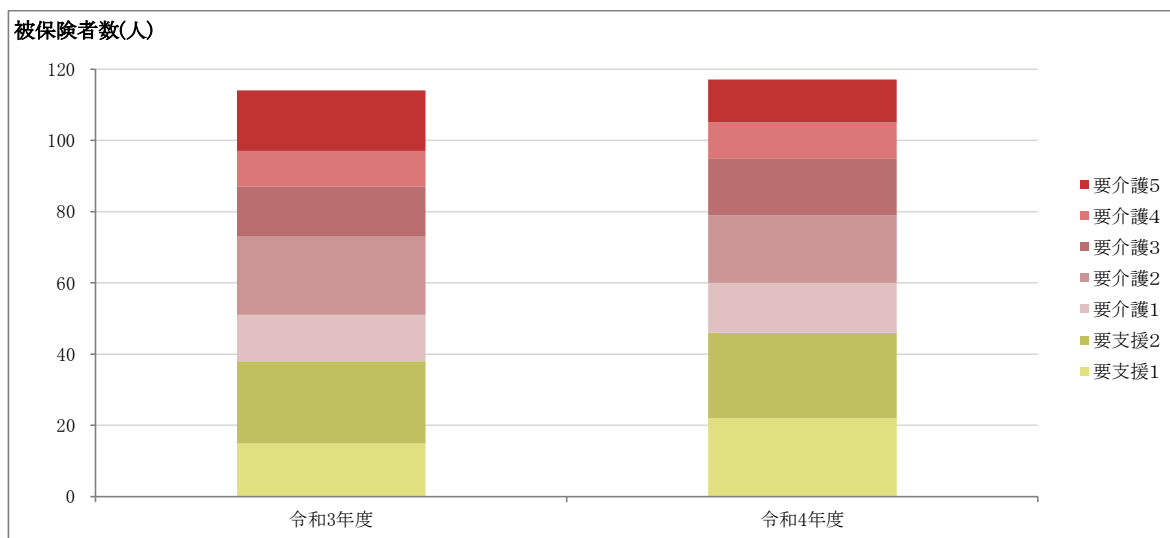
以下は、令和3年度から令和4年度における、要介護度別被保険者数を年度別に示したものです。

年度別 要介護度別被保険者数 単位:人

要介護度		令和3年度	令和4年度
非該当		2,802	2,812
該当		114	117
要支援	要支援1	15	22
	要支援2	23	24
要介護	要介護1	13	14
	要介護2	22	19
	要介護3	14	16
	要介護4	10	10
	要介護5	17	12
合計		2,916	2,929

データ化範囲(分析対象)…介護データ。令和3年4月～令和5年3月分(24か月分)。
 対象年齢は各年度末時点で40歳以上。
 被保険者の資格情報は令和3年4月～令和5年3月分(24か月分)。
 資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。
 各年度、資格が確認できた最終年月の要介護度で集計している。

年度別 要介護度別被保険者数



データ化範囲(分析対象)…介護データ。令和3年4月～令和5年3月分(24か月分)。対象年齢は各年度末時点で40歳以上。
 被保険者の資格情報は令和3年4月～令和5年3月分(24か月分)。
 資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。
 各年度、資格が確認できた最終年月の要介護度で集計している。

(2) 要介護度別医療費の状況

以下は、要介護度別医療費の状況について示したものです。

要介護度別 医療費統計

要介護度	被保険者数(人) ※	医療費(円) ※	患者数(人) ※	被保険者一人当たりの医療費(円)	患者一人当たりの医療費(円)
非該当	2,842	951,551,010	2,349	334,817	405,088
該当	123	185,540,060	116	1,508,456	1,599,483
要支援					
要支援1	25	24,285,970	23	971,439	1,055,912
要支援2	30	23,028,020	28	767,601	822,429
要介護					
要介護1	18	22,116,590	17	1,228,699	1,300,976
要介護2	27	37,627,550	26	1,393,613	1,447,213
要介護3	21	26,028,120	20	1,239,434	1,301,406
要介護4	12	27,603,330	12	2,300,278	2,300,278
要介護5	16	24,850,480	14	1,553,155	1,775,034
不明		0	0		
合計	2,929	1,137,091,070	2,434	388,218	467,170

データ化範囲(分析対象)…入院(D P Cを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。対象年齢は40歳以上。

対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12か月分)。

データ化範囲(分析対象)…介護データ。令和4年4月～令和5年3月分(12か月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

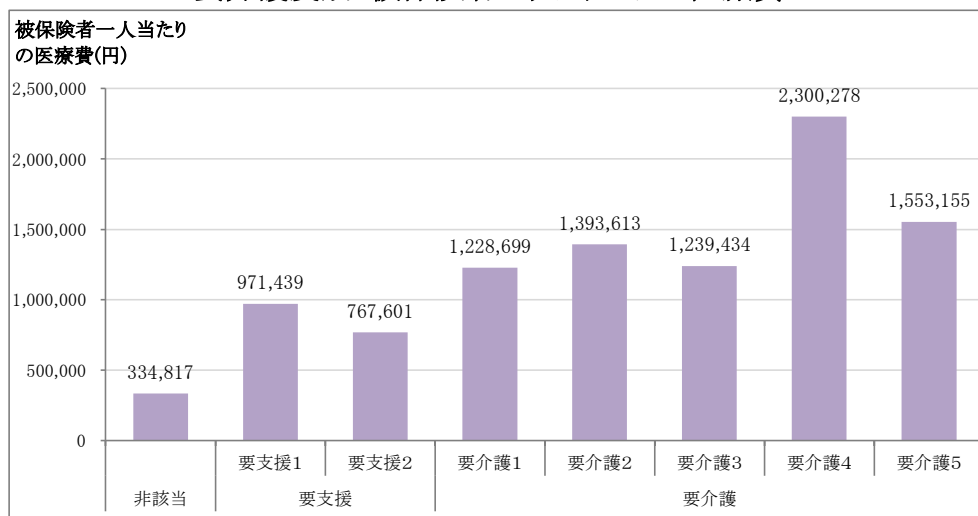
※被保険者数…要介護度別延べ人数。各人が介護データの期間内に該当した全ての要介護度において、それぞれ一人として集計する(介護データの期間内で要介護認定者ではない年月が存在した場合、当該年月の要介護度を「非該当」とする。以下同じ。)

要介護度の変更により、一人の被保険者が複数の要介護度に該当する場合があるため、要介護度別の被保険者数の和は、被保険者数合計とは必ずしも一致しない。

※医療費…診療年月時点の要介護度で集計している。介護データの期間外に発生したレセプトの集計結果は「不明」に分類する。

※患者数…診療年月時点の要介護度で集計している。介護データの期間外に発生したレセプトの集計結果は「不明」に分類する。要介護度の変更により、一人の患者が複数の要介護度に該当する場合があるため、要介護度別の患者数の和は、患者数合計とは必ずしも一致しない。

要介護度別 被保険者一人当たりの医療費



データ化範囲(分析対象)…入院(D P Cを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。対象年齢は40歳以上。

対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12か月分)。

データ化範囲(分析対象)…介護データ。令和4年4月～令和5年3月分(12か月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

診療年月時点の要介護度で集計している。

(3) 要介護度と疾病有病状況

① 要介護度別上位10疾病

以下は、要介護度別の医療費上位10疾病を示したものです。

要介護度別 医療費上位10疾病

単位:円

要介護度		1位	2位	3位	4位	5位
非該当		0210 その他の悪性新生物＜腫瘍＞	0402 糖尿病	1402 腎不全	0903 その他の心疾患	0901 高血圧性疾患
		87,627,633	61,488,884	57,880,279	56,198,114	43,717,562
要支援	要支援1	0602 アルツハイマー病	1302 関節症	0912 その他の循環器系の疾患	0504 気分〔感情〕障害(躁うつ病を含む)	0404 その他の内分泌、栄養及び代謝疾患
		4,592,669	1,879,920	1,430,641	1,370,199	1,281,437
	要支援2	1301 炎症性多発性関節障害	0905 脳内出血	1402 腎不全	1901 骨折	0503 統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害
		2,034,777	2,012,214	1,635,289	1,586,256	1,401,081
要介護	要介護1	1402 腎不全	0210 その他の悪性新生物＜腫瘍＞	0109 その他の感染症及び寄生虫症	0606 その他の神経系の疾患	1901 骨折
		4,278,857	3,011,733	2,724,668	2,001,329	1,553,273
	要介護2	1402 腎不全	0606 その他の神経系の疾患	0210 その他の悪性新生物＜腫瘍＞	0504 気分〔感情〕障害(躁うつ病を含む)	0704 その他の眼及び付属器の疾患
		14,035,184	4,721,469	2,128,847	1,595,178	1,553,025
	要介護3	0507 その他の精神及び行動の障害	1402 腎不全	0502 精神作用物質使用による精神及び行動の障害	0602 アルツハイマー病	0606 その他の神経系の疾患
		5,121,648	3,566,501	2,914,500	2,717,735	1,938,303
	要介護4	0210 その他の悪性新生物＜腫瘍＞	0905 脳内出血	0501 血管性及び詳細不明の認知症	1004 肺炎	0402 糖尿病
		19,349,998	2,504,637	1,894,072	848,125	541,121
	要介護5	0210 その他の悪性新生物＜腫瘍＞	0602 アルツハイマー病	0501 血管性及び詳細不明の認知症	0603 てんかん	2220 その他の特殊目的用コード
		7,098,991	4,392,241	2,722,133	1,067,555	932,043
全体		0210 その他の悪性新生物＜腫瘍＞	1402 腎不全	0402 糖尿病	0903 その他の心疾患	0901 高血圧性疾患
		120,348,334	81,446,487	65,589,921	60,221,036	45,709,066

要介護度		6位	7位	8位	9位	10位
非該当		0606 その他の神経系の疾患	1113 その他の消化器系の疾患	0211 良性新生物＜腫瘍＞及びその他の新生物＜腫瘍＞	0902 虚血性心疾患	0403 脂質異常症
		34,222,503	33,478,269	28,837,249	28,798,600	25,553,758
要支援	要支援1	0903 その他の心疾患	1901 骨折	1309 骨の密度及び構造の障害	0402 糖尿病	1113 その他の消化器系の疾患
		1,179,410	1,168,104	1,009,564	862,046	838,086
	要支援2	0505 神経症性障害, ストレス関連障害及び身体表現性障害	0903 その他の心疾患	0606 その他の神経系の疾患	1113 その他の消化器系の疾患	0601 パーキンソン病
		1,270,042	1,239,620	1,221,143	975,949	869,898
要介護	要介護1	0504 気分〔感情〕障害(躁うつ病を含む)	0603 てんかん	0503 統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	1800 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	1905 その他の損傷及びその他の外因の影響
		1,197,531	887,686	795,382	487,103	458,609
	要介護2	1310 その他の筋骨格系及び結合組織の疾患	0905 脳内出血	0402 糖尿病	1905 その他の損傷及びその他の外因の影響	0505 神経症性障害, ストレス関連障害及び身体表現性障害
		1,062,257	1,024,971	952,608	875,262	841,441
	要介護3	1011 その他の呼吸器系の疾患	0504 気分〔感情〕障害(躁うつ病を含む)	0503 統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	0903 その他の心疾患	0402 糖尿病
		1,715,911	1,266,367	1,234,315	674,395	669,793
	要介護4	1310 その他の筋骨格系及び結合組織の疾患	1113 その他の消化器系の疾患	1011 その他の呼吸器系の疾患	0504 気分〔感情〕障害(躁うつ病を含む)	0606 その他の神経系の疾患
		406,100	265,159	238,558	181,698	157,888
	要介護5	0503 統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	0109 その他の感染症及び寄生虫症	0505 神経症性障害, ストレス関連障害及び身体表現性障害	1113 その他の消化器系の疾患	0504 気分〔感情〕障害(躁うつ病を含む)
		790,282	757,276	715,963	681,779	624,053
全体		0606 その他の神経系の疾患	1113 その他の消化器系の疾患	0902 虚血性心疾患	0211 良性新生物＜腫瘍＞及びその他の新生物＜腫瘍＞	0403 脂質異常症
		45,238,798	37,598,868	29,904,780	29,157,364	26,338,321

データ化範囲(分析対象)…入院(D P Cを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。対象年齢は40歳以上。

対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12か月分)。

データ化範囲(分析対象)…介護データ。令和4年4月～令和5年3月分(12か月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

診療年月時点の要介護度で集計している。全体は要介護度「不明」を集計に含む。

以下は、要介護度別の患者数上位10疾病を示したものです。

要介護度別 患者数上位10疾病

単位:人

要介護度		1位	2位	3位	4位	5位
非該当		0901 高血圧性疾患	0402 糖尿病	0403 脂質異常症	1113 その他の消化器系の疾患	1800 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの
		1,197	1,141	908	897	715
要支援	要支援1	0901 高血圧性疾患	1113 その他の消化器系の疾患	0402 糖尿病	0903 その他の心疾患	0404 その他の内分泌、栄養及び代謝疾患
		18	16	12	12	11
	要支援2	1113 その他の消化器系の疾患	0901 高血圧性疾患	0402 糖尿病	0403 脂質異常症	0903 その他の心疾患
		21	19	16	13	12
要介護	要介護1	1113 その他の消化器系の疾患	0402 糖尿病	0901 高血圧性疾患	1800 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	0403 脂質異常症
		11	10	10	8	7
	要介護2	1113 その他の消化器系の疾患	0402 糖尿病	0901 高血圧性疾患	0606 その他の神経系の疾患	0403 脂質異常症
		21	15	14	13	12
	要介護3	1113 その他の消化器系の疾患	0402 糖尿病	0403 脂質異常症	0606 その他の神経系の疾患	0901 高血圧性疾患
		15	14	12	11	9
	要介護4	1113 その他の消化器系の疾患	0901 高血圧性疾患	0903 その他の心疾患	2220 その他の特殊目的用コード	0603 てんかん
		7	6	6	6	5
	要介護5	1113 その他の消化器系の疾患	1800 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	0903 その他の心疾患	0603 てんかん	2220 その他の特殊目的用コード
		11	11	10	7	7
全体		0901 高血圧性疾患	0402 糖尿病	1113 その他の消化器系の疾患	0403 脂質異常症	1800 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの
		1,249	1,191	966	942	760

要介護度		6位	7位	8位	9位	10位
非該当		0703 屈折及び調節の障害	0903 その他の心疾患	1105 胃炎及び十二指腸炎	2220 その他の特殊目的用コード	0704 その他の眼及び付属器の疾患
		641	594	538	510	507
要支援	要支援1	1306 腰痛症及び坐骨神経痛	1800 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	2220 その他の特殊目的用コード	1011 その他の呼吸器系の疾患	1309 骨の密度及び構造の障害
		10	9	9	8	8
	要支援2	0401 甲状腺障害	1306 腰痛症及び坐骨神経痛	1800 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	0301 貧血	0606 その他の神経系の疾患
		10	10	10	9	9
要介護	要介護1	0606 その他の神経系の疾患	0903 その他の心疾患	0504 気分[感情]障害(躁うつ病を含む)	2220 その他の特殊目的用コード	0603 てんかん
		7	7	6	6	5
	要介護2	0404 その他の内分泌、栄養及び代謝疾患	0903 その他の心疾患	0906 脳梗塞	1800 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	2220 その他の特殊目的用コード
		10	9	9	9	9
	要介護3	0903 その他の心疾患	1202 皮膚炎及び湿疹	1800 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	1011 その他の呼吸器系の疾患	2220 その他の特殊目的用コード
		8	8	8	7	7
	要介護4	0504 気分[感情]障害(躁うつ病を含む)	1800 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	0404 その他の内分泌、栄養及び代謝疾患	0503 統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	0606 その他の神経系の疾患
		4	4	3	3	3
	要介護5	0503 統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	0606 その他の神経系の疾患	0402 糖尿病	1011 その他の呼吸器系の疾患	1306 腰痛症及び坐骨神経痛
		6	6	5	5	5
全体		0703 屈折及び調節の障害	0903 その他の心疾患	1105 胃炎及び十二指腸炎	2220 その他の特殊目的用コード	0606 その他の神経系の疾患
		658	640	562	553	539

データ化範囲(分析対象)…入院(D P Cを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。対象年齢は40歳以上。

対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12か月分)。

データ化範囲(分析対象)…介護データ。令和4年4月～令和5年3月分(12か月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

診療年月時点の要介護度で集計している。全体は要介護度「不明」を集計に含む。

以下は、要介護度別の患者一人当たりの医療費上位10疾病を示したものです。

要介護度別 患者一人当たりの医療費上位10疾病

単位:円

要介護度		1位	2位	3位	4位	5位
非該当		0209 白血病	1402 腎不全	1902 頭蓋内損傷及び内臓の損傷	0203 直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物<腫瘍>	0206 乳房の悪性新生物<腫瘍>
		591,319	535,929	533,504	431,351	325,426
要支援	要支援1	0602 アルツハイマー病	1302 関節症	0504 気分[感情]障害(躁うつ病を含む)	0604 脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群	0503 統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害
		2,296,335	469,980	456,733	419,494	389,805
	要支援2	0905 脳内出血	1901 骨折	1402 腎不全	0507 その他の精神及び行動の障害	0604 脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群
		1,006,107	793,128	545,096	507,676	484,149
要介護	要介護1	1402 腎不全	1901 骨折	0109 その他の感染症及び寄生虫症	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	1905 その他の損傷及びその他の外因の影響
		2,139,429	1,553,273	1,362,334	752,933	458,609
	要介護2	1402 腎不全	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	0606 その他の神経系の疾患	0602 アルツハイマー病	0504 気分[感情]障害(躁うつ病を含む)
		4,678,395	425,769	363,190	360,662	319,036
	要介護3	0507 その他の精神及び行動の障害	0502 精神作用物質使用による精神及び行動の障害	1402 腎不全	0602 アルツハイマー病	0504 気分[感情]障害(躁うつ病を含む)
		5,121,648	2,914,500	1,783,251	905,912	422,122
	要介護4	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	0501 血管性及び詳細不明の認知症	0905 脳内出血	1004 肺炎	1310 その他の筋骨格系及び結合組織の疾患
		19,349,998	1,894,072	1,252,319	424,063	406,100
	要介護5	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	0602 アルツハイマー病	0109 その他の感染症及び寄生虫症	0501 血管性及び詳細不明の認知症	0601 パーキンソン病
		2,366,330	1,464,080	757,276	680,533	615,349
全体		1402 腎不全	0602 アルツハイマー病	0209 白血病	1902 頭蓋内損傷及び内臓の損傷	0501 血管性及び詳細不明の認知症
		708,230	593,839	591,319	533,537	478,362

要介護度		6位	7位	8位	9位	10位
非該当		0603 てんかん	0503 統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	0905 脳内出血	0604 脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>
		253,155	248,147	216,503	212,486	203,785
要支援	要支援1	0912 その他の循環器系の疾患	0505 神経症性障害, ストレス関連障害及び身体表現性障害	0203 直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物<腫瘍>	0201 胃の悪性新生物<腫瘍>	1901 骨折
		357,660	335,306	332,936	283,397	233,621
	要支援2	0503 統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	0601 パーキンソン病	1301 炎症性多発性関節障害	0505 神経症性障害, ストレス関連障害及び身体表現性障害	0504 気分[感情]障害(躁うつ病を含む)
		467,027	434,949	406,955	317,511	153,467
要介護	要介護1	0909 動脈硬化(症)	0206 乳房の悪性新生物<腫瘍>	0606 その他の神経系の疾患	0503 統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	0505 神経症性障害, ストレス関連障害及び身体表現性障害
		455,315	305,834	285,904	265,127	227,675
	要介護2	0704 その他の眼及び付属器の疾患	1310 その他の筋骨格系及び結合組織の疾患	1905 その他の損傷及びその他の外因の影響	0505 神経症性障害, ストレス関連障害及び身体表現性障害	0905 脳内出血
		221,861	177,043	175,052	168,288	146,424
	要介護3	0503 統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	1011 その他の呼吸器系の疾患	0603 てんかん	0606 その他の神経系の疾患	1405 前立腺肥大(症)
		411,438	245,130	206,567	176,209	84,521
	要介護4	0402 糖尿病	1011 その他の呼吸器系の疾患	0109 その他の感染症及び寄生虫症	0606 その他の神経系の疾患	1404 その他の腎尿路系の疾患
		270,561	119,279	84,127	52,629	46,170
	要介護5	0505 神経症性障害, ストレス関連障害及び身体表現性障害	0504 気分[感情]障害(躁うつ病を含む)	0603 てんかん	0507 その他の精神及び行動の障害	2220 その他の特殊目的用コード
		178,991	156,013	152,508	142,576	133,149
全体		0203 直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物<腫瘍>	0507 その他の精神及び行動の障害	0502 精神作用物質使用による精神及び行動の障害	0206 乳房の悪性新生物<腫瘍>	0905 脳内出血
		428,341	403,672	374,546	325,379	294,150

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。対象年齢は40歳以上。

対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12か月分)。

データ化範囲(分析対象)…介護データ。令和4年4月～令和5年3月分(12か月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

診療年月時点の要介護度で集計している。全体は要介護度「不明」を集計に含む。

②骨折有無別要介護認定状況

要介護状態と疾病の有病状況との関連について、高齢者が寝たきりや要介護状態になるきっかけの一つであるとされる骨折に着目して分析しました。

骨折に係る医療費が発生している場合に「骨折あり」、そうでない場合に「骨折なし」として、各集団における要介護認定状況を比較しました。「骨折あり」の集団における要介護認定者の割合は11.72%、「骨折なし」の集団における要介護認定者の割合は3.64%です。

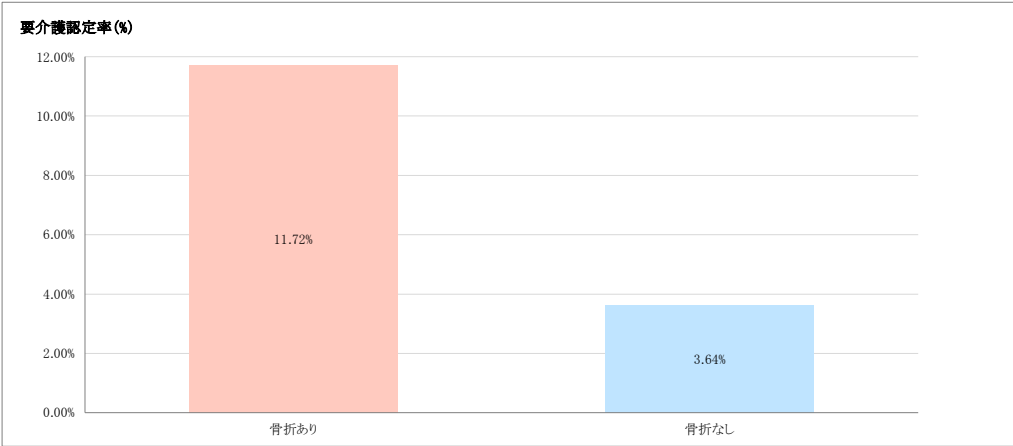
骨折有無別 要介護認定状況

単位:人

骨折の有無	非該当	要介護認定	要介護認定							不明	合計
			要支援		要介護						
			要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5		
骨折あり	113	15	4	1	2	3	3	0	2	0	128
	88.28%	11.72%	3.13%	0.78%	1.56%	2.34%	2.34%	0.00%	1.56%	0.00%	
骨折なし	2,699	102	18	23	12	16	13	10	10	0	2,801
	96.36%	3.64%	0.64%	0.82%	0.43%	0.57%	0.46%	0.36%	0.36%	0.00%	
合計	2,812	117	22	24	14	19	16	10	12	0	2,929
	96.01%	3.99%	0.75%	0.82%	0.48%	0.65%	0.55%	0.34%	0.41%	0.00%	

データ化範囲(分析対象)…入院(D P Cを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。対象年齢は40歳以上。
対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12か月分)。
データ化範囲(分析対象)…介護データ。令和4年4月～令和5年3月分(12か月分)。
資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。
介護データの期間内で資格が確認できた最終年月の要介護度で集計している(介護データの期間内で資格が確認できた最終年月において、要介護認定者ではない被保険者は「非該当」とする。)。介護データの期間内に資格が確認できない被保険者が存在した場合、その要介護度は「不明」とする。
骨折…中分類により、次の疾病を対象に集計。1901「骨折」

骨折有無別 要介護認定者の割合



データ化範囲(分析対象)…入院(D P Cを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。対象年齢は40歳以上。
対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12か月分)。
データ化範囲(分析対象)…介護データ。令和4年4月～令和5年3月分(12か月分)。
資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。
介護データの期間内で資格が確認できた最終年月の要介護認定状況で集計している。
骨折…中分類により、次の疾病を対象に集計。1901「骨折」

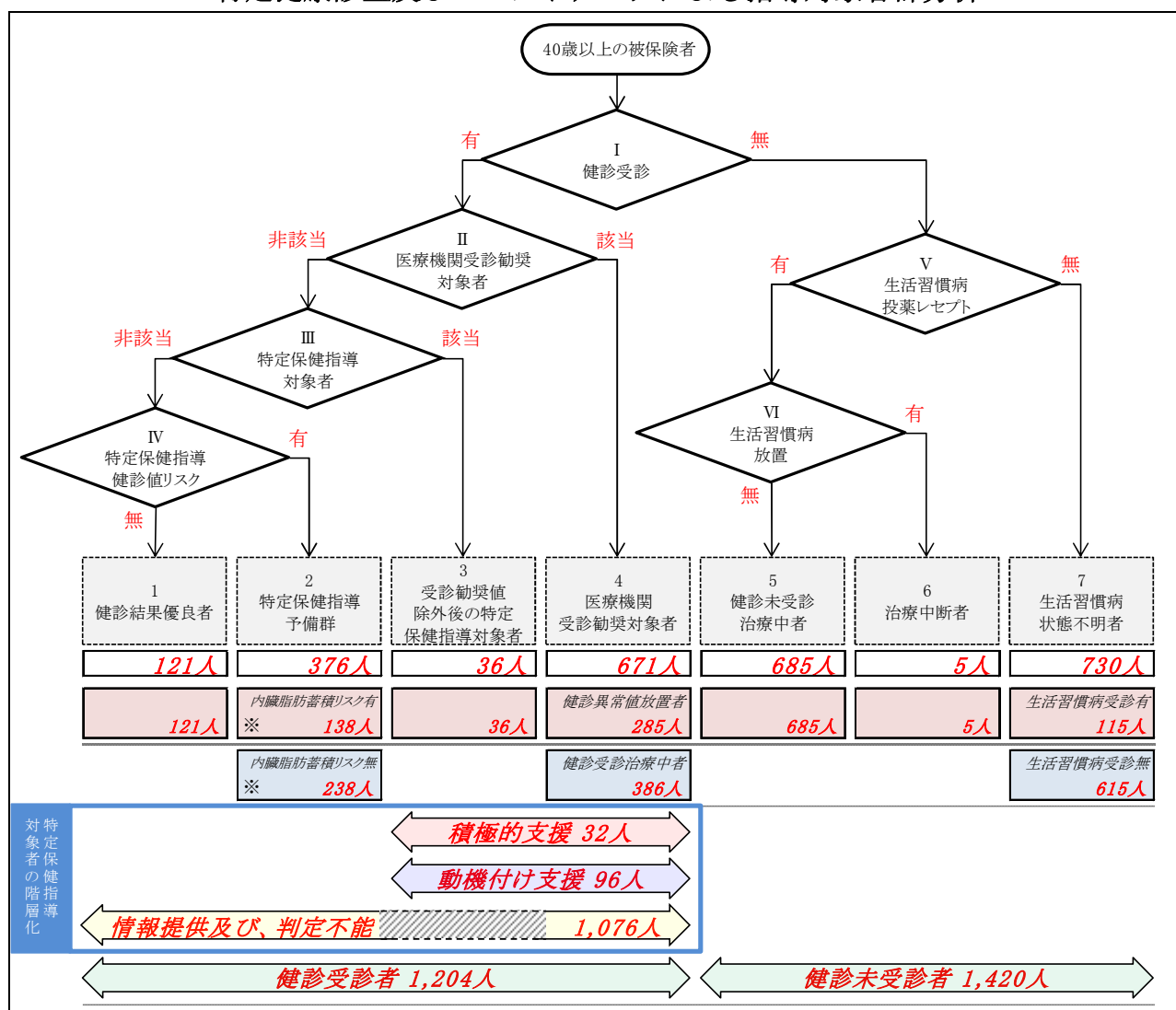
参考資料 保健事業に係る分析

1. 特定健康診査及びレセプトデータによる指導対象者群分析

特定健康診査データとレセプトデータを組み合わせた分析を行います。以下は、40歳以上の被保険者について、特定健康診査データの有無や異常値の有無、生活習慣病にかかわるレセプトの有無等を判定し、7つのグループに分類した結果を示したものです。

左端の「1. 健診結果優良者」から「6. 治療中断者」まで順に健康状態が悪くなっており、「7. 生活習慣病状態不明者」は特定健康診査データ・レセプトデータから生活習慣病状態が確認できないグループです。

特定健康診査及びレセプトデータによる指導対象者群分析



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12か月分)。

データ化範囲(分析対象)…健康診査データは令和4年4月～令和5年3月健診分(12か月分)。

資格確認日…令和5年3月31日時点。

各フローの詳細については巻末資料「1.「指導対象者群分析」のグループ分けの見方」を参照。

※内臓脂肪蓄積リスク…腹囲・BMIにより内臓脂肪蓄積リスクを判定し階層化。

(1) 健診異常値放置者に係る分析

特定健康診査では異常値があった場合、医療機関での精密検査を勧めています。しかし、異常値があるにもかかわらず、医療機関への受診をしていない人が存在します。これらの対象者をレセプトにより見極めます。

「特定健康診査及びレセプトデータによる指導対象者群分析」のフローにおける「4. 医療機関受診勧奨対象者」のうち、医療機関への受診をしていない「健診異常値放置者」に該当する285人が健診異常値放置受診勧奨対象者となります。

条件設定による指導対象者の特定(健診異常値放置)

I. 条件設定による指導対象者の特定

・健診異常値放置者 … 健診受診後、医療機関へ受診していない人
厚生労働省受診勧奨判定値以上の検査数値のある人を対象とする

条件設定により対象となった候補者数	285 人
-------------------	-------

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12か月分)。

データ化範囲(分析対象)…健康診査データは令和4年4月～令和5年3月健診分(12か月分)。

資格確認日…令和5年3月31日時点。

次に、指導対象者として適切ではない可能性がある患者を「除外設定」により除外します。

「がん患者」「精神疾患患者」「難病患者」「認知症患者」「人工透析患者」に関しては、治療を優先すべき疾病を有しており、医学的管理の下にあることが推察されます。また、指導が困難な可能性も考えられます。以上の理由から、該当する患者について指導対象者から除外します。

除外設定(健診異常値放置)

II. 除外設定

		除外理由別人数
除外	がん、精神疾患、難病、認知症 ※ 人工透析	57 人
		
除外患者を除いた候補者数		228 人

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12か月分)。

データ化範囲(分析対象)…健康診査データは令和4年4月～令和5年3月健診分(12か月分)。

資格確認日…令和5年3月31日時点。

※がん、精神疾患、難病、認知症…疑い病名を含む。

次に、残る対象者228人のうち、保健事業の実施効果が高い対象者を特定します。これは費用対効果を重視し、「優先順位」を決めることを目的としています。厚生労働省の定める受診勧奨判定値(血糖、血圧、脂質)を用いた結果、異常が認められ、かつ生活習慣病(糖尿病、高血圧症、脂質異常症)に対するレセプトが発生していない対象者を健診異常値放置受診勧奨対象者とします。ここでは受診勧奨判定異常値因子数(血糖、血圧、脂質)が多い患者を優先とし、喫煙は生活習慣病のリスクを高めることから、喫煙の有無によりリスクを判定しました。

これら対象者は全てが受診勧奨対象者ではありますが、通知件数の制約により優先順位を設定する必要がある場合、候補者Aより順に対象者を選択します。

優先順位(健診異常値放置)

Ⅲ.優先順位		
↑高 効果 低↓	医療機関受診勧奨判定異常値因子数 3つ	候補者A 0人
	医療機関受診勧奨判定異常値因子数 2つ	候補者B 11人
	医療機関受診勧奨判定異常値因子数 1つ	候補者E 29人
		候補者C 4人
		候補者D 47人
		候補者F 137人
		喫煙
		非喫煙
←高 リスク 低→		
効果が高く効率の良い候補者A～候補者Fの人数		228人

データ化範囲(分析対象)…入院(D P Cを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12か月分)。
データ化範囲(分析対象)…健康診査データは令和4年4月～令和5年3月健診分(12か月分)。
資格確認日…令和5年3月31日時点。

健診異常値放置者の判定について

- 健康診査にて異常値があるとされた被保険者を対象とし、健康診査受診後に医療機関への受診がない被保険者を健診異常値放置者と判定する。

(2)生活習慣病治療中断者に係る分析

生活習慣病となった患者の中には服薬を適切に行わないケース、定期的な診療を自己の判断により止めてしまうケースがあります。その結果、生活習慣病が進行し、脳卒中、心筋梗塞等の重篤な疾病を引き起こしてしまう可能性があります。

「特定健康診査及びレセプトデータによる指導対象者群分析」のフローにおいては、「6. 治療中断者」と健診受診者のうち治療中断が発生している患者を合わせた11人が対象となります。

条件設定による指導対象者の特定(生活習慣病治療中断者)

I.条件設定による指導対象者の特定		
・生活習慣病治療中断者 …かつて、生活習慣病(糖尿病、高血圧症、脂質異常症)で定期受診をしていたが、その後、定期受診を中断した患者		
指導対象者群 分析結果	6 治療中断者	候補者人数 5 人
	上記以外のグループ	6 人
条件設定により対象となった候補者数 (合計)		11 人

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12か月分)。

資格確認日…令和5年3月31日時点。

上記以外のグループ…治療中断者は、健康診査受診の有無、生活習慣病投薬レセプト有無にかかわらず、生活習慣病での受診がある患者の中から抽出する。「特定健康診査及びレセプトデータによる指導対象者群分析」のフローにおいて、「I 健診受診」で健康診査の受診の有無、「V 生活習慣病投薬レセプト」で生活習慣病投薬レセプトの有無をみているため、「6 治療中断者」には健康診査未受診かつ生活習慣病投薬レセプト有の治療中断者のみ格納される。「上記以外のグループ」には、「6 治療中断者」の抽出条件に該当しないが、次の①、②のいずれかに該当する治療中断者が格納される。

①「1 健診結果優良者」～「4 医療機関受診勧奨対象者」(健診受診者)のうちの治療中断者

②「7 生活習慣病状態不明者」生活習慣病受診有(健診未受診かつ生活習慣病投薬無かつ生活習慣病受診有)のうちの治療中断者

次に、指導対象者として適切ではない可能性がある患者を「除外設定」により除外します。「がん患者」「精神疾患患者」「難病患者」「認知症患者」「人工透析患者」に関しては、治療を優先すべき疾病を有しており、医学的管理の下にあることが推察されます。また、指導が困難な可能性も考えられます。以上の理由から、該当する患者について指導対象者から除外します。

除外設定(生活習慣病治療中断者)

II.除外設定		
除外	がん、精神疾患、難病、認知症 ※ 人工透析	除外理由別人数 2 人
		
除外患者を除き、候補者となった患者数		9 人

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12か月分)。

資格確認日…令和5年3月31日時点。

※がん、精神疾患、難病、認知症…疑い病名を含む。

次に、残る対象者9人のうち、保健事業の実施効果が高い対象者を特定します。これは費用対効果を重視し、「優先順位」を決めることを目的としています。過去のレセプトデータから医療機関への受診頻度を確認し、その受診頻度に応じた期間を超えて、医療機関への受診が確認されない患者を生活習慣病治療中断者とします。ここでは生活習慣病の有病数が多い患者を優先としています。

優先順位(生活習慣病治療中断者)

Ⅲ.優先順位				
↑高 効果 低↓	生活習慣病有病数 3つ	候補者A1 0人	候補者A2 0人	候補者A3 0人
	生活習慣病有病数 2つ	候補者B1 0人	候補者B2 0人	候補者B3 2人
	生活習慣病有病数 1つ	候補者C1 1人	候補者C2 3人	候補者C3 3人
		毎月受診	2～3カ月に1度受診	4カ月以上の定期受診
効果が高く効率の良い候補者A1～候補者C3の患者数				9人

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12か月分)。

資格確認日…令和5年3月31日時点。

生活習慣病治療中断者の判定について

- 分析期間内において生活習慣病の治療を行っている人の生活習慣病での医療機関受診頻度を特定する。その後、毎月受診していた方が毎月受診せず中断している等、現在の受診状況と比較し、生活習慣病での医療機関受診中断の有無の判定を行う。

2. 糖尿病性腎症重症化予防に係る分析

国は、健康日本21(第二次)において、糖尿病性腎症による年間新規透析導入患者数の減少等を数値目標として掲げ、全国的な取組みの強化を進めています。生活習慣を起因とした糖尿病性腎症患者に対し、生活習慣の改善を促し重症化を予防することで人工透析への移行を防止し、患者のQOLの維持及び医療費の適正化を図ることが本事業の目的です。

(1) 人工透析患者の実態

人工透析患者の分析結果を以下に示します。「透析」は傷病名ではないため、「透析」に当たる診療行為が行われている患者を特定し、集計しました。

分析の結果、起因が明らかとなった患者のうち、65.0%が生活習慣を起因とするものであり、55.0%がⅡ型糖尿病を起因として透析となる、糖尿病性腎症であることが分かりました。

対象レセプト期間内で「透析」に関する診療行為が行われている患者数

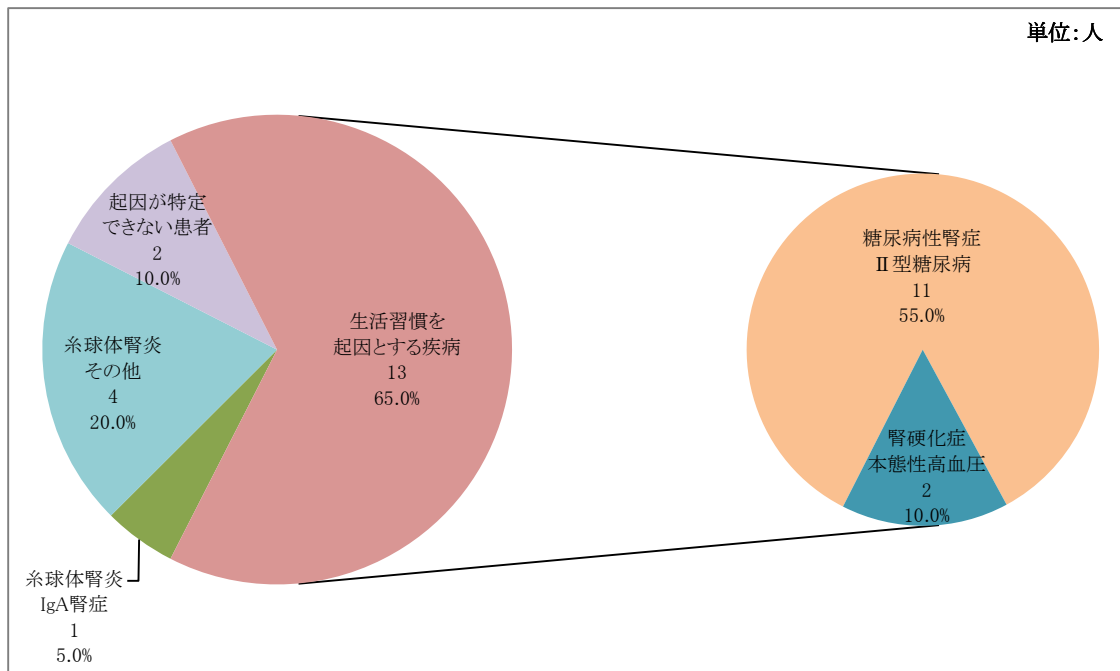
透析療法の種類	透析患者数 (人)
血液透析のみ	18
腹膜透析のみ	2
血液透析及び腹膜透析	0
透析患者合計	20

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12か月分)。

データ化範囲(分析対象)期間内に「血液透析」もしくは「腹膜透析」の診療行為がある患者を対象に集計。現時点で資格喪失している被保険者についても集計する。緊急透析と思われる患者は除く。

透析患者の起因



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12か月分)。

データ化範囲(分析対象)期間内に「血液透析」もしくは「腹膜透析」の診療行為がある患者を対象に集計。

現時点で資格喪失している被保険者についても集計する。緊急透析と思われる患者は除く。

※割合…小数第2位で四捨五入しているため、合計が100%にならない場合がある。

次に、令和3年4月～令和4年3月診療分のレセプトにおける人工透析患者と、令和4年4月～令和5年3月診療分のレセプトにおける人工透析患者を比較し、後者の期間の新規透析患者数を集計しました。

令和4年4月～令和5年3月診療分(12か月分)における新規透析患者数は5人です。

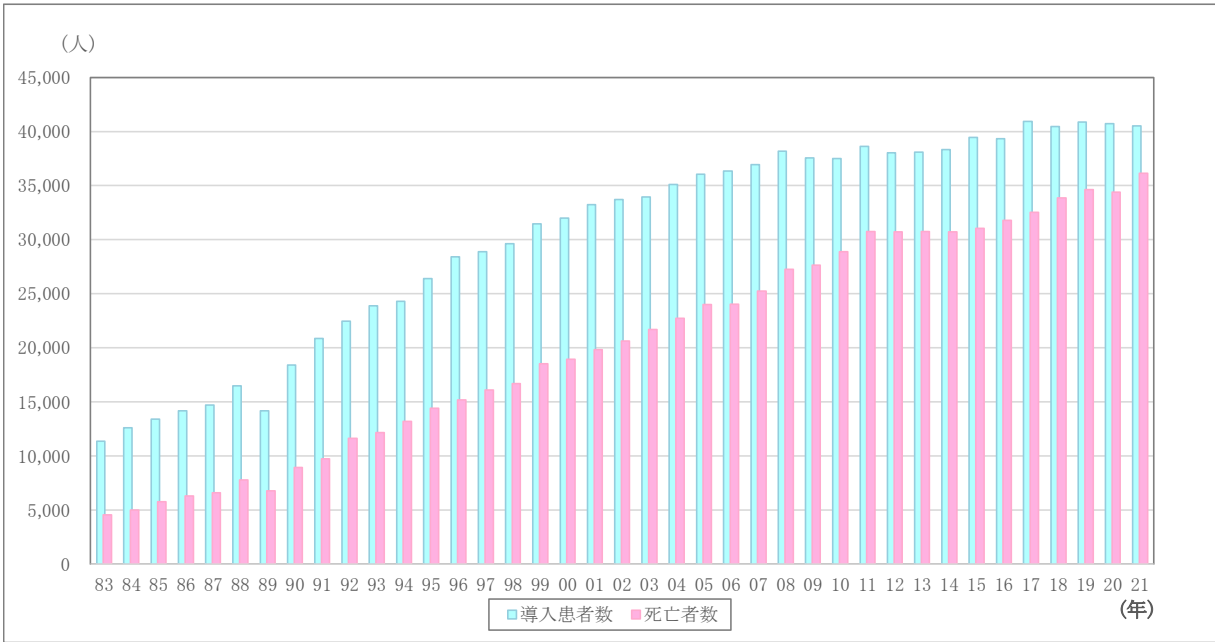
新規透析患者数

単位:人

透析に至った起因		A		B		Aにおいて透析患者ではなく Bにおいて透析患者となった人数
		令和3年4月～令和4年3月 診療分(12か月分)	割合 (%)	令和4年4月～令和5年3月 診療分(12か月分)	割合 (%)	新規透析患者 ※1 ※2
①	糖尿病性腎症 I型糖尿病	0	0.0%	0	0.0%	0
②	糖尿病性腎症 II型糖尿病	9	50.0%	11	55.0%	4
③	糸球体腎炎 IgA腎症	0	0.0%	1	5.0%	1
④	糸球体腎炎 その他	4	22.2%	4	20.0%	0
⑤	腎硬化症 本態性高血圧	1	5.6%	2	10.0%	0
⑥	腎硬化症 その他	1	5.6%	0	0.0%	0
⑦	痛風腎	0	0.0%	0	0.0%	0
⑧	起因が特定できない患者 ※	3	16.7%	2	10.0%	0
透析患者合計		18		20		5

データ化範囲(分析対象)…入院(D P Cを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は令和3年4月～令和5年3月診療分(24か月分)。
データ化範囲(分析対象)期間内に「血液透析」もしくは「腹膜透析」の診療行為がある患者を対象に集計。
現時点で資格喪失している被保険者についても集計する。緊急透析と思われる患者は除く。
※1 新規透析患者の定義…Aの期間に透析患者ではなく、Bの期間に透析患者となった患者。
※2 Aの期間とBの期間で起因となる傷病名が違う場合、該当の欄に集計される。
そのため、B-Aは一致しない場合がある。
※8起因が特定できない患者…①～⑦の傷病名組み合わせに該当しない患者。

〔参考資料〕日本の透析導入患者数と死亡数の推移



出典:一般社団法人 日本透析医学会「わが国の慢性透析療法の実況(2021年12月31日現在)」 施設調査による集計
※1989年末の患者数の減少は、当該年度にアンケート回収率が86%と例外的に低かったことによる見掛け上の影響。

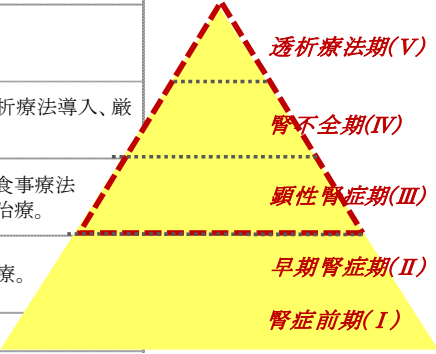
(2) 指導対象者集団の特定

「腎症の起因分析」「Ⅱ型糖尿病を起因とした保健指導対象者」「保健指導対象者の優先順位」の3段階を経て分析し、適切な対象者集団を特定します。

以下は、腎症患者の全体像を示したものです。

腎症患者の全体像

腎症患者の全体像			
病期		臨床的特徴	治療内容
V	透析療法期	透析療法中。	透析療法、腎移植。
IV	腎不全期	蛋白尿。血清Crが上昇し、腎機能は著明低下する。尿毒症等の自覚症状あり。	食事療法(低蛋白食)、透析療法導入、厳格な降圧治療。
III	顕性腎症期	蛋白尿。腎機能は高度に低下。尿毒症等の自覚症状あり。	厳格な血糖コントロール、食事療法(低蛋白食)、厳格な降圧治療。
II	早期腎症期	微量アルブミン尿、血清Crが正常、時に高値。 ※尿蛋白、血清Cr共に正常だが糖尿病と診断されて10年以上の場合を含む。	血糖コントロール、降圧治療。
I	腎症前期	尿蛋白は正常。血清Crが正常、時に高値。	血糖コントロール。



Ⅲ期以降腎症患者	合計 248人
----------	---------

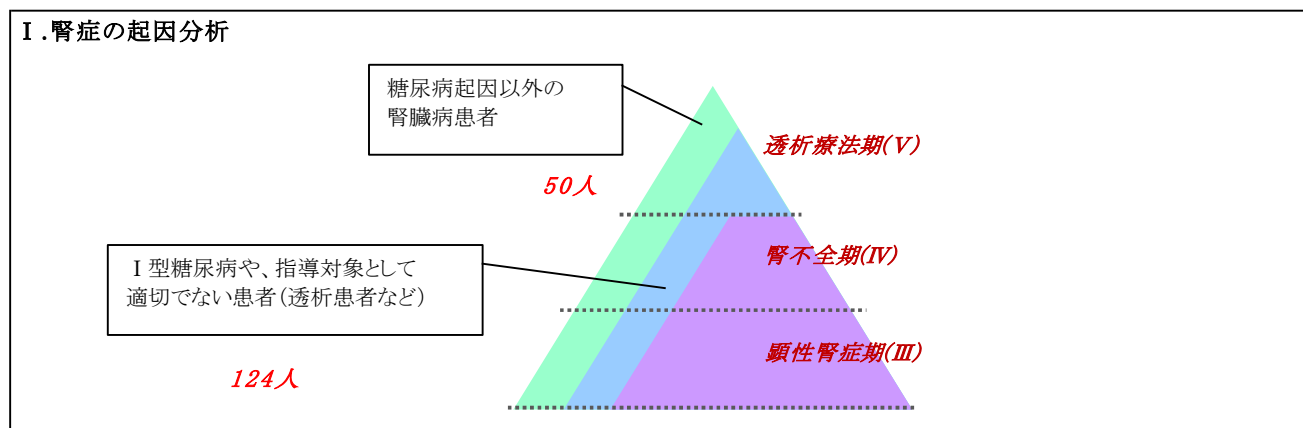
データ化範囲(分析対象)…入院(D P Cを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12か月分)。

資格確認日…令和5年3月31日時点。

はじめに、「腎症の起因分析」を行います。緑色部分は糖尿病起因以外の腎臓病患者と考えられ、50人の患者が存在します。また、青色部分は糖尿病患者ですが、生活習慣を起因としていない糖尿病患者や、指導対象として適切でない患者(透析患者、腎臓移植した可能性がある患者、指導期間中に後期高齢者医療広域連合へ異動する可能性がある74歳以上の患者等)と考えられ、124人の患者が存在します。紫色部分は生活習慣起因の糖尿病または腎症と考えられる患者で、この患者層が保健指導対象者として適切となります。

年度別 基礎統計



データ化範囲(分析対象)…入院(D P Cを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

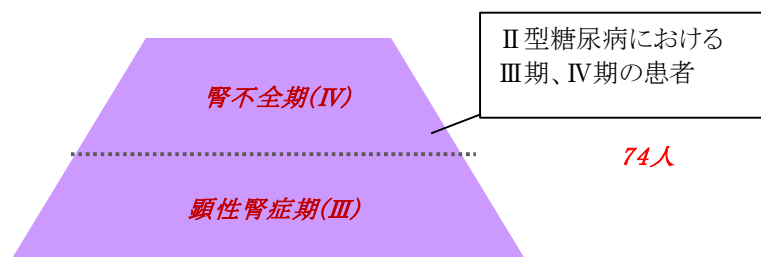
対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12か月分)。

資格確認日…令和5年3月31日時点。

次に示すのは、「Ⅱ型糖尿病を起因とした保健指導対象者」です。重症化予防を実施するに当たり適切な病期は、透析への移行が近い腎不全期、腎機能が急激に低下する顕性腎症期です。該当する病期の患者は合わせて74人となっています。

Ⅱ型糖尿病を起因とした保健指導対象者

Ⅱ.Ⅱ型糖尿病を起因とした保健指導対象者



データ化範囲(分析対象)…入院(D P Cを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12か月分)。
資格確認日…令和5年3月31日時点。

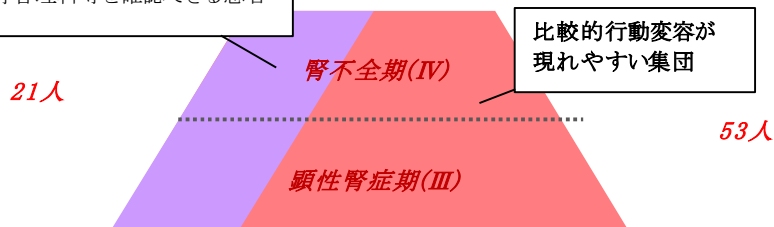
次に、個人毎の状態を見極め、「保健指導対象者の優先順位」について分析しました。74人のうち「複雑なケースが含まれる集団」、つまり、がん、難病、精神疾患、認知症等が含まれる患者は、21人存在します。

一方、それらの疾病が確認できない「比較的行動変容が現れやすい集団」は、53人存在します。保健事業を行う上で、これら2つのグループには費用対効果に大きな違いがあります。「比較的行動変容が現れやすい集団」が本事業の対象者です。

保健指導対象者の優先順位

Ⅲ.保健指導対象者の優先順位

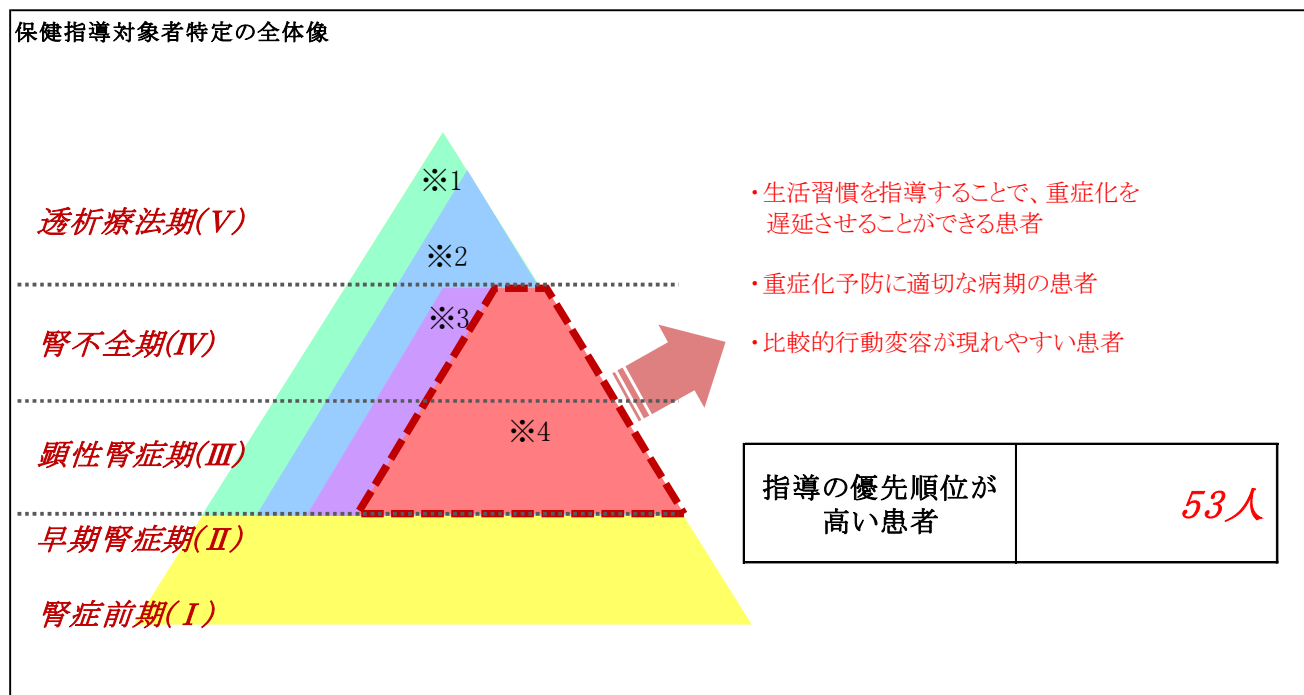
複雑なケースが含まれる集団
がん、難病、精神疾患、認知症、シャント、
透析予防指導管理料等を確認できる患者



データ化範囲(分析対象)…入院(D P Cを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月心療分(12か月分)。
資格確認日…令和5年3月31日時点。

以上の分析のように「腎症の起因分析」「Ⅱ型糖尿病を起因とした保健指導対象者」「保健指導対象者の優先順位」の3段階を経て、適切な指導対象者は、53人となりました。以下は、この分析の全体像を示したものです。

保健指導対象者特定の全体像



データ化範囲(分析対象)…入院(D P Cを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12か月分)。

資格確認日…令和5年3月31日時点。

※1…糖尿病起因以外の腎臓病患者

※2…Ⅰ型糖尿病や、指導対象として適切でない患者(透析患者等)

※3…複雑なケースが含まれる集団(がん、難病、精神疾患、認知症等を確認できる患者)

※4…比較的行動変容が現れやすい患者

3. 受診行動適正化指導対象者に係る分析

多受診(重複受診、頻回受診、重複服薬)は、不適切な受診行動も含まれているため、これらの患者を正しい受診行動に導く指導が必要となります。以下は、指導対象者数の分析結果を示したものです。

ひと月に同系の疾病を理由に複数の医療機関に受診している「重複受診者」や、ひと月に同一の医療機関に一定回数以上受診している「頻回受診者」、ひと月に同系の医薬品が複数の医療機関で処方され、処方日数が一定以上の「重複服薬者」について令和4年4月～令和5年3月診療分(12か月分)のレセプトデータを用いて分析しました。

重複受診者数

	令和4年4月	令和4年5月	令和4年6月	令和4年7月	令和4年8月	令和4年9月	令和4年10月	令和4年11月	令和4年12月	令和5年1月	令和5年2月	令和5年3月
重複受診者数(人) ※	2	1	1	3	2	2	2	1	3	1	3	5
12か月間の延べ人数											26人	
12か月間の実人数											15人	

データ化範囲(分析対象)…入院(D P Cを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12か月分)。
資格確認日…令和5年3月31日時点。
株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。
※重複受診者数…1か月間で同系の疾病を理由に3医療機関以上受診している患者を対象とする。透析中、治療行為を行っていないレセプトは対象外とする。

頻回受診者数

	令和4年4月	令和4年5月	令和4年6月	令和4年7月	令和4年8月	令和4年9月	令和4年10月	令和4年11月	令和4年12月	令和5年1月	令和5年2月	令和5年3月
頻回受診者数(人) ※	2	2	4	1	2	2	4	0	0	0	1	1
12か月間の延べ人数											19人	
12か月間の実人数											12人	

データ化範囲(分析対象)…入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12か月分)。
資格確認日…令和5年3月31日時点。
※頻回受診者数…1か月間で同一医療機関に12回以上受診している患者を対象とする。透析患者は対象外とする。

重複服薬者数

	令和4年4月	令和4年5月	令和4年6月	令和4年7月	令和4年8月	令和4年9月	令和4年10月	令和4年11月	令和4年12月	令和5年1月	令和5年2月	令和5年3月
重複服薬者数(人) ※	8	6	6	5	4	5	7	10	10	5	14	13
12か月間の延べ人数											93人	
12か月間の実人数											60人	

データ化範囲(分析対象)…入院(D P Cを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12か月分)。
資格確認日…令和5年3月31日時点。
※重複服薬者数…1か月間で同系の医薬品が複数の医療機関で処方され、同系医薬品の日数合計が60日を超える患者を対象とする。

分析結果より、12か月間で重複受診者は15人、頻回受診者は12人、重複服薬者は60人存在しています。機械的に多受診患者を特定した場合、問題になるのは、その患者の多くに「必要な医療」の可能性がある患者も含まれることです。機械的に多受診患者を特定するのではなく、十分な分析の上、指導対象者を特定する必要があります。ここでは、令和4年4月～令和5年3月診療分(12か月分)のレセプトを対象に、「条件設定による指導対象者の特定」「除外設定」「優先順位」の3段階を経て分析しました。

はじめに、「条件設定による指導対象者の特定」を行います。重複受診・頻回受診・重複服薬を併せ持つ患者がいるため前述の分析結果より患者数は減少します。

条件設定による指導対象者の特定(重複受診者、頻回受診者、重複服薬者)

I. 条件設定による指導対象者の特定

- ・重複受診患者 …1か月間で同系の疾病を理由に3医療機関以上受診している患者
- ・頻回受診患者 …1か月間で同一医療機関に12回以上受診している患者
- ・重複服薬者 …1か月間で同系の医薬品が複数の医療機関で処方され、同系医薬品の日数合計が60日を超える患者

条件設定により候補者となった患者数

84人

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12か月分)。
資格確認日…令和5年3月31日時点。

次に、指導対象者として適切ではない可能性がある患者を「除外設定」により除外します。

「がん患者」「精神疾患患者」「難病患者」「認知症患者」「人工透析患者」に関しては、必要な医療による受診の可能性があります。また、指導が困難な可能性も考えられます。以上の理由から、該当する患者について指導対象者から除外します。

除外設定(重複受診者、頻回受診者、重複服薬者)

II. 除外設定

		除外理由別人数
除外	がん、精神疾患、難病、認知症 ※ 人工透析	66人
除外患者を除き、候補者となった患者数		18人

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12か月分)。
資格確認日…令和5年3月31日時点。
※がん、精神疾患、難病、認知症…疑い病名を含む。

次に、残る対象者18人のうち、指導することでより効果が高く、より効率の良い対象者を特定します。これらは費用対効果を重視し、「優先順位」を決めることを目的としています。効果については、レセプト期間最終月から6か月間遡ったレセプトのうち、5～6か月重複受診・頻回受診・重複服薬に該当する患者を最優先します。効率については、指導のアポイントメントが取りやすい等の理由から60歳以上を最優先とし、次に、50歳～59歳を対象とします。以下のとおり、効果が高く効率の良い候補者A～候補者Fは0人となりました。

優先順位(重複受診者、頻回受診者、重複服薬者)

Ⅲ.優先順位

↑高 効果 低↓	最新6カ月レセプトのうち 5～6カ月 重複・頻回・重複服薬に 該当する患者	候補者A 0人	候補者C 0人	候補者 としない
	最新6カ月レセプトのうち 3～4カ月 重複・頻回・重複服薬に 該当する患者	候補者B 0人	候補者D 0人	
	最新6カ月レセプトのうち 2カ月 重複・頻回・重複服薬に 該当する患者 (ただし直近2カ月レセに該当)	候補者E 0人	候補者F 0人	
	その他の 重複・頻回・重複服薬患者	18人		
		60歳以上	50～59歳	50歳未満
←良 効率 悪→				
効果が高く効率の良い候補者A～候補者Fの患者数				0人

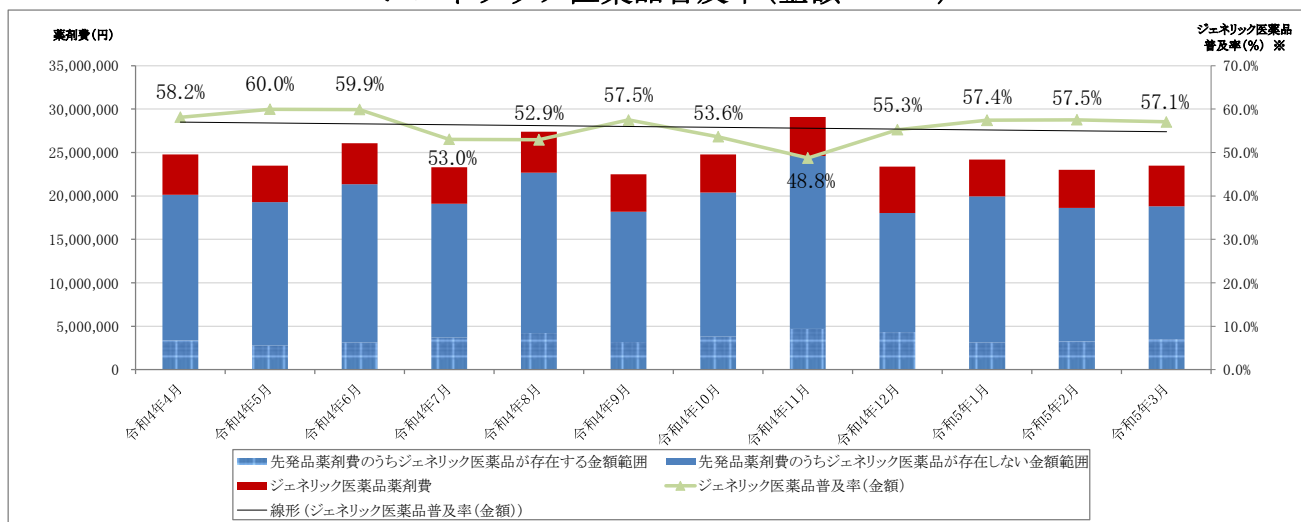
データ化範囲(分析対象)…入院(D P Cを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
 対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12か月分)。
 資格確認日…令和5年3月31日時点。

4. ジェネリック医薬品普及率に係る分析

先発医薬品からジェネリック医薬品への切り替えを患者に促し薬剤費の削減を図ります。ジェネリック医薬品への切り替えは複数の疾病に対して行うことができるため、多くの患者に対してアプローチできる利点があります。

以下は、診療年月毎の状況について示したものです。令和4年4月～令和5年3月診療分(12か月分)での平均ジェネリック医薬品普及率は、金額ベースでは55.7%、数量ベースでは87.6%となっています。

ジェネリック医薬品普及率(金額ベース)



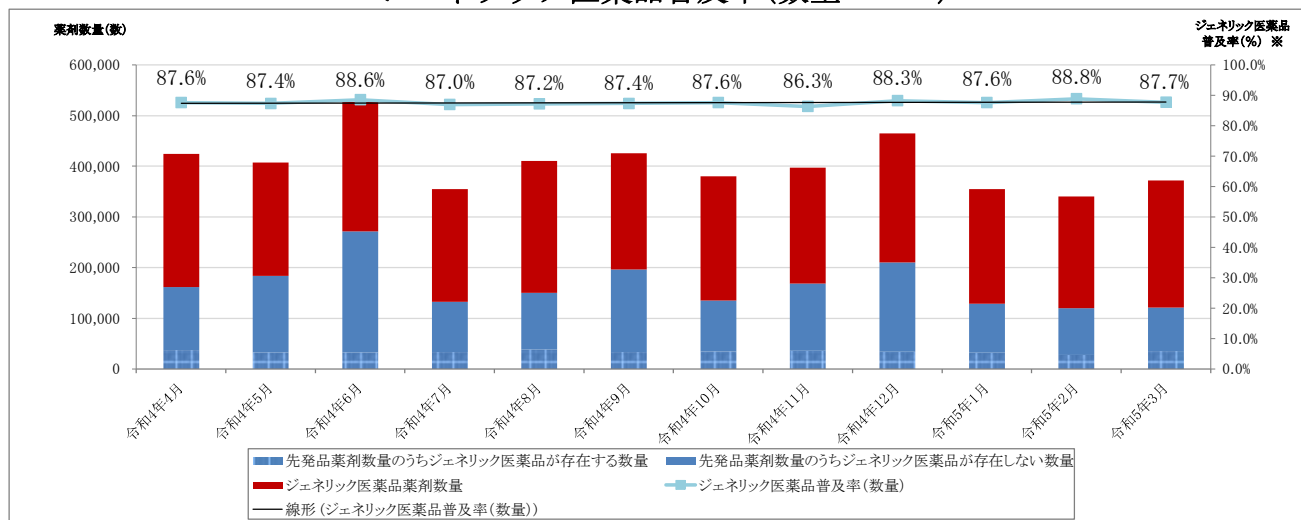
データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12か月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

※ジェネリック医薬品普及率…ジェネリック医薬品薬剤費/(ジェネリック医薬品薬剤費+先発品薬剤費のうちジェネリック医薬品が存在する金額範囲)

ジェネリック医薬品普及率(数量ベース)



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

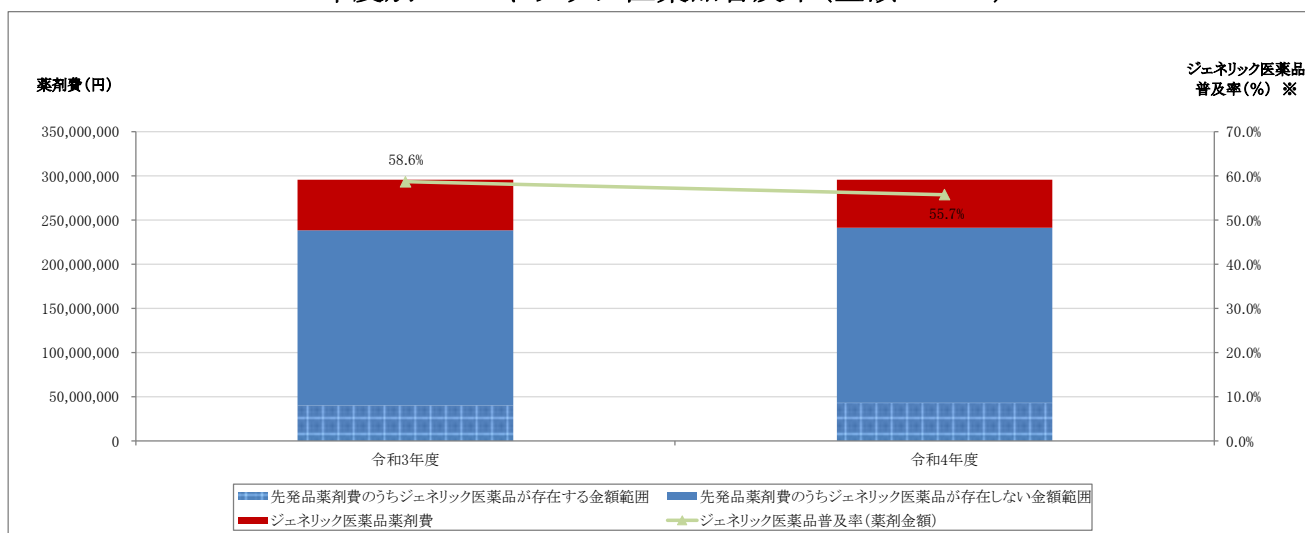
対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12か月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

※ジェネリック医薬品普及率…ジェネリック医薬品薬剤数量/(ジェネリック医薬品薬剤数量+先発品薬剤数量のうちジェネリック医薬品が存在する数量)

以下は、令和3年度から令和4年度における、ジェネリック医薬品普及率(金額ベース・数量ベース)を年度別に示したものです。令和4年度を令和3年度と比較すると、ジェネリック医薬品普及率(金額ベース)55.7%は、令和3年度58.6%より2.9ポイント減少しており、ジェネリック医薬品普及率(数量ベース)87.6%は、令和3年度86.7%より0.9ポイント増加しています。

年度別 ジェネリック医薬品普及率(金額ベース)



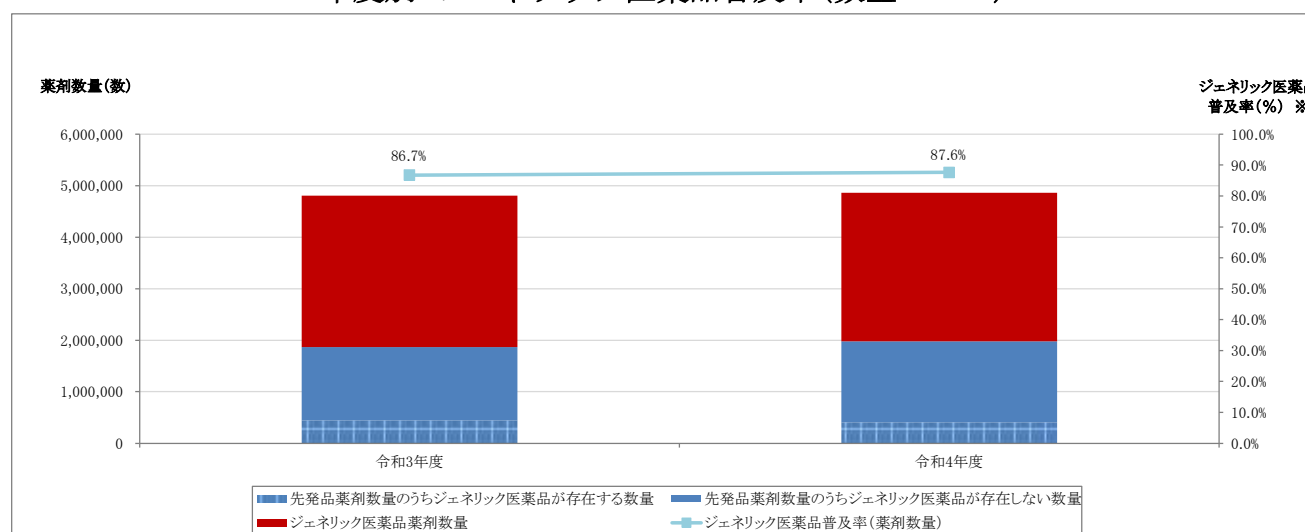
データ化範囲(分析対象)…入院(D P Cを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和3年4月～令和5年3月診療分(24か月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

※ジェネリック医薬品普及率…ジェネリック医薬品薬剤費/(ジェネリック医薬品薬剤費+先発品薬剤費のうちジェネリック医薬品が存在する金額範囲)

年度別 ジェネリック医薬品普及率(数量ベース)



データ化範囲(分析対象)…入院(D P Cを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

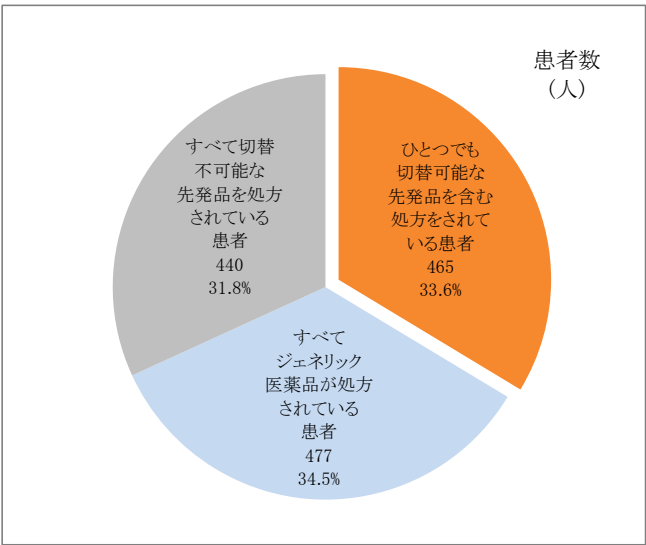
対象診療年月は令和3年4月～令和5年3月診療分(24か月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

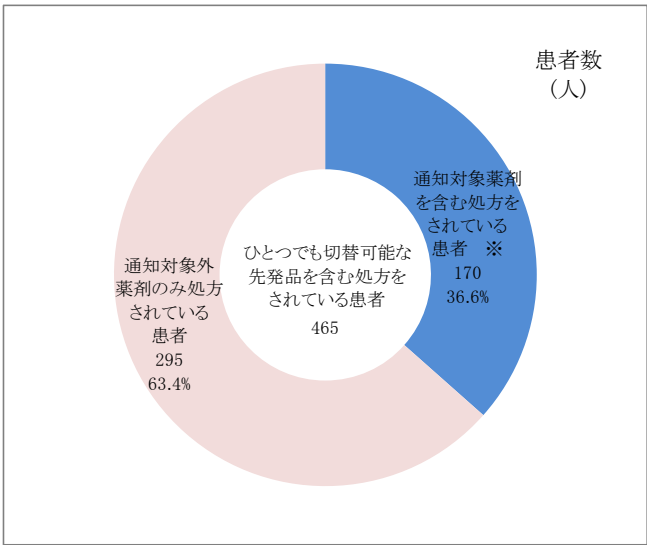
※ジェネリック医薬品普及率…ジェネリック医薬品薬剤数量/(ジェネリック医薬品薬剤数量+先発品薬剤数量のうちジェネリック医薬品が存在する数量)

以下は、令和5年3月診療分のレセプトデータから、薬剤処方状況別の患者数を示したものです。患者数は1,382人(入院レセプトのみの患者は除く)で、このうちひとつでもジェネリック医薬品に切り替え可能な先発品を含む処方をされている患者は465人で患者数全体の33.6%を占めています。さらにこのうち株式会社データホライゾン基準の通知対象薬剤のみに絞り込むと、170人がジェネリック医薬品切り替え可能な薬剤を含む処方をされている患者となり、ひとつでもジェネリック医薬品に切り替え可能な先発品を含む処方をされている患者の36.6%を占めています。

ジェネリック医薬品への切り替え
ポテンシャル(患者数ベース)



「ひとつでも切替可能な先発品を含む
処方をされている患者」の内訳



データ化範囲(分析対象)…入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和5年3月診療分(1か月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

※通知対象薬剤を含む処方をされている患者…株式会社データホライゾン通知対象薬剤基準による(ジェネリック医薬品が存在しても、入院、処置に使用した医薬品及び、がん・精神疾患・短期処方のみは含まない)。

※構成比…小数第2位で四捨五入しているため、合計が100%にならない場合がある。

5. 薬剤併用禁忌に係る分析

薬剤の相互作用は、効果の増強または減弱、副作用などを生じさせ、時に患者に重大な影響を与える可能性があります。通常、薬剤師がお薬手帳等で薬剤の相互作用等を確認しますが、患者がお薬手帳を持たず、さらに処方箋発行医療機関と処方する調剤薬局も異なる場合、既に処方された薬と新たに処方される薬とで併用禁忌の状態になる可能性があります。

令和4年4月～令和5年3月診療分(12か月分)において、薬剤併用禁忌が発生した延べ人数は86人、実人数は55人となっています。

薬剤併用禁忌対象者数

	令和4年4月	令和4年5月	令和4年6月	令和4年7月	令和4年8月	令和4年9月	令和4年10月	令和4年11月	令和4年12月	令和5年1月	令和5年2月	令和5年3月
薬剤併用禁忌 対象者数(人)※	3	6	3	5	5	4	9	12	12	9	7	11
										12か月間の延べ人数		86 人
										12か月間の実人数		55 人

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
 対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12か月分)。
 資格確認日…令和5年3月31日時点。
 ※薬剤併用禁忌対象者…1か月間に併用禁忌とされる薬剤を処方された人を対象とする。

以下は、主な併用禁忌の組み合わせを示したものです。

薬剤併用禁忌 医薬品リスト

実人数(人)	55
件数合計(件)	104

No.	(X) 剤型名	(X) 医薬品 コード	(X) 医薬品名	(Y) 剤型名	(Y) 医薬品 コード	(Y) 医薬品名	件数
1	内服	620002023	コロナール錠200 200mg	内服	620160501	PL配合顆粒	25
2	内服	620160501	PL配合顆粒	内服	621558101	SG配合顆粒	12
3	内服	622698601	コララン錠2. 5mg	内服	620307601	ジルチアゼム塩酸塩Rカプセル100mg「サワイ」	8
4	外用	620518102	ボスミン外用液0. 1%	外用	622678901	テリルジー100エリブタ30吸入用	5
5	内服	620002023	コロナール錠200 200mg	内服	620161401	ビーエイ配合錠	4
6	内服	620004902	アスバラカリウム錠300mg	内服	620005824	セララ錠25mg	3
7	内服	620004902	アスバラカリウム錠300mg	内服	620005825	セララ錠50mg	3
8	内服	620002023	コロナール錠200 200mg	内服	620160801	トールワチーム配合顆粒	3
9	内服	620000033	コロナール錠300 300mg	内服	620160801	トールワチーム配合顆粒	3
10	内服	622381201	コロナール錠500 500mg	内服	620160501	PL配合顆粒	3
11	内服	620005825	セララ錠50mg	内服	621501001	ヨウ化カリウム丸50mg「日医工」	3
12	内服	620000581	タンニン酸アルブミン「ケンエー」	内服	620730201	クエン酸第一鉄Na錠50mg「サワイ」 鉄50mg	3
13	内服	620000033	コロナール錠300 300mg	内服	620161401	ビーエイ配合錠	2
14	内服	622381201	コロナール錠500 500mg	内服	621558101	SG配合顆粒	2
15	内服	622381201	コロナール錠500 500mg	内服	620161401	ビーエイ配合錠	2
16	内服	620005824	セララ錠25mg	内服	621501001	ヨウ化カリウム丸50mg「日医工」	2
17	外用	622133601	タコシール組織接着用シート 9. 5cm×4. 8cm	外用	621518301	ベリブラスTP コンビセット 組織接着用 5mL2キット	2
18	内服	620161001	マリキナ配合顆粒	内服	620002023	コロナール錠200 200mg	2
19	内服	620002022	コロナール細粒20%	内服	620161301	幼児用PL配合顆粒	1
20	内服	620002023	コロナール錠200 200mg	内服	620067312	アセトアミノフェン「JG」原末	1
21	内服	620002023	コロナール錠200 200mg	内服	620160301	ベレックス配合顆粒	1
22	内服	620000033	コロナール錠300 300mg	内服	621558101	SG配合顆粒	1
23	内服	620000033	コロナール錠300 300mg	内服	620160301	ベレックス配合顆粒	1
24	内服	622381201	コロナール錠500 500mg	内服	622666801	トアラセット配合錠「オーハラ」	1
25	内服	622381201	コロナール錠500 500mg	内服	622655601	トアラセット配合錠「サワイ」	1
26	内服	622381201	コロナール錠500 500mg	内服	622652301	トアラセット配合錠「日医工」	1
27	内服	622381201	コロナール錠500 500mg	内服	620160801	トールワチーム配合顆粒	1
28	内服	622381201	コロナール錠500 500mg	内服	620161001	マリキナ配合顆粒	1
29	内服	620003935	クラリスロマイシン錠200mg「日医工」	内服	622794801	ラツード錠40mg	1
30	外用	622133601	タコシール組織接着用シート 9. 5cm×4. 8cm	外用	621204001	ホルセール組織接着用 5mL4瓶	1
31	内服	620416638	タンニン酸アルブミン「VTRS」原末	内服	620729301	フェルムカプセル100mg 鉄100mg	1
32	内服	622652301	トアラセット配合錠「日医工」	内服	621558101	SG配合顆粒	1
33	内服	620160801	トールワチーム配合顆粒	内服	620160301	ベレックス配合顆粒	1
34	外用	620518102	ボスミン外用液0. 1%	外用	621829501	アドエア100ディスカス60吸入用 60ブリスター	1
35	内服	622670101	ミネプロ錠1. 25mg	内服	620003560	スピロラクトン錠25mg「トールワ」	1

データ化範囲(分析対象)…入院(D P Cを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12か月分)。
資格確認日…令和5年3月31日時点。

6. 長期多剤服薬者に係る分析

医薬品の多剤服薬は、薬の飲み忘れ、飲み間違い等の服薬過誤や、副作用等の薬物有害事象発生につながるおそれがあります。薬物有害事象の発生リスクは6種類以上の服薬で特に高まるとされており、高齢者に起こりやすい副作用にはふらつき・転倒、物忘れ、うつ、せん妄、食欲低下、便秘、排尿障害等があります。複数疾病を有する高齢者においては特に注意が必要です。

本分析では、服薬状況を把握し適切な服薬を促すことを目的に、対象となる患者の特定を行います。複数医療機関から内服薬が長期(14日以上)処方されている対象者のうち、基準月(令和5年3月)に6種類以上の内服薬を服用している長期多剤服薬者は191人となっています。

薬剤種類数別長期服薬者数

年齢階層		対象者数(人)							
		～ 39歳	40歳 ～ 44歳	45歳 ～ 49歳	50歳 ～ 54歳	55歳 ～ 59歳	60歳 ～ 64歳	65歳 ～ 69歳	70歳 ～
被保険者数(人)		481	136	132	116	165	308	743	1,024
薬剤種類数	2種類	3	1	0	0	3	3	4	6
	3種類	7	0	4	1	0	5	11	14
	4種類	5	2	1	2	1	5	13	22
	5種類	3	2	0	3	3	7	15	13
	6種類	3	0	3	0	2	3	14	20
	7種類	2	2	1	2	0	5	9	17
	8種類	2	1	1	2	3	3	9	12
	9種類	0	1	0	1	2	1	5	11
	10種類	1	0	0	0	1	0	7	3
	11種類	0	0	1	0	2	0	2	5
	12種類	0	0	0	0	2	2	3	3
	13種類	0	0	0	0	0	2	1	5
	14種類	0	0	0	0	0	0	1	3
	15種類	0	0	0	0	0	1	0	2
	16種類	0	0	0	0	0	1	0	1
	17種類	0	0	0	0	0	0	0	1
	18種類	0	0	0	0	0	0	0	1
	19種類	0	1	0	0	0	0	0	1
	20種類	0	0	0	0	0	0	0	0
	21種類以上	0	0	0	0	0	0	0	1
	合計	26	10	11	11	19	38	94	141



長期多剤服薬者数(人)※	191
--------------	-----

データ化範囲(分析対象)…入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和4年12月～令和5年3月診療分(4か月分)。

一時的に服用した医薬品を除くため、処方日数が14日以上 of 医薬品を対象としている。複数医療機関から処方された内服薬のうち、基準月(分析期間最終月)に服用している長期処方薬の種類数を集計する。基準月の服用状況については、基準月に処方された薬剤と基準月以前に処方された長期処方薬を調剤日と処方日数から判定している。

※長期多剤服薬者数…複数医療機関から内服薬が長期(14日以上)処方されており、その長期処方の内服薬が6種類以上の人数。

参考資料: 日本老年医学会「高齢者の安全な薬物療法ガイドライン2015」

また、長期多剤服薬者191人が被保険者全体に占める割合は6.2%、長期服薬者全体に占める割合は54.6%となっています。

長期多剤服薬者の状況

		～ 39歳	40歳 ～ 44歳	45歳 ～ 49歳	50歳 ～ 54歳	55歳 ～ 59歳	60歳 ～ 64歳	65歳 ～ 69歳	70歳 ～	合計
A	被保険者数(人)	481	136	132	116	165	308	743	1,024	3,105
B	長期服薬者数(人)※	26	10	11	11	19	38	94	141	350
C	長期多剤服薬者数(人)※	8	5	6	5	12	18	51	86	191
C/A	被保険者数に占める 長期多剤服薬者割合(%)	1.7%	3.7%	4.5%	4.3%	7.3%	5.8%	6.9%	8.4%	6.2%
C/B	長期服薬者数に占める 長期多剤服薬者割合(%)	30.8%	50.0%	54.5%	45.5%	63.2%	47.4%	54.3%	61.0%	54.6%

データ化範囲(分析対象)…入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和4年12月～令和5年3月診療分(4か月分)。

一時的に服用した医薬品を除くため、処方日数が14日以上(15日)の医薬品を対象としている。複数医療機関から処方された内服薬のうち、基準月(分析期間最終月)に服用している長期処方薬の種類数を集計する。基準月の服用状況については、基準月に処方された薬剤と基準月以前に処方された長期処方薬を調剤日と処方日数から判定している。

※長期服薬者数…複数医療機関から内服薬が長期(14日以上)処方されている人数。

※長期多剤服薬者数…複数医療機関から内服薬が長期(14日以上)処方されており、その長期処方の内服薬が6種類以上の人数。

参考資料 「医療費等統計」と「保健事業に係る分析」の分析結果まとめ

■単年分析

【基礎統計】

医療費	1,193,707,680円
-----	----------------

【高額(5万点以上)レセプト分析】

高額レセプト件数	449件
高額レセプト件数割合	1.0%
高額レセプト医療費割合	37.4%

【大分類による疾病別医療費統計】

医療費が高額な疾病		医療費	構成比
1位	新生物＜腫瘍＞	225,735,864円	19.0%
2位	循環器系の疾患	183,256,696円	15.4%
3位	内分泌、栄養及び代謝疾患	112,939,847円	9.5%

患者数が多い疾病		患者数
1位	循環器系の疾患	1,682人
2位	内分泌、栄養及び代謝疾患	1,636人
3位	消化器系の疾患	1,426人

患者一人当たりの医療費が高額な疾病		患者一人当たりの医療費
1位	周産期に発生した病態	1,698,472円
2位	妊娠、分娩及び産じょく	252,390円
3位	新生物＜腫瘍＞	249,708円

【中分類による疾病別医療費統計】

医療費が高額な疾病		医療費	構成比
1位	その他の悪性新生物＜腫瘍＞	120,395,602円	10.1%
2位	腎不全	81,448,995円	6.9%
3位	糖尿病	66,833,728円	5.6%

患者数が多い疾病		患者数
1位	高血圧性疾患	1,263人
2位	糖尿病	1,221人
3位	その他の消化器系の疾患	1,008人

患者一人当たりの医療費が高額な疾病		患者一人当たりの医療費
1位	妊娠及び胎児発育に関連する障害	3,077,241円
2位	その他の周産期に発生した病態	929,162円
3位	腎不全	702,147円

【生活習慣病医療費の状況】

生活習慣病医療費	273,728,647円
----------	--------------

【特定健康診査結果分析】

メタボリックシンドローム該当状況		該当割合
基準該当		25.3%
予備群該当		9.3%

有所見者割合が高い検査項目		有所見者割合
1位	HbA1c	62.5%
2位	空腹時血糖	59.5%
3位	収縮期血圧	54.3%

【健診異常値放置者の状況】

健診異常値放置者	285人
----------	------

【生活習慣病治療中断者の状況】

生活習慣病治療中断者	11人
------------	-----

【人工透析患者の状況】

人工透析患者	20人
（Ⅱ型糖尿病起因患者）	11人

【医療機関受診状況】

重複受診者	15人
頻回受診者	12人
重複服薬者	60人

※令和4年4月～令和5年3月診療分(12か月分)期間中の実人数

【ジェネリック医薬品普及率 数量ベース】

ジェネリック医薬品普及率	87.6%
--------------	-------

【薬剤併用禁忌の発生状況】

薬剤併用禁忌対象者	55人
-----------	-----

【服薬状況】

長期多剤服薬者	191人
---------	------

【骨折医療費及び骨粗鬆症患者の状況】

	男女合計	男性	女性
骨折医療費	19,178,423円	10,406,481円	8,771,942円
骨折患者数	132人	59人	73人
患者一人当たりの骨折医療費	145,291円	176,381円	120,164円

	男女合計	男性	女性
骨粗鬆症患者数	473人	35人	438人
骨粗鬆症治療薬服用中患者数	353人	22人	331人
骨粗鬆症治療中断患者数	14人	3人	11人
治療薬服用中患者に占める 治療中断患者割合	4.0%	13.6%	3.3%

【要介護認定状況】

	男女合計	男性	女性
要介護認定者の割合	4.0%	4.6%	3.3%

■年度分析

【基礎統計】

年度	医療費
令和3年度	1,223,715,920円
令和4年度	1,193,707,680円

【高額(5万点以上)レセプト分析】

年度	高額レセプト件数	高額レセプト件数割合	高額レセプト医療費割合
令和3年度	435件	1.0%	37.7%
令和4年度	449件	1.0%	37.4%

【大分類による疾病別医療費統計】

医療費が高額な疾病			医療費	構成比
令和3年度	1位	循環器系の疾患	216,046,030円	17.7%
	2位	新生物＜腫瘍＞	209,089,774円	17.2%
	3位	内分泌，栄養及び代謝疾患	123,375,684円	10.1%
令和4年度	1位	新生物＜腫瘍＞	225,735,864円	19.0%
	2位	循環器系の疾患	183,256,696円	15.4%
	3位	内分泌，栄養及び代謝疾患	112,939,847円	9.5%

【中分類による疾病別医療費統計】

医療費が高額な疾病			医療費	構成比
令和3年度	1位	その他の悪性新生物＜腫瘍＞	108,094,266円	8.9%
	2位	腎不全	79,666,229円	6.5%
	3位	その他の心疾患	75,050,352円	6.2%
令和4年度	1位	その他の悪性新生物＜腫瘍＞	120,395,602円	10.1%
	2位	腎不全	81,448,995円	6.9%
	3位	糖尿病	66,833,728円	5.6%

【生活習慣病医療費の状況】

年度	生活習慣病医療費
令和3年度	291,436,168円
令和4年度	273,728,647円

【ジェネリック医薬品普及率 数量ベース】

	令和3年度	令和4年度
ジェネリック医薬品普及率	86.7%	87.6%

【要介護認定状況】

	令和3年度	令和4年度
要介護認定者数	114人	117人

【特定健康診査結果分析】

有所見者割合が高い検査項目			有所見者割合
令和3年度	1位	HbA1c	69.6%
	2位	収縮期血圧	57.6%
	3位	空腹時血糖	51.0%
令和4年度	1位	HbA1c	62.5%
	2位	空腹時血糖	59.5%
	3位	収縮期血圧	54.3%

メタボリックシンドローム該当状況		
年度	基準該当割合	予備群該当割合
令和3年度	24.4%	7.6%
令和4年度	25.3%	9.3%

参考資料 年度別 特定健康診査結果等分析

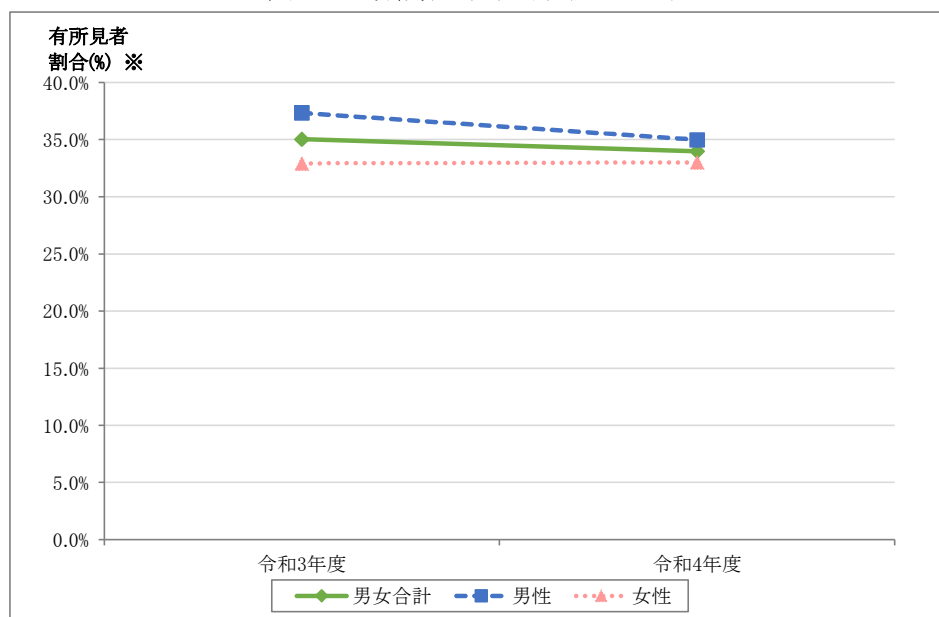
1. 有所見者割合

以下は、令和3年度から令和4年度の特定健康診査受診者における有所見者割合を年度別に示したものです。

年度別 有所見者割合(BMI)

		令和3年度	令和4年度
男女合計	対象者数(人) ※	1,222	1,204
	有所見者数(人) ※	428	409
	有所見者割合(%) ※	35.0%	34.0%
男性	対象者数(人) ※	584	586
	有所見者数(人) ※	218	205
	有所見者割合(%) ※	37.3%	35.0%
女性	対象者数(人) ※	638	618
	有所見者数(人) ※	210	204
	有所見者割合(%) ※	32.9%	33.0%

年度別 有所見者割合(BMI)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは令和3年4月～令和5年3月健診分(24か月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※対象者数 …健診検査値が記録されている人数。

※有所見者数 …保健指導判定値を超えている人数。

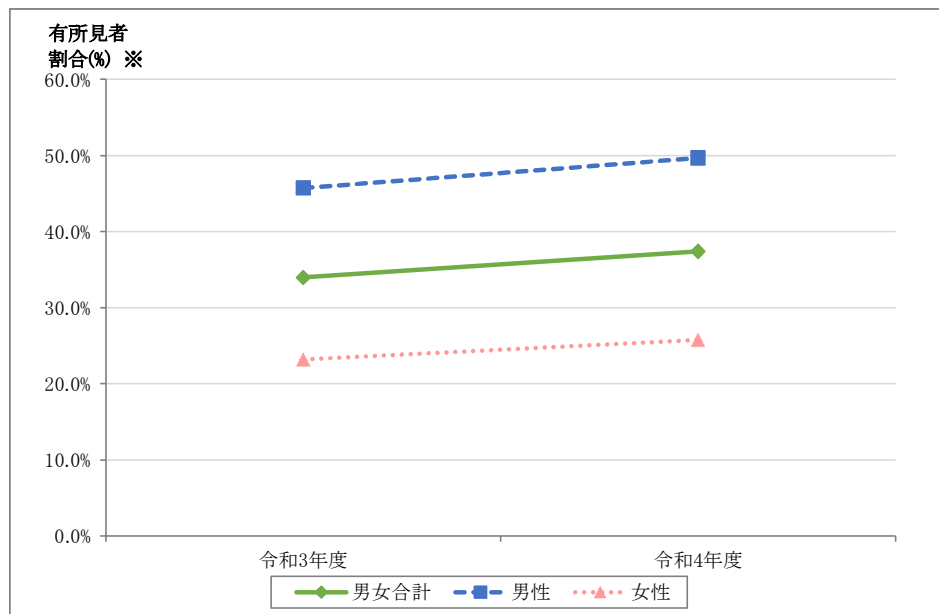
※有所見者割合…健診検査値が記録されている人のうち、保健指導判定値を超えている人の割合。
保健指導判定値により有所見を判定する。

BMI :25以上

年度別 有所見者割合(腹囲)

		令和3年度	令和4年度
男女合計	対象者数(人) ※	1,222	1,203
	有所見者数(人) ※	415	450
	有所見者割合(%) ※	34.0%	37.4%
男性	対象者数(人) ※	584	586
	有所見者数(人) ※	267	291
	有所見者割合(%) ※	45.7%	49.7%
女性	対象者数(人) ※	638	617
	有所見者数(人) ※	148	159
	有所見者割合(%) ※	23.2%	25.8%

年度別 有所見者割合(腹囲)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは令和3年4月～令和5年3月健診分(24か月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※対象者数 …健診検査値が記録されている人数。

※有所見者数 …保健指導判定値を超えている人数。

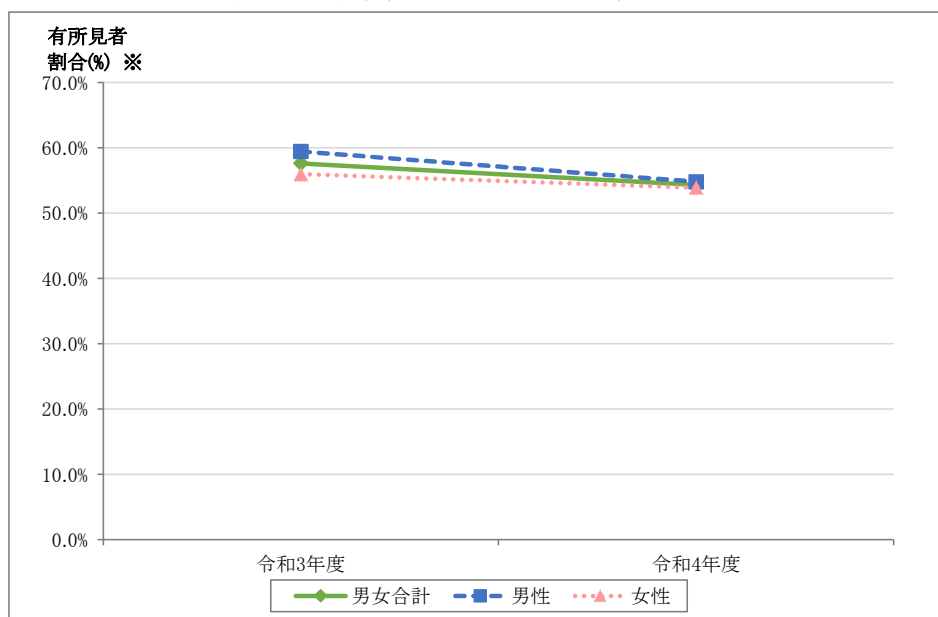
※有所見者割合…健診検査値が記録されている人のうち、保健指導判定値を超えている人の割合。
保健指導判定値により有所見を判定する。

腹囲: 男性85cm以上、女性90cm以上

年度別 有所見者割合(収縮期血圧)

		令和3年度	令和4年度
男女合計	対象者数(人) ※	1,222	1,204
	有所見者数(人) ※	704	654
	有所見者割合(%) ※	57.6%	54.3%
男性	対象者数(人) ※	584	586
	有所見者数(人) ※	347	321
	有所見者割合(%) ※	59.4%	54.8%
女性	対象者数(人) ※	638	618
	有所見者数(人) ※	357	333
	有所見者割合(%) ※	56.0%	53.9%

年度別 有所見者割合(収縮期血圧)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは令和3年4月～令和5年3月健診分(24か月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※対象者数 …健診検査値が記録されている人数。

※有所見者数 …保健指導判定値を超えている人数。

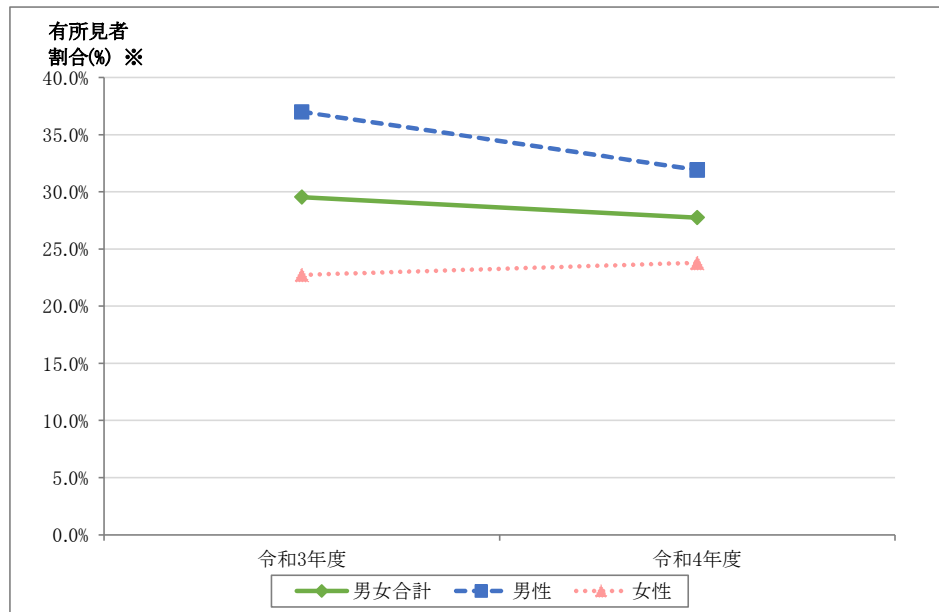
※有所見者割合…健診検査値が記録されている人のうち、保健指導判定値を超えている人の割合。
保健指導判定値により有所見を判定する。

収縮期血圧:130mmHg以上

年度別 有所見者割合(拡張期血圧)

		令和3年度	令和4年度
男女合計	対象者数(人) ※	1,222	1,204
	有所見者数(人) ※	361	334
	有所見者割合(%) ※	29.5%	27.7%
男性	対象者数(人) ※	584	586
	有所見者数(人) ※	216	187
	有所見者割合(%) ※	37.0%	31.9%
女性	対象者数(人) ※	638	618
	有所見者数(人) ※	145	147
	有所見者割合(%) ※	22.7%	23.8%

年度別 有所見者割合(拡張期血圧)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは令和3年4月～令和5年3月健診分(24か月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※対象者数 …健診検査値が記録されている人数。

※有所見者数 …保健指導判定値を超えている人数。

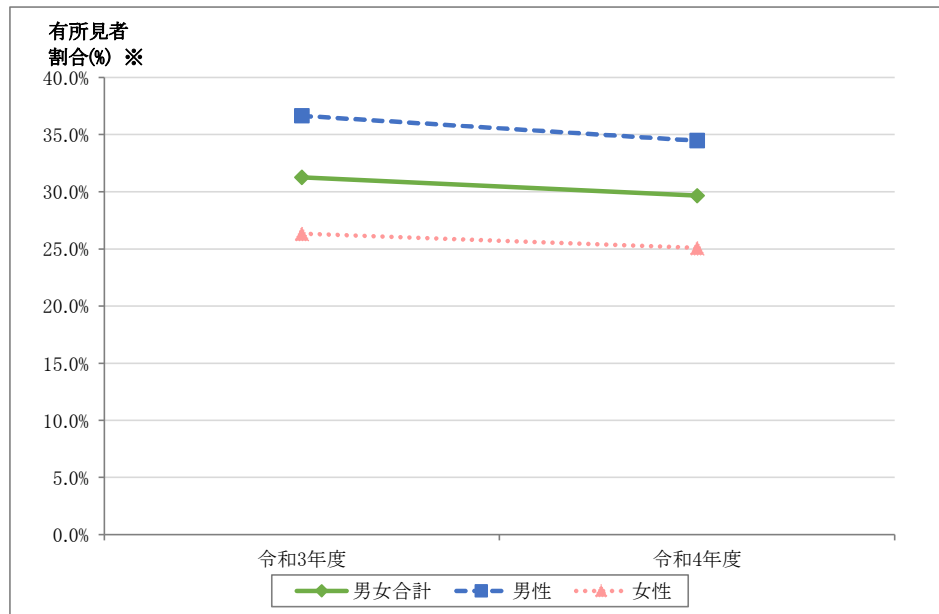
※有所見者割合…健診検査値が記録されている人のうち、保健指導判定値を超えている人の割合。
保健指導判定値により有所見を判定する。

拡張期血圧:85mmHg以上

年度別 有所見者割合(中性脂肪)

		令和3年度	令和4年度
男女合計	対象者数(人) ※	1,222	1,204
	有所見者数(人) ※	382	357
	有所見者割合(%) ※	31.3%	29.7%
男性	対象者数(人) ※	584	586
	有所見者数(人) ※	214	202
	有所見者割合(%) ※	36.6%	34.5%
女性	対象者数(人) ※	638	618
	有所見者数(人) ※	168	155
	有所見者割合(%) ※	26.3%	25.1%

年度別 有所見者割合(中性脂肪)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは令和3年4月～令和5年3月健診分(24か月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※対象者数 …健診検査値が記録されている人数。

※有所見者数 …保健指導判定値を超えている人数。

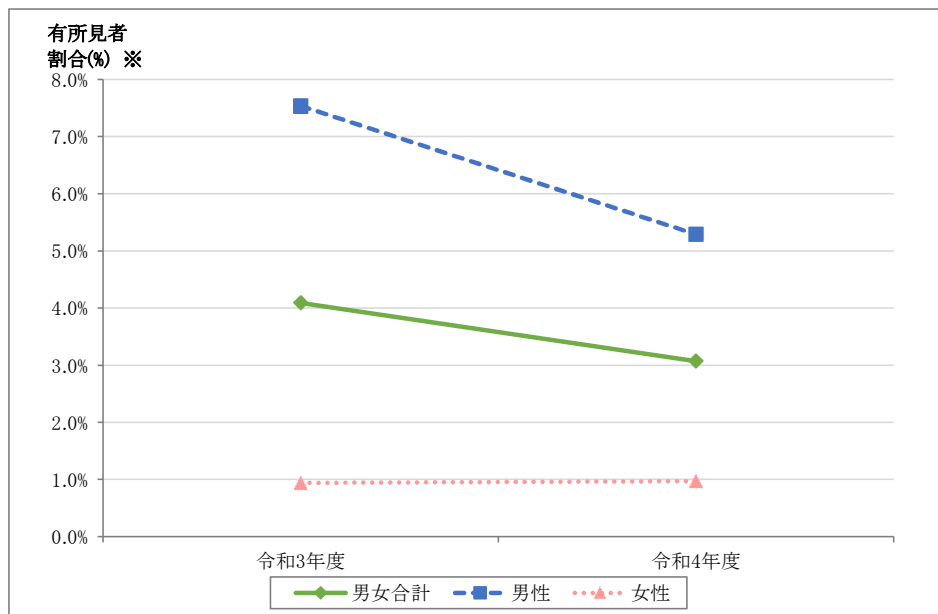
※有所見者割合…健診検査値が記録されている人のうち、保健指導判定値を超えている人の割合。
保健指導判定値により有所見を判定する。

中性脂肪:150mg/dl以上

年度別 有所見者割合(HDLコレステロール)

		令和3年度	令和4年度
男女合計	対象者数(人) ※	1,222	1,204
	有所見者数(人) ※	50	37
	有所見者割合(%) ※	4.1%	3.1%
男性	対象者数(人) ※	584	586
	有所見者数(人) ※	44	31
	有所見者割合(%) ※	7.5%	5.3%
女性	対象者数(人) ※	638	618
	有所見者数(人) ※	6	6
	有所見者割合(%) ※	0.9%	1.0%

年度別 有所見者割合(HDLコレステロール)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは令和3年4月～令和5年3月健診分(24か月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※対象者数 …健診検査値が記録されている人数。

※有所見者数 …保健指導判定値を超えている人数。

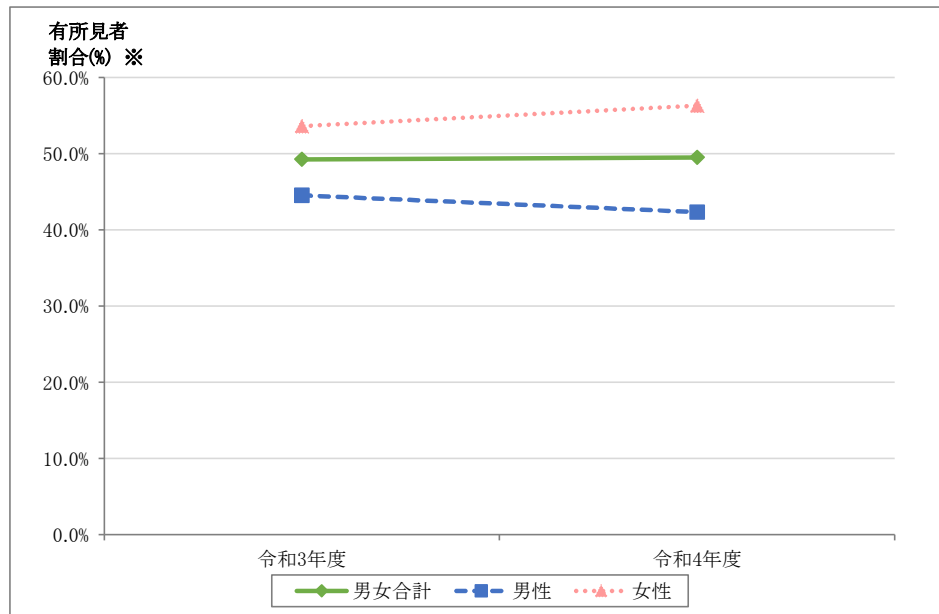
※有所見者割合…健診検査値が記録されている人のうち、保健指導判定値を超えている人の割合。
保健指導判定値により有所見を判定する。

HDLコレステロール:39mg/dl以下

年度別 有所見者割合(LDLコレステロール)

		令和3年度	令和4年度
男女合計	対象者数(人) ※	1,222	1,204
	有所見者数(人) ※	602	596
	有所見者割合(%) ※	49.3%	49.5%
男性	対象者数(人) ※	584	586
	有所見者数(人) ※	260	248
	有所見者割合(%) ※	44.5%	42.3%
女性	対象者数(人) ※	638	618
	有所見者数(人) ※	342	348
	有所見者割合(%) ※	53.6%	56.3%

年度別 有所見者割合(LDLコレステロール)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは令和3年4月～令和5年3月健診分(24か月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※対象者数 …健診検査値が記録されている人数。

※有所見者数 …保健指導判定値を超えている人数。

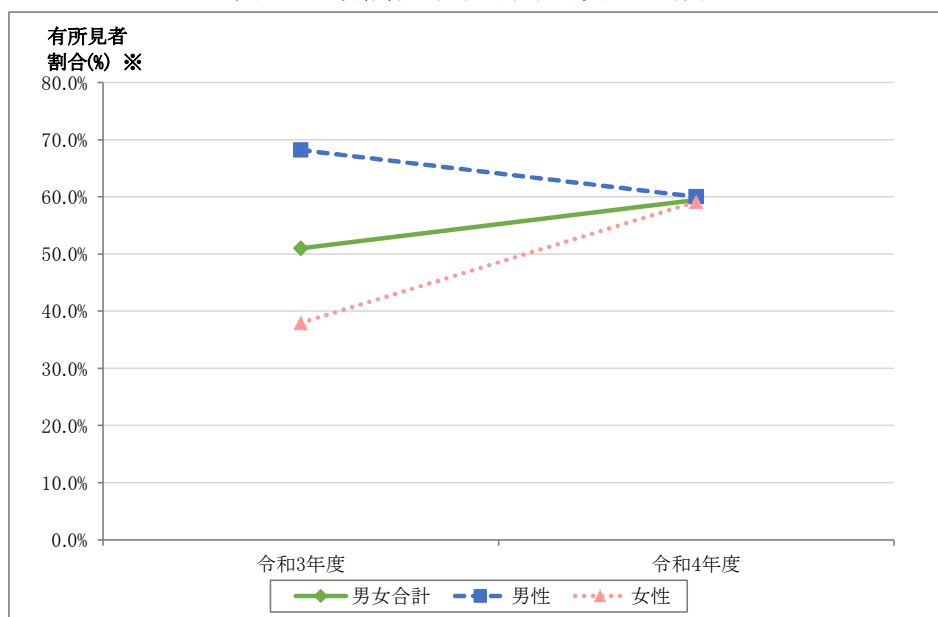
※有所見者割合…健診検査値が記録されている人のうち、保健指導判定値を超えている人の割合。
保健指導判定値により有所見を判定する。

LDLコレステロール:120mg/dl以上

年度別 有所見者割合(空腹時血糖)

		令和3年度	令和4年度
男女合計	対象者数(人) ※	51	37
	有所見者数(人) ※	26	22
	有所見者割合(%) ※	51.0%	59.5%
男性	対象者数(人) ※	22	15
	有所見者数(人) ※	15	9
	有所見者割合(%) ※	68.2%	60.0%
女性	対象者数(人) ※	29	22
	有所見者数(人) ※	11	13
	有所見者割合(%) ※	37.9%	59.1%

年度別 有所見者割合(空腹時血糖)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは令和3年4月～令和5年3月健診分(24か月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※対象者数 …健診検査値が記録されている人数。

※有所見者数 …保健指導判定値を超えている人数。

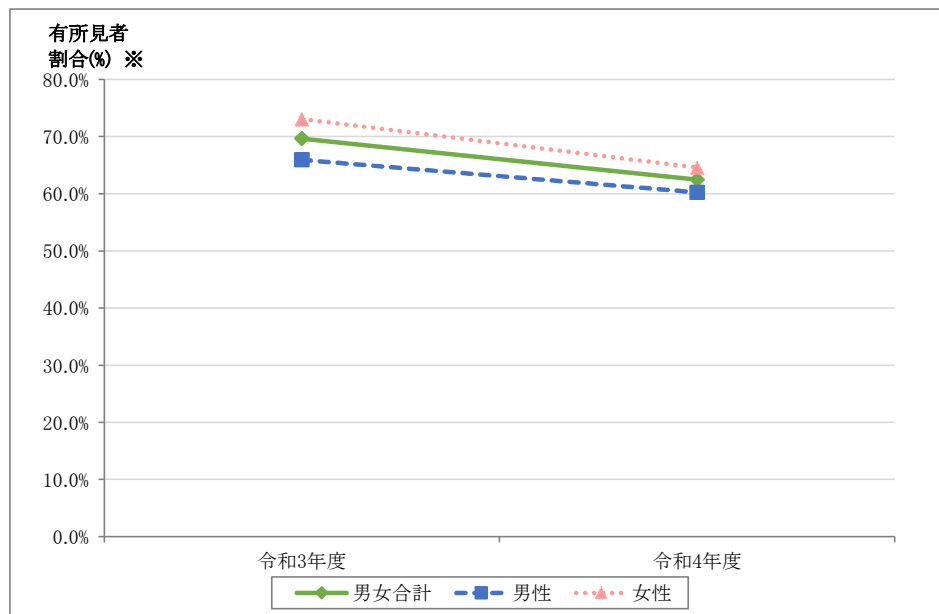
※有所見者割合…健診検査値が記録されている人のうち、保健指導判定値を超えている人の割合。
保健指導判定値により有所見を判定する。

空腹時血糖値:100mg/dl以上

年度別 有所見者割合(HbA1c (NGSP))

		令和3年度	令和4年度
男女合計	対象者数(人) ※	1,222	1,204
	有所見者数(人) ※	851	752
	有所見者割合(%) ※	69.6%	62.5%
男性	対象者数(人) ※	584	586
	有所見者数(人) ※	385	353
	有所見者割合(%) ※	65.9%	60.2%
女性	対象者数(人) ※	638	618
	有所見者数(人) ※	466	399
	有所見者割合(%) ※	73.0%	64.6%

年度別 有所見者割合(HbA1c (NGSP))



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは令和3年4月～令和5年3月健診分(24か月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※対象者数 …健診検査値が記録されている人数。

※有所見者数 …保健指導判定値を超えている人数。

※有所見者割合…健診検査値が記録されている人のうち、保健指導判定値を超えている人の割合。
保健指導判定値により有所見を判定する。

HbA1c (NGSP): 5.6%以上

2. 質問別回答状況

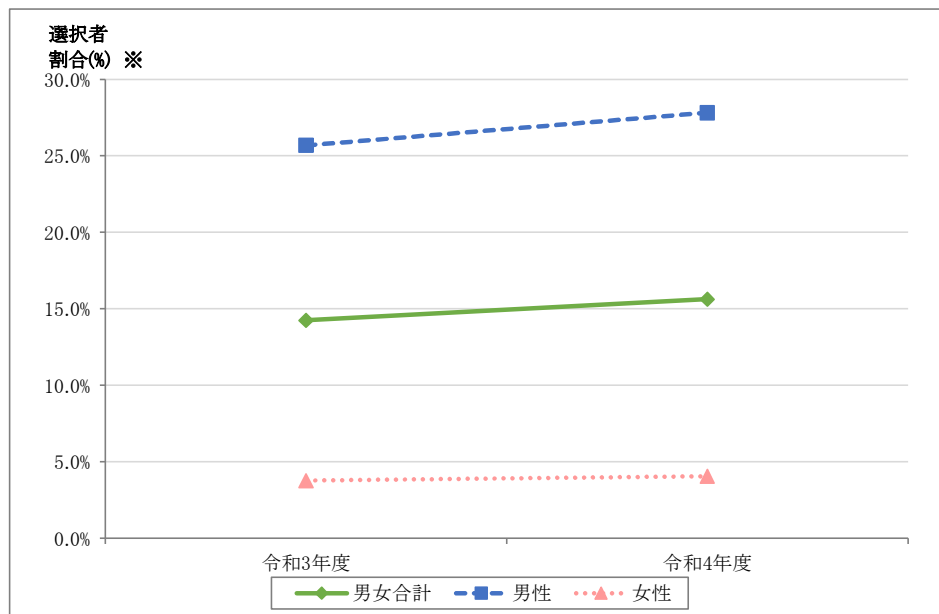
以下は、令和3年度から令和4年度の特定健康診査の質問票における喫煙・運動・口腔機能・食習慣・飲酒・生活習慣の改善に関する集計結果を年度別に示したものです。

(1) 喫煙

年度別 「喫煙あり」 の回答状況

		令和3年度	令和4年度
男女合計	質問回答者数(人) ※	1,222	1,204
	選択者数(人) ※	174	188
	選択者割合(%) ※	14.2%	15.6%
男性	質問回答者数(人) ※	584	586
	選択者数(人) ※	150	163
	選択者割合(%) ※	25.7%	27.8%
女性	質問回答者数(人) ※	638	618
	選択者数(人) ※	24	25
	選択者割合(%) ※	3.8%	4.0%

年度別 「喫煙あり」 の回答状況



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは令和3年4月～令和5年3月健診分(24か月分)。

資格確認日…各年度末時点。

「現在、たばこを習慣的に吸っていますか。」の質問に対する回答を集計。

※質問回答者数…質問に回答した人数。

※選択者数 …質問に対し「はい」を選択した人数。

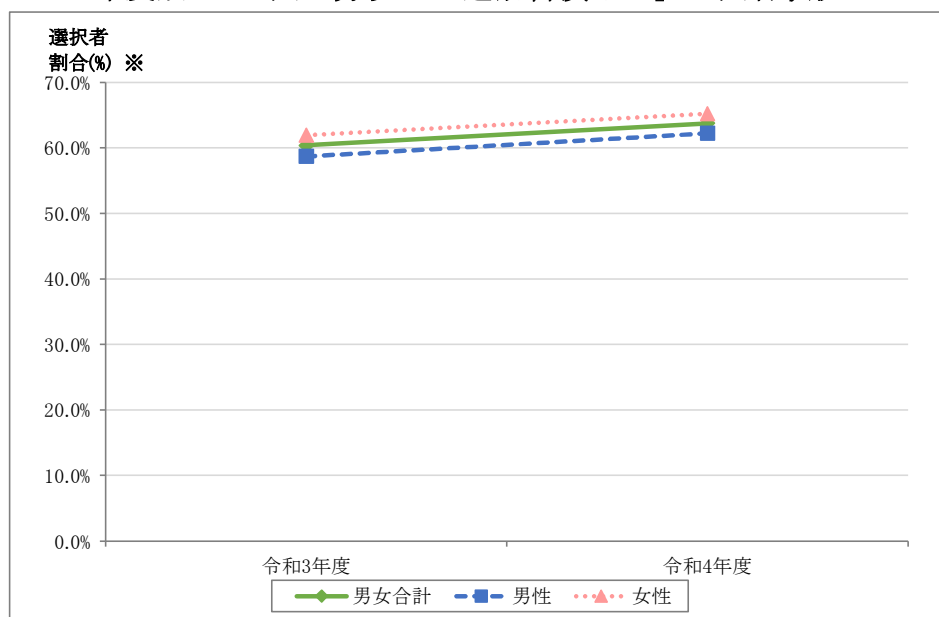
※選択者割合 …質問回答者のうち、「はい」を選択した人の割合。

(2) 運動

年度別 「1回30分以上の運動習慣なし」の回答状況

		令和3年度	令和4年度
男女合計	質問回答者数(人) ※	1,214	1,203
	選択者数(人) ※	733	767
	選択者割合(%) ※	60.4%	63.8%
男性	質問回答者数(人) ※	581	585
	選択者数(人) ※	341	364
	選択者割合(%) ※	58.7%	62.2%
女性	質問回答者数(人) ※	633	618
	選択者数(人) ※	392	403
	選択者割合(%) ※	61.9%	65.2%

年度別 「1回30分以上の運動習慣なし」の回答状況



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは令和3年4月～令和5年3月健診分(24か月分)。

資格確認日…各年度末時点。

「1回30分以上の軽く汗をかく運動を週2日以上、1年以上実施していますか。」の質問に対する回答を集計。

※質問回答者数…質問に回答した人数。

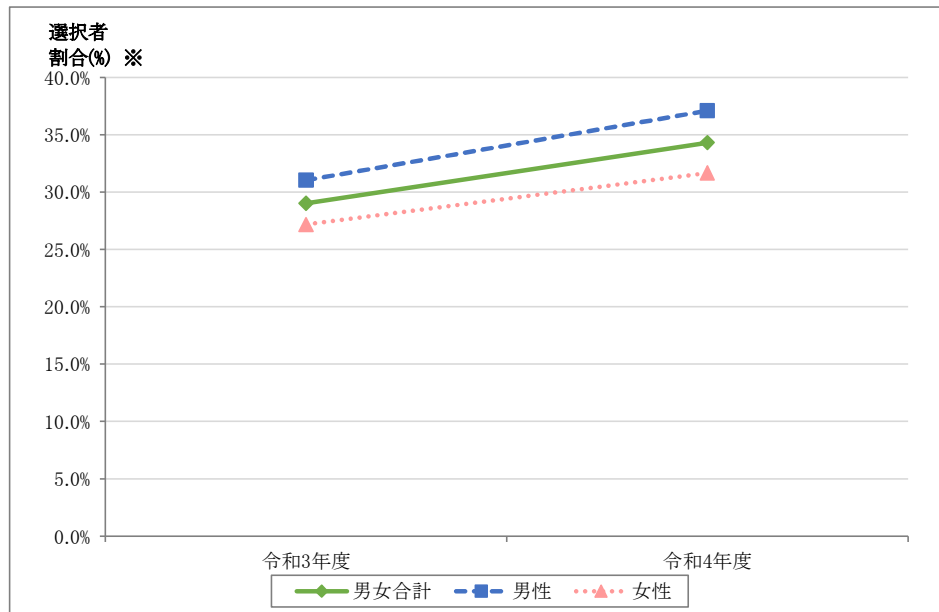
※選択者数…質問に対し「いいえ」を選択した人数。

※選択者割合…質問回答者のうち、「いいえ」を選択した人の割合。

年度別 「１日１時間以上の身体活動なし」の回答状況

		令和3年度	令和4年度
男女合計	質問回答者数(人) ※	1,213	1,201
	選択者数(人) ※	352	412
	選択者割合(%) ※	29.0%	34.3%
男性	質問回答者数(人) ※	580	585
	選択者数(人) ※	180	217
	選択者割合(%) ※	31.0%	37.1%
女性	質問回答者数(人) ※	633	616
	選択者数(人) ※	172	195
	選択者割合(%) ※	27.2%	31.7%

年度別 「１日１時間以上の身体活動なし」の回答状況



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは令和３年４月～令和５年３月健診分(24か月分)。

資格確認日…各年度末時点。

「日常生活において歩行又は同等の身体活動を１日１時間以上実施していますか。」の質問に対する回答を集計。

※質問回答者数…質問に回答した人数。

※選択者数 …質問に対し「いいえ」を選択した人数。

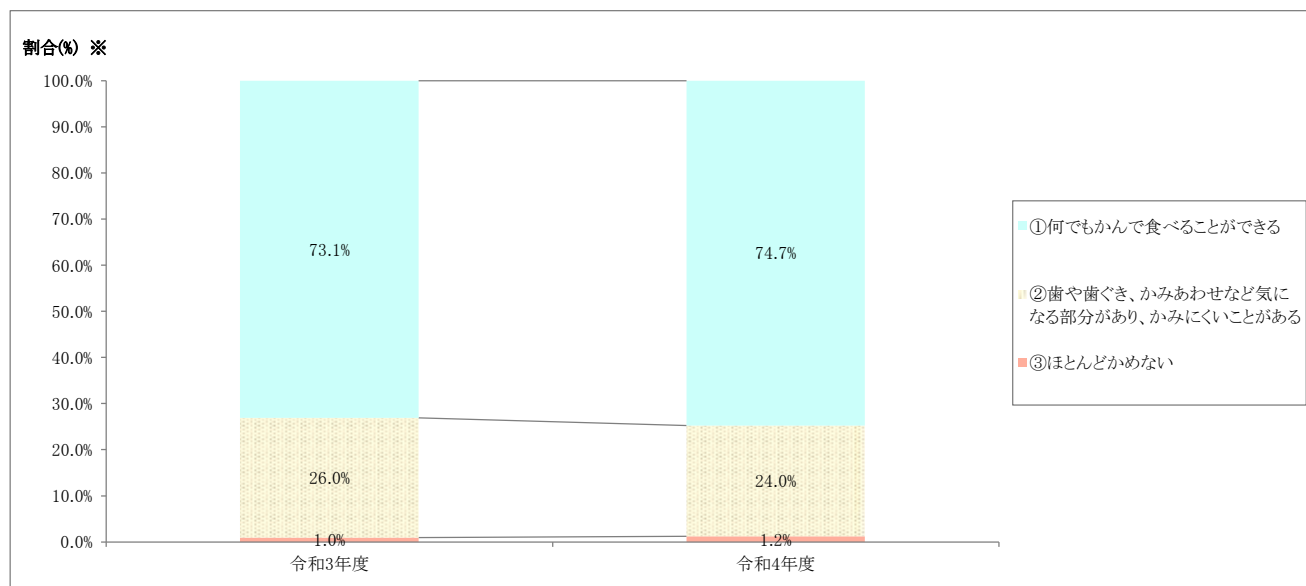
※選択者割合 …質問回答者のうち、「いいえ」を選択した人の割合。

(3) 口腔機能

年度別 口腔機能に関する回答状況(男女合計)

年度	質問回答者数(人) ※	①何でもかんで食べることができる		②歯や歯ぐき、かみあわせなど気になる部分があり、かみにくいことがある		③ほとんどかめない	
		選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※
令和3年度	1,210	884	73.1%	314	26.0%	12	1.0%
令和4年度	1,203	899	74.7%	289	24.0%	15	1.2%

年度別 口腔機能に関する回答状況(男女合計)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは令和3年4月～令和5年3月健診分(24か月分)。

資格確認日…各年度末時点。

「食事をかんで食べる時の状態はどれにあてはまりますか。」の質問に対する回答を集計。

※質問回答者数…質問に回答した人数。

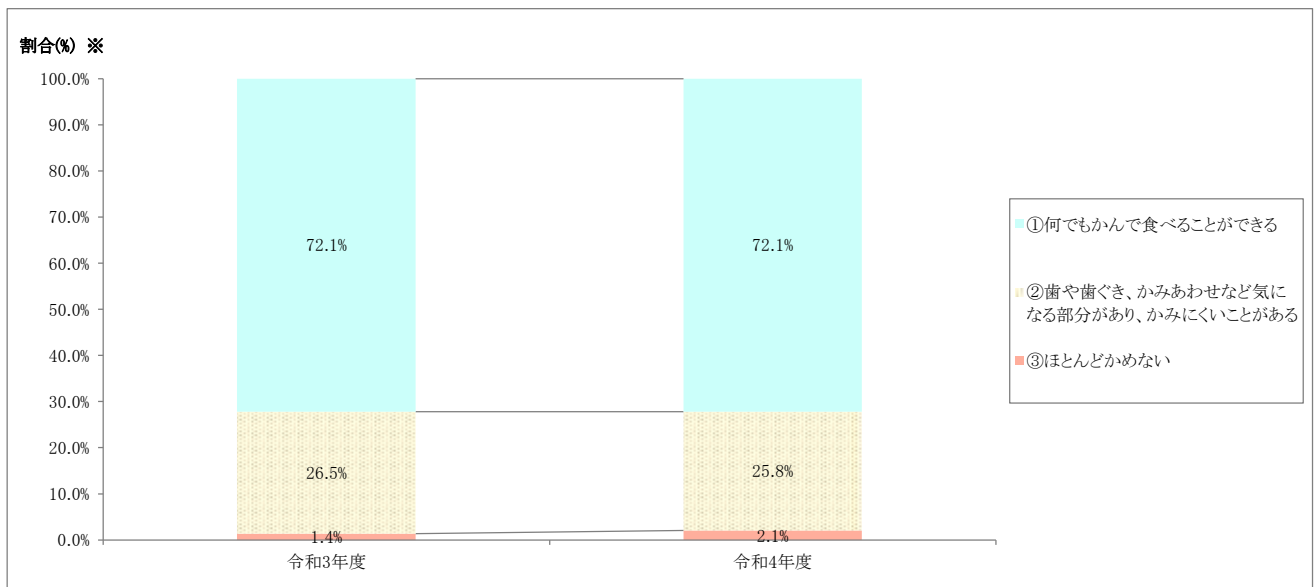
※選択者数…質問に対し各選択肢を選択した人数。

※割合…質問回答者のうち、各選択肢を選択した人の割合。

年度別 口腔機能に関する回答状況(男性)

年度	質問回答者数(人) ※	①何でもかんで食べることができる		②歯や歯ぐき、かみあわせなど気になる部分があり、かみにくいことがある		③ほとんどかめない	
		選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※
令和3年度	578	417	72.1%	153	26.5%	8	1.4%
令和4年度	585	422	72.1%	151	25.8%	12	2.1%

年度別 口腔機能に関する回答状況(男性)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは令和3年4月～令和5年3月健診分(24か月分)。

資格確認日…各年度末時点。

「食事をかんで食べる時の状態はどれにあてはまりますか。」の質問に対する回答を集計。

※質問回答者数…質問に回答した人数。

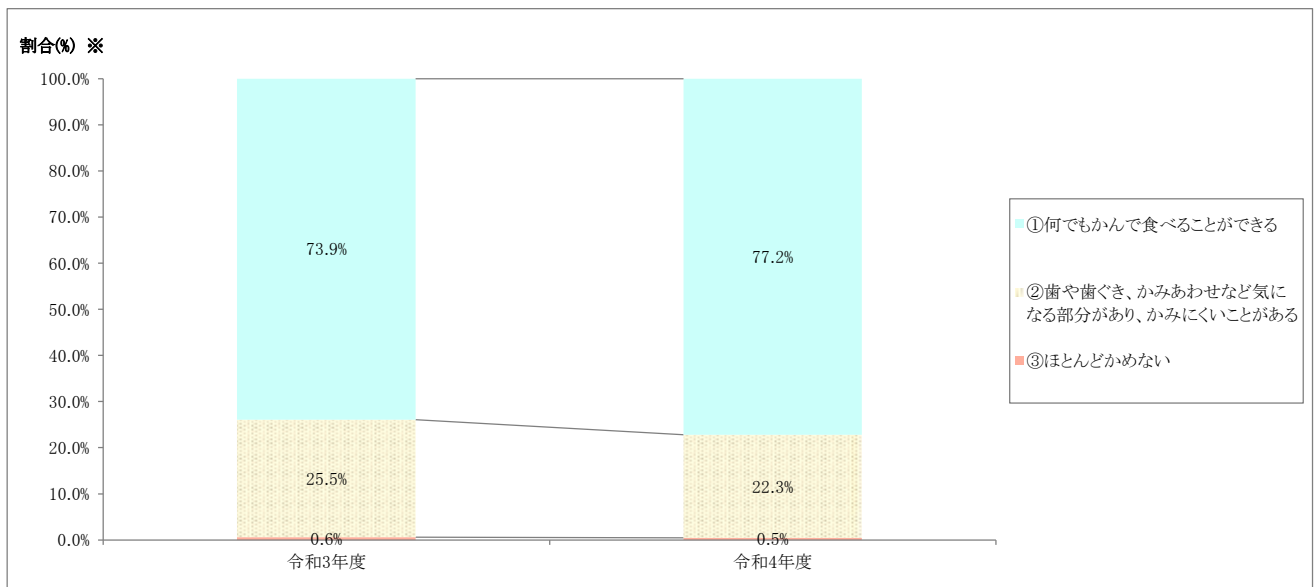
※選択者数…質問に対し各選択肢を選択した人数。

※割合…質問回答者のうち、各選択肢を選択した人の割合。

年度別 口腔機能に関する回答状況(女性)

年度	質問回答者数(人) ※	①何でもかんで食べることができる		②歯や歯ぐき、かみあわせなど気になる部分があり、かみにくいことがある		③ほとんどかめない	
		選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※
令和3年度	632	467	73.9%	161	25.5%	4	0.6%
令和4年度	618	477	77.2%	138	22.3%	3	0.5%

年度別 口腔機能に関する回答状況(女性)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは令和3年4月～令和5年3月健診分(24か月分)。

資格確認日…各年度末時点。

「食事をかんで食べる時の状態はどれにあてはまりますか。」の質問に対する回答を集計。

※質問回答者数…質問に回答した人数。

※選択者数…質問に対し各選択肢を選択した人数。

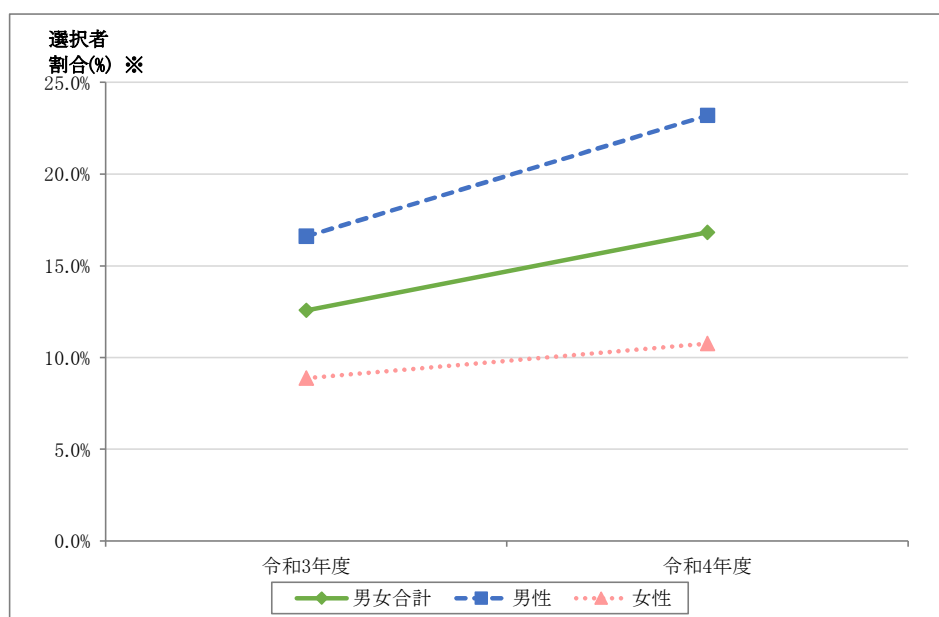
※割合…質問回答者のうち、各選択肢を選択した人の割合。

(4) 食習慣

年度別 「週3回以上就寝前に夕食」の回答状況

		令和3年度	令和4年度
男女合計	質問回答者数(人) ※	1,209	1,195
	選択者数(人) ※	152	201
	選択者割合(%) ※	12.6%	16.8%
男性	質問回答者数(人) ※	578	582
	選択者数(人) ※	96	135
	選択者割合(%) ※	16.6%	23.2%
女性	質問回答者数(人) ※	631	613
	選択者数(人) ※	56	66
	選択者割合(%) ※	8.9%	10.8%

年度別 「週3回以上就寝前に夕食」の回答状況



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは令和3年4月～令和5年3月健診分(24か月分)。

資格確認日…各年度末時点。

「就寝前の2時間以内に夕食をとることが週に3回以上ありますか。」の質問に対する回答を集計。

※質問回答者数…質問に回答した人数。

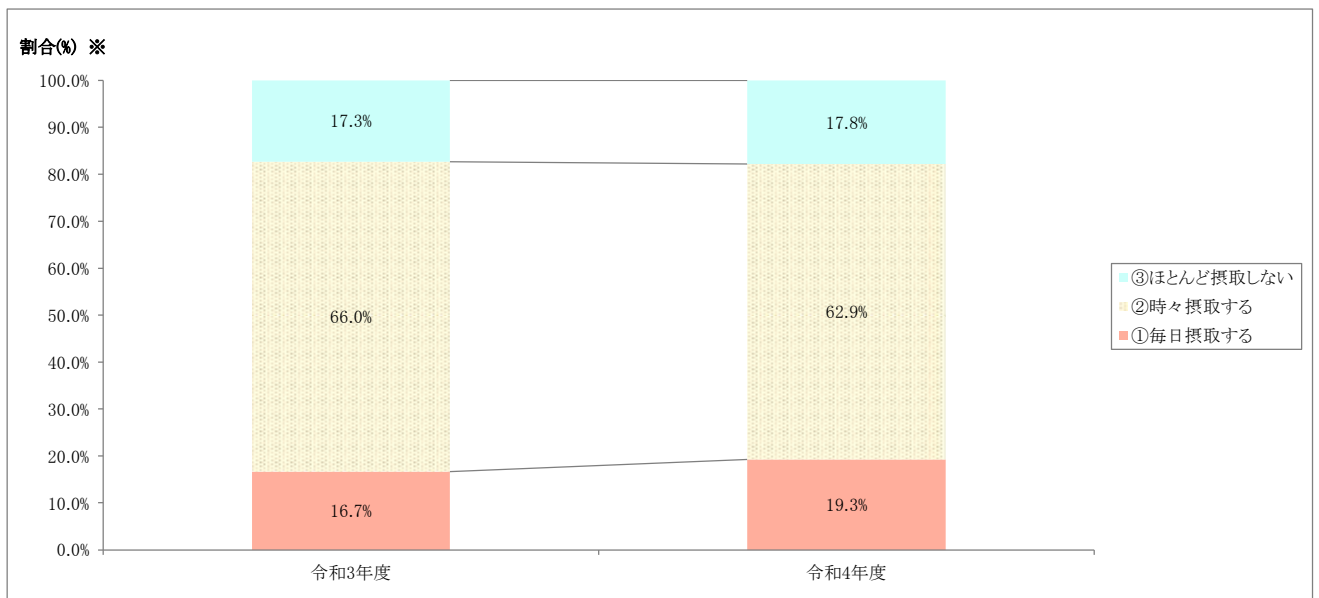
※選択者数…質問に対し「はい」を選択した人数。

※選択者割合…質問回答者のうち、「はい」を選択した人の割合。

年度別 間食に関する回答状況(男女合計)

年度	質問回答者数(人) ※	①毎日摂取する		②時々摂取する		③ほとんど摂取しない	
		選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※
令和3年度	1,213	202	16.7%	801	66.0%	210	17.3%
令和4年度	1,200	231	19.3%	755	62.9%	214	17.8%

年度別 間食に関する回答状況(男女合計)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは令和3年4月～令和5年3月健診分(24か月分)。

資格確認日…各年度末時点。

「朝昼夕の3食以外に間食や甘い飲み物を摂取していますか。」の質問に対する回答を集計。

※質問回答者数…質問に回答した人数。

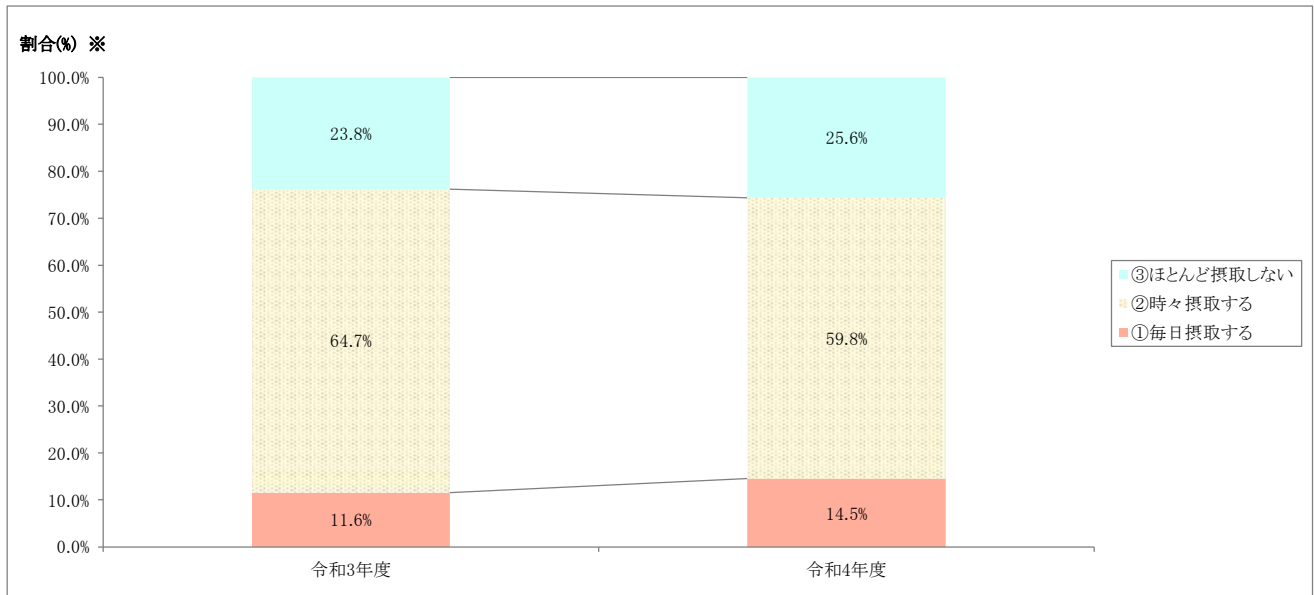
※選択者数…質問に対し各選択肢を選択した人数。

※割合…質問回答者のうち、各選択肢を選択した人の割合。

年度別 間食に関する回答状況(男性)

年度	質問回答者数(人) ※	①毎日摂取する		②時々摂取する		③ほとんど摂取しない	
		選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※
令和3年度	580	67	11.6%	375	64.7%	138	23.8%
令和4年度	585	85	14.5%	350	59.8%	150	25.6%

年度別 間食に関する回答状況(男性)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは令和3年4月～令和5年3月健診分(24か月分)。

資格確認日…各年度末時点。

「朝昼夕の3食以外に間食や甘い飲み物を摂取していますか。」の質問に対する回答を集計。

※質問回答者数…質問に回答した人数。

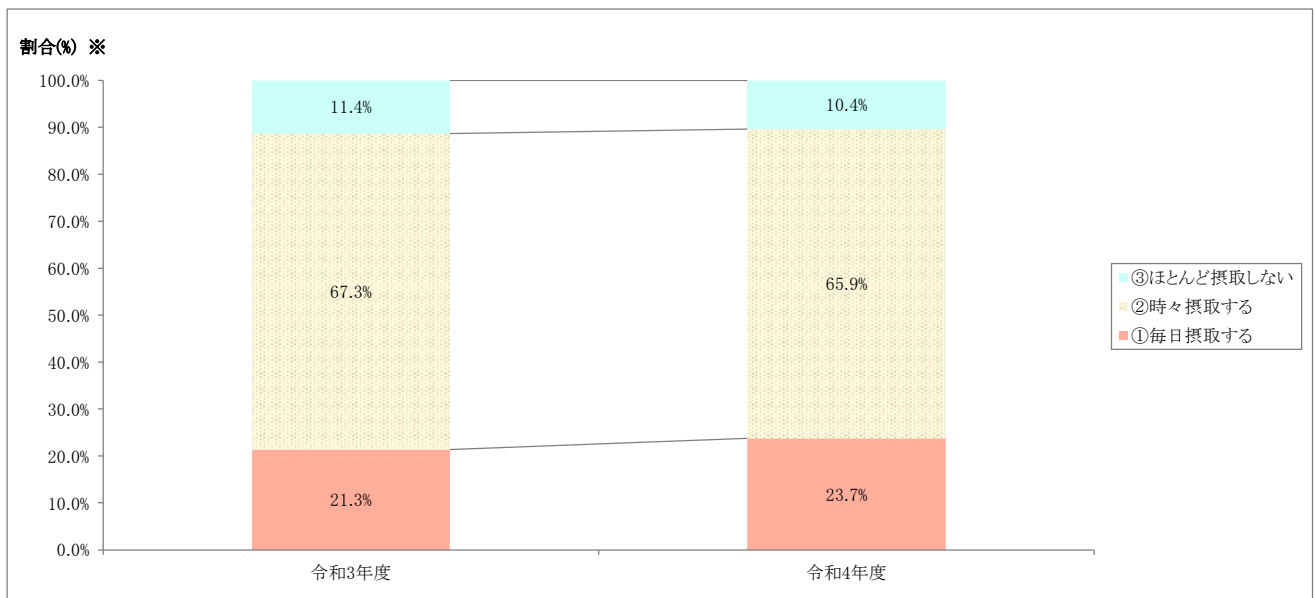
※選択者数 …質問に対し各選択肢を選択した人数。

※割合 …質問回答者のうち、各選択肢を選択した人の割合。

年度別 間食に関する回答状況(女性)

年度	質問回答者数(人) ※	①毎日摂取する		②時々摂取する		③ほとんど摂取しない	
		選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※
令和3年度	633	135	21.3%	426	67.3%	72	11.4%
令和4年度	615	146	23.7%	405	65.9%	64	10.4%

年度別 間食に関する回答状況(女性)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは令和3年4月～令和5年3月健診分(24か月分)。

資格確認日…各年度末時点。

「朝昼夕の3食以外に間食や甘い飲み物を摂取していますか。」の質問に対する回答を集計。

※質問回答者数…質問に回答した人数。

※選択者数 …質問に対し各選択肢を選択した人数。

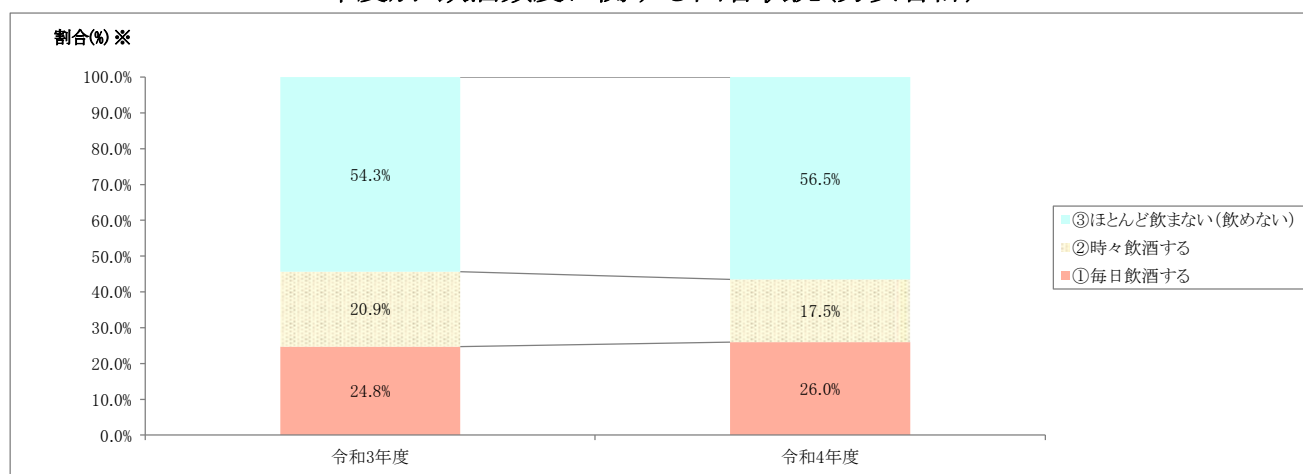
※割合 …質問回答者のうち、各選択肢を選択した人の割合。

(5) 飲酒

年度別 飲酒頻度に関する回答状況(男女合計)

年度	質問回答者数(人) ※	①毎日飲酒する		②時々飲酒する		③ほとんど飲まない(飲めない)	
		選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※
令和3年度	1,208	299	24.8%	253	20.9%	656	54.3%
令和4年度	1,201	312	26.0%	210	17.5%	679	56.5%

年度別 飲酒頻度に関する回答状況(男女合計)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは令和3年4月～令和5年3月健診分(24か月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※質問回答者数…質問に回答した人数。

※質問回答者数…質問に回答した人数。

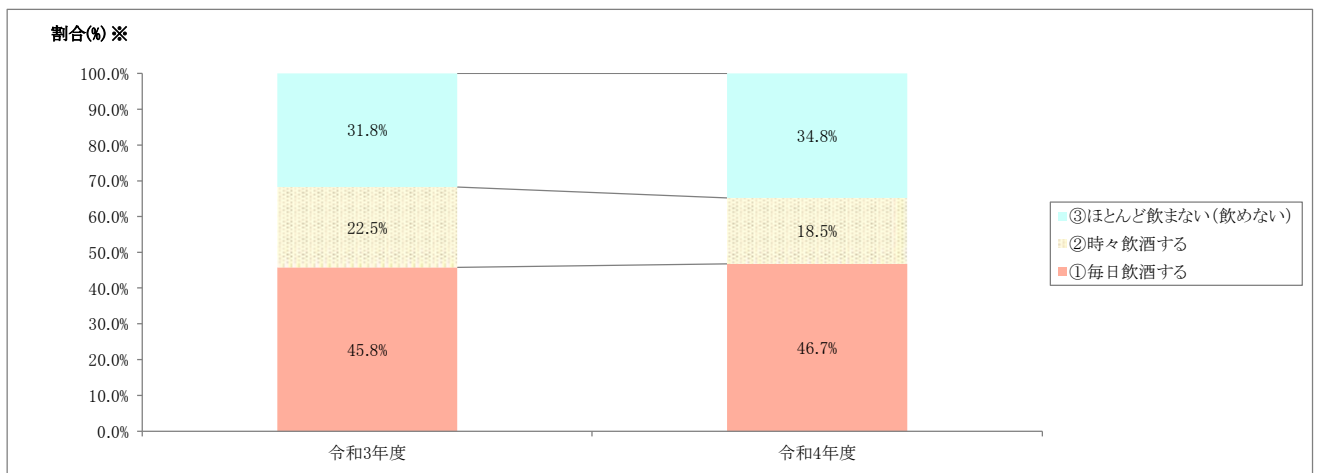
※選択者数…質問に対し各選択肢を選択した人数。

※割合…質問回答者のうち、各選択肢を選択した人の割合。

年度別 飲酒頻度に関する回答状況(男性)

年度	質問回答者数(人) ※	①毎日飲酒する		②時々飲酒する		③ほとんど飲まない(飲めない)	
		選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※
令和3年度	579	265	45.8%	130	22.5%	184	31.8%
令和4年度	584	273	46.7%	108	18.5%	203	34.8%

年度別 飲酒頻度に関する回答状況(男性)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは令和3年4月～令和5年3月健診分(24か月分)。

資格確認日…各年度末時点。

「お酒(日本酒、焼酎、ビール、洋酒など)を飲む頻度はどのくらいですか。」の質問に対する回答を集計。

※質問回答者数…質問に回答した人数。

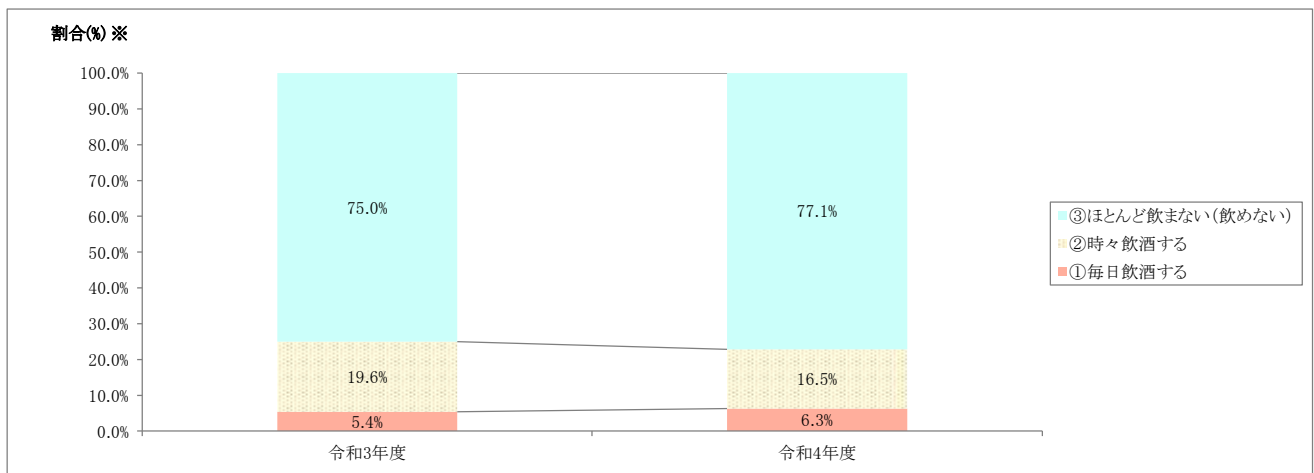
※選択者数…質問に対し各選択肢を選択した人数。

※割合…質問回答者のうち、各選択肢を選択した人の割合。

年度別 飲酒頻度に関する回答状況(女性)

年度	質問回答者数(人) ※	①毎日飲酒する		②時々飲酒する		③ほとんど飲まない(飲めない)	
		選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※
令和3年度	629	34	5.4%	123	19.6%	472	75.0%
令和4年度	617	39	6.3%	102	16.5%	476	77.1%

年度別 飲酒頻度に関する回答状況(女性)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは令和3年4月～令和5年3月健診分(24か月分)。

資格確認日…各年度末時点。

「お酒(日本酒、焼酎、ビール、洋酒など)を飲む頻度はどのくらいですか。」の質問に対する回答を集計。

※質問回答者数…質問に回答した人数。

※選択者数…質問に対し各選択肢を選択した人数。

※割合…質問回答者のうち、各選択肢を選択した人の割合。

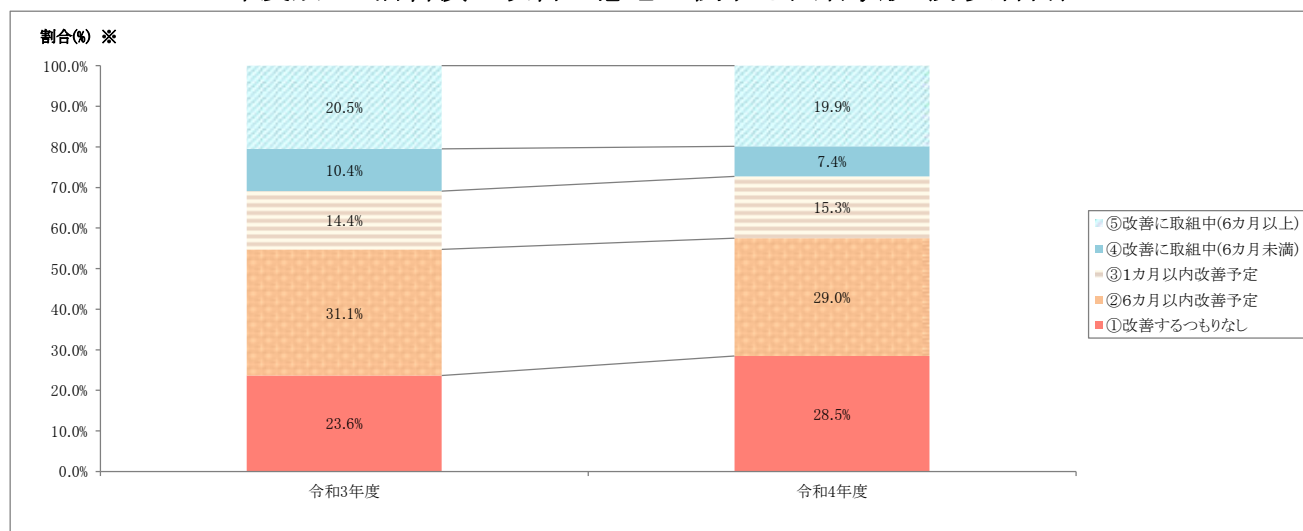
(6)生活習慣の改善

年度別 生活習慣の改善の意思に関する回答状況(男女合計)

年度	質問回答者数(人) ※	①改善するつもりなし		②6カ月以内改善予定		③1カ月以内改善予定	
		選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※
令和3年度	1,114	263	23.6%	347	31.1%	160	14.4%
令和4年度	1,127	321	28.5%	327	29.0%	172	15.3%

年度	質問回答者数(人) ※	④改善に取り組中(6カ月未満)		⑤改善に取り組中(6カ月以上)	
		選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※
令和3年度	1,114	116	10.4%	228	20.5%
令和4年度	1,127	83	7.4%	224	19.9%

年度別 生活習慣の改善の意思に関する回答状況(男女合計)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは令和3年4月～令和5年3月健診分(24か月分)。

資格確認日…各年度末時点。

「運動や食生活等の生活習慣を改善してみようと思いますか。」の質問に対する回答を集計。

※質問回答者数…質問に回答した人数。

※選択者数…質問に対し各選択肢を選択した人数。

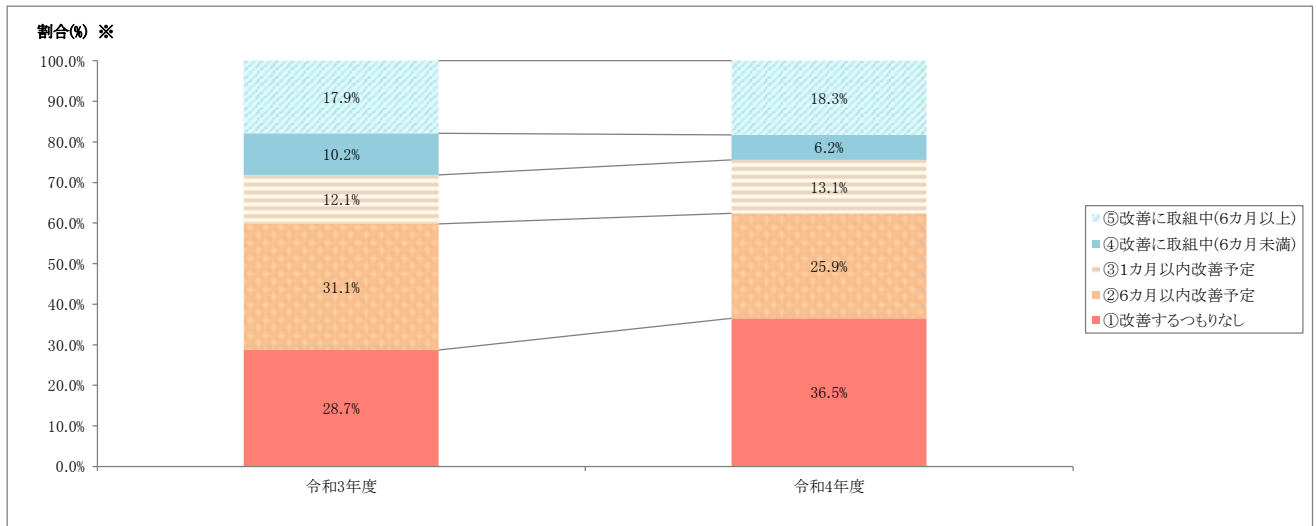
※割合…質問回答者のうち、各選択肢を選択した人の割合。

年度別 生活習慣の改善の意思に関する回答状況(男性)

年度	質問回答者数(人) ※	①改善するつもりなし		②6カ月以内改善予定		③1カ月以内改善予定	
		選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※
令和3年度	547	157	28.7%	170	31.1%	66	12.1%
令和4年度	564	206	36.5%	146	25.9%	74	13.1%

年度	質問回答者数(人) ※	④改善に取り組中(6カ月未満)		⑤改善に取り組中(6カ月以上)	
		選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※
令和3年度	547	56	10.2%	98	17.9%
令和4年度	564	35	6.2%	103	18.3%

年度別 生活習慣の改善の意思に関する回答状況(男性)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは令和3年4月～令和5年3月健診分(24か月分)。

資格確認日…各年度末時点。

「運動や食生活等の生活習慣を改善してみようと思いますか。」の質問に対する回答を集計。

※質問回答者数…質問に回答した人数。

※選択者数…質問に対し各選択肢を選択した人数。

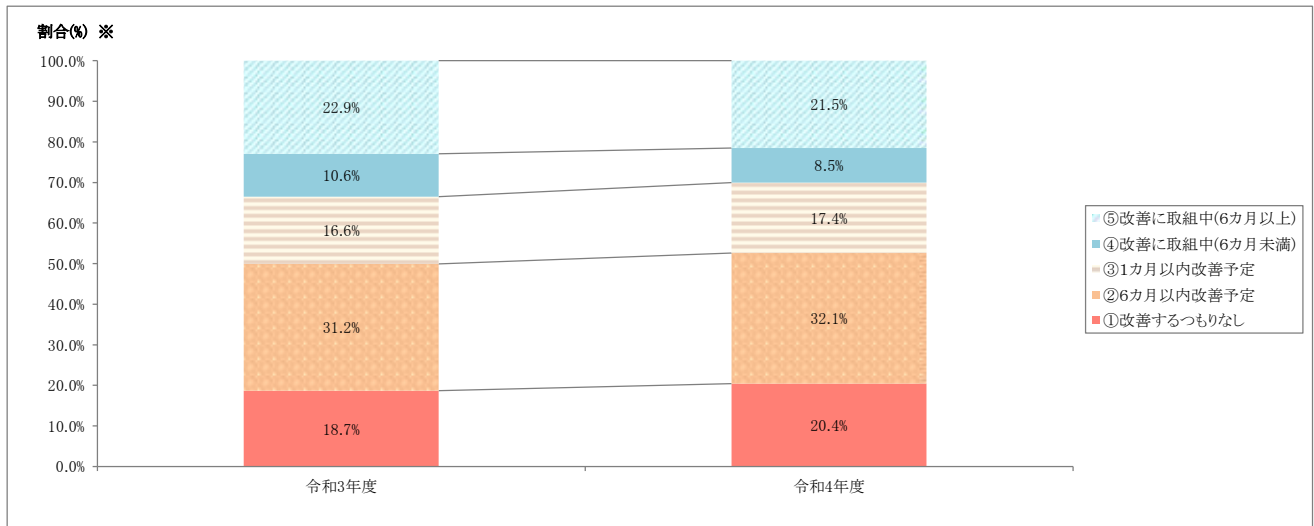
※割合…質問回答者のうち、各選択肢を選択した人の割合。

年度別 生活習慣の改善の意思に関する回答状況(女性)

年度	質問回答者数(人) ※	①改善するつもりなし		②6カ月以内改善予定		③1カ月以内改善予定	
		選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※
令和3年度	567	106	18.7%	177	31.2%	94	16.6%
令和4年度	563	115	20.4%	181	32.1%	98	17.4%

年度	質問回答者数(人) ※	④改善に取り組中(6カ月未満)		⑤改善に取り組中(6カ月以上)	
		選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※
令和3年度	567	60	10.6%	130	22.9%
令和4年度	563	48	8.5%	121	21.5%

年度別 生活習慣の改善の意思に関する回答状況(女性)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは令和3年4月～令和5年3月健診分(24か月分)。

資格確認日…各年度末時点。

「運動や食生活等の生活習慣を改善してみようと思いますか。」の質問に対する回答を集計。

※質問回答者数…質問に回答した人数。

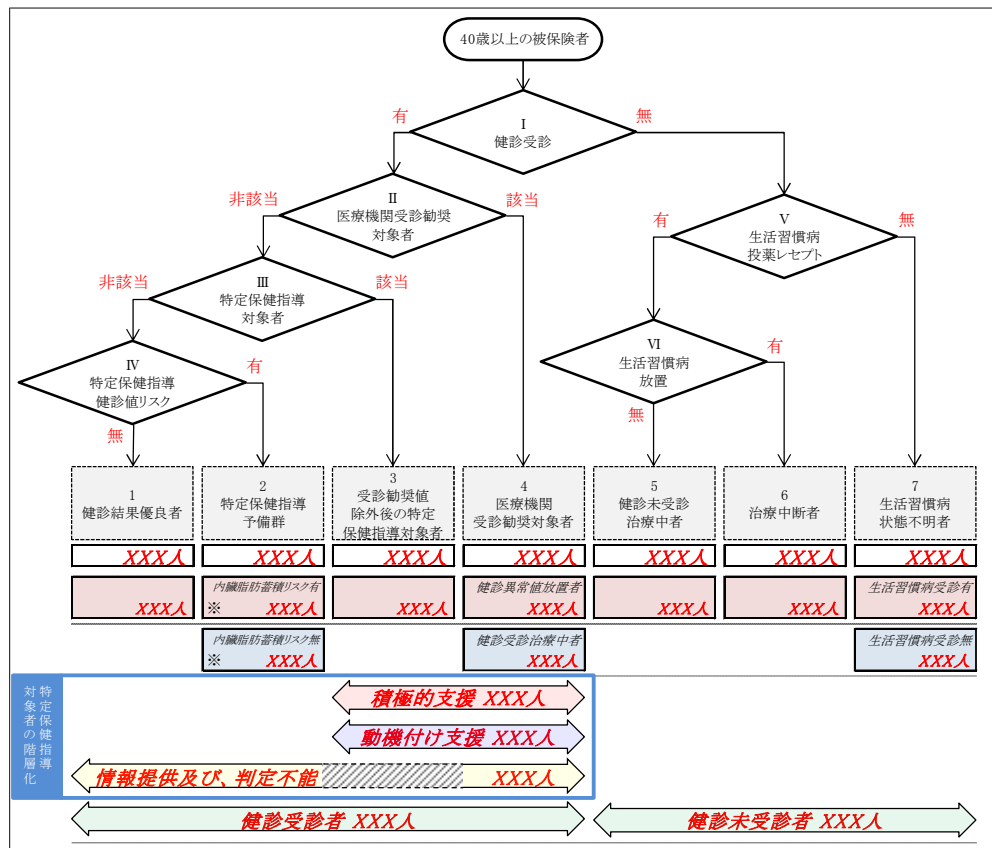
※選択者数…質問に対し各選択肢を選択した人数。

※割合…質問回答者のうち、各選択肢を選択した人の割合。

卷末資料

1. 「指導対象者群分析」のグループ分けの見方

特定健康診査及びレセプトデータによる指導対象者群分析



【フロー説明】

- I 健診受診 …健診受診の有無を判定。
- II 医療機関受診勧奨対象者 …健診値(血糖、血圧、脂質)のいずれかが、厚生労働省が定めた受診勧奨判定値を超えて受診勧奨対象者に該当するか判定。
- III 特定保健指導対象者 …厚生労働省が定めた「標準的な健診・保健指導プログラム」に沿って、特定保健指導対象者に該当するか判定。
- IV 特定保健指導健診値リスク …厚生労働省が定めた保健指導判定値により、健診値(血糖、血圧、脂質)のリスクの有無を判定。判定に喫煙は含めない。
- V 生活習慣病投薬レセプト …生活習慣病(糖尿病、高血圧症、脂質異常症)に関する、投薬の有無を判定。
- VI 生活習慣病放置 …生活習慣病(糖尿病、高血圧症、脂質異常症)を治療している患者で、一定期間の受診状況により生活習慣病放置の有無を判定。

【グループ別説明】

- 健診受診あり
- 健診結果優良者 …保健指導判定値(血糖、血圧、脂質)に該当しない者。
 - 特定保健指導予備群 …保健指導判定値(血糖、血圧、脂質)に該当しているが、その他の条件(服薬有り等)により保健指導対象者でない者。
…「2. 特定保健指導予備群」のうち、服薬が有るため特定保健指導対象者にならなかった者。
…「2. 特定保健指導予備群」のうち、内臓脂肪蓄積リスク(腹囲・BMI)がないため特定保健指導対象者にならなかった者。
 - 受診勧奨値除外後の特定保健指導対象者 …受診勧奨判定値(血糖、血圧、脂質)に該当していない特定保健指導対象者。
 - 医療機関受診勧奨対象者 …受診勧奨判定値(血糖、血圧、脂質)に該当する者。
…「4. 医療機関受診勧奨対象者」のうち、健診受診後に生活習慣病に関する医療機関受診がない者。
…「4. 医療機関受診勧奨対象者」のうち、健診受診後に生活習慣病に関する医療機関受診がある者。または健診受診後生活習慣病に関する医療機関受診はないが、健診受診後間もないため病院受診の意志がない「健診異常値放置者」と判断できない者。
- 健診受診なし
- 健診未受診治療中者 …生活習慣病治療中の者。
 - 治療中断者 …過去に生活習慣病の治療をしていたが、生活習慣病に関する医療機関受診が一定期間ない者。
 - 生活習慣病状態不明者 …生活習慣病の投薬治療をしていない者。
生活習慣病受診有 …「7. 生活習慣病状態不明者」のうち、生活習慣病に関する医療機関受診がある者。
生活習慣病受診無 …「7. 生活習慣病状態不明者」のうち、生活習慣病に関する医療機関受診がない者。

2. 用語解説集

	用語	説明
か行	眼底検査	目の奥の状態を調べる検査。通常眼底写真にて検査する。 動脈硬化の程度、高血圧、糖尿病による眼の合併症や緑内障・白内障の有無などを調べるもの。
	クレアチニン	アミノ酸の一種であるクレアチンが代謝されたあとの老廃物。腎臓でろ過されて尿中に排泄される。 血清クレアチニンの値が高いと、老廃物の排泄機能としての腎臓の機能が低下していることを意味する。
	血圧(収縮期・拡張期)	血管にかかる圧力のこと。心臓が血液を送り出すときに示す最大血圧を収縮期血圧、全身から戻った血液が心臓にたまっているときに示す最小血圧を拡張期血圧という。
	血糖	血液内のブドウ糖の濃度。 食前・食後で変動する。低すぎると低血糖、高すぎると高血糖を引き起こす。
	健康寿命	健康上の問題で日常生活が制限されることなく生活できる期間。
	高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施	高齢者の心身の多様な課題に対応し、きめ細かな支援を実施するため、後期高齢者の保健事業について、後期高齢者医療広域連合と市町村の連携内容を明示し、市町村において、介護保険の地域支援事業や国民健康保険の保健事業と一体的に実施するもの。
さ行	ジェネリック医薬品	後発医薬品のこと。先発医薬品と治療学的に同等であるものとして製造販売が承認され、一般的に研究開発に要する費用が低く抑えられることから、先発医薬品に比べて薬価が安い医薬品。
	疾病分類	「疾病、傷害及び死因の統計分類」の「ICD-10(2013年版)準拠 疾病分類表」を使用。
	人工透析	機能が著しく低下した腎臓に代わり機械で老廃物を取り除くこと。1回につき4～5時間かかる治療を週3回程度、ずっと受け続ける必要があり、身体的にも時間的にも、大きな負担がかかる。
	心電図	心臓の筋肉に流れる電流を体表面から記録する検査。電流の流れ具合に異常がないかがわかる。 また1分間に電気が発生する回数である心拍数も測定される。
	生活習慣病	食事や運動、休養、喫煙、飲酒などの生活習慣が深く関与し、それらが発症の要因となる疾患の総称。重篤な疾患の要因となる。
	積極的支援	特定健康診査の結果により、生活習慣病の発症リスクがより高い者に対して行われる保健指導。「動機付け支援」の内容に加え、対象者が主体的に生活習慣の改善を継続できるよう、面接、電話等を用いて、3カ月以上の定期的・継続的な支援を行う。
た行	中性脂肪	肉や魚・食用油など食品中の脂質や、体脂肪の大部分を占める物質。単に脂肪とも呼ばれる。
	動機付け支援	特定健康診査の結果により、生活習慣病の発症リスクが高い者に対して行われる保健指導。医師・保健師・管理栄養士等による個別、またはグループ面接により、対象者に合わせた行動計画の策定と保健指導が行われる。初回の保健指導修了後、対象者は行動計画を実践し、3カ月経過後に面接、電話等で結果の確認と評価を行う。
	特定健康診査	平成20年4月から開始された、生活習慣病予防のためのメタボリックシンドロームに着目した健康診査のこと。特定健診。40歳～74歳の医療保険加入者を対象とする。
	特定保健指導	特定健康診査の結果により、生活習慣病の発症リスクが高く、生活改善により生活習慣病の予防効果が期待できる人に対して行う保健指導のこと。特定保健指導対象者の選定方法により「動機付け支援」「積極的支援」に該当した人に対し実施される。
な行	尿酸	食べ物に含まれるプリン体という物質が肝臓で分解されてできる、体には必要のない老廃物。主に腎臓からの尿に交じって体外に排出される。
は行	標準化死亡比	標準化死亡比は、基準死亡率(人口10万対の死亡数)を対象地域に当てはめた場合に、計算により求められる期待される死亡数と実際に観察された死亡数とを比較するものである。我が国の平均を100としており、標準化死亡比が100以上の場合は我が国の平均より死亡率が多いと判断され、100以下の場合は死亡率が低いと判断される。

用語		説明
	腹囲	へその高さで計る腰回りの大きさ。内臓脂肪の蓄積の目安とされ、メタボリックシンドロームを診断する指標のひとつ。
	フレイル	フレイルとは、健康な状態と要介護状態の中間の段階をさす。 年齢を重ねていくと、心身や社会性などの面でダメージを受けたときに回復できる力が低下し、これによって健康に過ごせていた状態から、生活を送るために支援を受けなければならない要介護状態に変化していく。
ま行	メタボリックシンドローム	内臓脂肪型肥満に高血圧、高血糖、脂質代謝異常が組み合わさり、心臓病や脳卒中などの動脈硬化性疾患を招きやすい状態。内臓脂肪型肥満(内臓肥満・腹部肥満)に加えて、血圧・血糖・脂質の基準のうち2つ以上に該当する状態を「メタボリックシンドローム」、1つのみ該当する状態を「メタボリックシンドローム予備群」という。
や行	有所見	検査の結果、何らかの異常(検査基準値を上回っている等)が認められたことをいう。
ら行	レセプト	診療報酬明細書の通称。
A～Z	A S T / A L T	A S T (G O Tともいう)は、心臓、筋肉、肝臓に多く存在する酵素である。A L T (G P Tともいう)は、肝臓に多く存在する酵素である。 数値が高い場合は急性肝炎、慢性肝炎、脂肪肝、肝臓がん、アルコール性肝炎などが疑われる。
	B M I	[体重(kg)]÷[身長(m)の2乗]で算出される値で、Body Mass Indexの略。肥満や低体重(やせ)の判定に用いる体格指数のこと。
	e G F R	腎臓機能を示す指標で、クレアチニン値を性別、年齢で補正して算出する。腎臓の中にある毛細血管の集合体である「糸球体」が1分間にどれくらいの血液を濾過して尿を作るかを示す値。 数値が低いと腎臓の機能が低下していることを意味する。
	H b A 1 c	ブドウ糖と血液中のヘモグロビンが結びついたもので、過去1～2か月の平均的な血糖の状態を示す検査に使用される。
	H D L コレステロール	余分なコレステロールを回収して肝臓に運び、動脈硬化を抑える。善玉コレステロール。
	I C T	Information and Communications Technology(インフォメーションアンドコミュニケーションテクノロジー／情報通信技術)の略。コンピュータやデータ通信に関する技術をまとめた呼び方。 特定保健指導においてもその活用が推進されており、代表的なツールとしては、Web会議システムやスマートフォンアプリ、Webアプリ等が挙げられる。
	K D B	「国保データベース(K D B)システム」とは、国保保険者や後期高齢者医療広域連合における保健事業の計画の作成や実施を支援するため、健診・保健指導、医療、介護の各種データを併せて分析できるシステムのこと。
	L D L コレステロール	肝臓で作られたコレステロールを全身へ運ぶ役割を担っており、増えすぎると動脈硬化を起こして心筋梗塞や脳梗塞を発症させる。悪玉コレステロール。
	n o n-H D L コレステロール	総コレステロールからH D L コレステロールを減じたもの。数値が高いと、動脈硬化、脂質代謝異常、甲状腺機能低下症、家族性高脂血症などが疑われる。 低い場合は、栄養吸収障害、低βリポたんぱく血症、肝硬変などが疑われる。

3. 疾病分類

疾病分類表(2013年版)

コード	疾病分類	主な疾病		
Ⅰ．感染症及び寄生虫症				
0101	腸管感染症	下痢症	急性胃腸炎	感染性胃腸炎
0102	結核	肺結核	結核性胸膜炎	潜在性結核感染症
0103	主として性的伝播様式をとる感染症	梅毒	クラミジア頸管炎	淋病
0104	皮膚及び粘膜の病変を伴うウイルス性疾患	尋常性疣贅	帯状疱疹	単純ヘルペス
0105	ウイルス性肝炎	B型肝炎	C型肝炎	C型慢性肝炎
0106	その他のウイルス性疾患	アデノウイルス感染症	流行性角結膜炎	R Sウイルス感染症
0107	真菌症	足白癬	皮膚カンジダ症	爪白癬
0108	感染症及び寄生虫症の続発・後遺症	陳旧性肺結核	肺結核後遺症	小児麻痺後遺症
0109	その他の感染症及び寄生虫症	ヘリコバクター・ピロリ感染症	溶連菌感染症	敗血症
Ⅱ．新生物＜腫瘍＞				
0201	胃の悪性新生物＜腫瘍＞	胃癌	早期胃癌	胃体部癌
0202	結腸の悪性新生物＜腫瘍＞	大腸癌	S状結腸癌	上行結腸癌
0203	直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物＜腫瘍＞	直腸癌	直腸S状部結腸癌	直腸癌術後再発
0204	肝及び肝内胆管の悪性新生物＜腫瘍＞	肝癌	肝細胞癌	原発性肝癌
0205	気管，気管支及び肺の悪性新生物＜腫瘍＞	肺癌	上葉肺癌	下葉肺癌
0206	乳房の悪性新生物＜腫瘍＞	乳癌	乳房上外側部乳癌	乳癌再発
0207	子宮の悪性新生物＜腫瘍＞	子宮体癌	子宮頸癌	子宮癌
0208	悪性リンパ腫	悪性リンパ腫	非ホジキンリンパ腫	びまん性大細胞型B細胞性リンパ腫
0209	白血病	成人T細胞白血病リンパ腫	白血病	慢性骨髄性白血病
0210	その他の悪性新生物＜腫瘍＞	前立腺癌	膵癌	膀胱癌
0211	良性新生物＜腫瘍＞及びその他の新生物＜腫瘍＞	子宮筋腫	脳腫瘍	肺腫瘍
Ⅲ．血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害				
0301	貧血	鉄欠乏性貧血	貧血	巨赤芽球性貧血
0302	その他の血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	播種性血管内凝固	血液凝固異常	血小板減少症
Ⅳ．内分泌，栄養及び代謝疾患				
0401	甲状腺障害	甲状腺機能低下症	甲状腺機能亢進症	甲状腺腫
0402	糖尿病	糖尿病	2型糖尿病	糖尿病網膜症
0403	脂質異常症	高脂血症	高コレステロール血症	脂質異常症
0404	その他の内分泌，栄養及び代謝疾患	脱水症	高尿酸血症	卵巣機能不全
Ⅴ．精神及び行動の障害				
0501	血管性及び詳細不明の認知症	認知症	血管性認知症	老年精神病
0502	精神作用物質使用による精神及び行動の障害	ニコチン依存症	アルコール依存症	急性アルコール中毒
0503	統合失調症，統合失調症型障害及び妄想性障害	統合失調症	統合失調症様状態	幻覚妄想状態
0504	気分〔感情〕障害（躁うつ病を含む）	うつ病	うつ状態	躁うつ病
0505	神経症性障害，ストレス関連障害及び身体表現性障害	不安神経症	神経症	心身症
0506	知的障害＜精神遅滞＞	知的障害	軽度知的障害	重度知的障害
0507	その他の精神及び行動の障害	摂食障害	器質性精神障害	せん妄

コード	疾病分類	主な疾病		
Ⅵ. 神経系の疾患				
0601	パーキンソン病	パーキンソン症候群	パーキンソン病	パーキンソン病Y a h r 3
0602	アルツハイマー病	アルツハイマー型認知症	アルツハイマー病	アルツハイマー型老年認知症
0603	てんかん	てんかん	症候性てんかん	精神運動発作
0604	脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群	片麻痺	脳性麻痺	不全麻痺
0605	自律神経系の障害	自律神経失調症	神経調節性失神	自律神経障害
0606	その他の神経系の疾患	不眠症	片頭痛	睡眠時無呼吸症候群
Ⅶ. 眼及び付属器の疾患				
0701	結膜炎	アレルギー性結膜炎	結膜炎	慢性結膜炎
0702	白内障	白内障	加齢性白内障	後発白内障
0703	屈折及び調節の障害	近視性乱視	遠視性乱視	老視
0704	その他の眼及び付属器の疾患	ドライアイ	緑内障	眼精疲労
Ⅷ. 耳及び乳様突起の疾患				
0801	外耳炎	外耳炎	外耳湿疹	急性外耳炎
0802	その他の外耳疾患	耳垢栓塞	耳介軟骨膜炎	耳瘻孔
0803	中耳炎	滲出性中耳炎	急性中耳炎	中耳炎
0804	その他の中耳及び乳様突起の疾患	耳管狭窄症	耳管機能低下	真珠腫性中耳炎
0805	メニエール病	メニエール病	メニエール症候群	内耳性めまい
0806	その他の内耳疾患	良性発作性頭位めまい症	末梢性めまい症	耳性めまい
0807	その他の耳疾患	感音難聴	難聴	耳鳴症
Ⅸ. 循環器系の疾患				
0901	高血圧性疾患	高血圧症	本態性高血圧症	高血圧性心疾患
0902	虚血性心疾患	狭心症	急性心筋梗塞	心筋梗塞
0903	その他の心疾患	心不全	不整脈	慢性心不全
0904	くも膜下出血	くも膜下出血	くも膜下出血後遺症	脳動脈瘤破裂
0905	脳内出血	脳出血	脳出血後遺症	視床出血
0906	脳梗塞	脳梗塞	脳梗塞後遺症	多発性脳梗塞
0907	脳動脈硬化（症）	脳動脈硬化症	動脈硬化性脳症	
0908	その他の脳血管疾患	内頸動脈狭窄症	頸動脈硬化症	脳血管障害
0909	動脈硬化（症）	閉塞性動脈硬化症	動脈硬化症	動脈硬化性網膜症
0911	低血圧（症）	起立性低血圧症	低血圧症	起立性調節障害
0912	その他の循環器系の疾患	深部静脈血栓症	末梢循環障害	慢性動脈閉塞症
Ⅹ. 呼吸器系の疾患				
1001	急性鼻咽頭炎 [かぜ] <感冒>	感冒	急性鼻炎	急性鼻咽頭炎
1002	急性咽頭炎及び急性扁桃炎	咽頭炎	急性咽頭炎	扁桃炎
1003	その他の急性上気道感染症	急性上気道炎	急性咽頭喉頭炎	急性副鼻腔炎
1004	肺炎	肺炎	急性肺炎	マイコプラズマ肺炎
1005	急性気管支炎及び急性細気管支炎	急性気管支炎	マイコプラズマ気管支炎	クループ性気管支炎

コード	疾病分類	主な疾病		
1006	アレルギー性鼻炎	アレルギー性鼻炎	花粉症	季節性アレルギー性鼻炎
1007	慢性副鼻腔炎	慢性副鼻腔炎	副鼻腔炎	慢性副鼻腔炎急性増悪
1008	急性又は慢性と明示されない気管支炎	気管支炎	気管気管支炎	びまん性気管支炎
1009	慢性閉塞性肺疾患	慢性気管支炎	肺気腫	慢性閉塞性肺疾患
1010	喘息	気管支喘息	喘息性気管支炎	気管支喘息発作
1011	その他の呼吸器系の疾患	インフルエンザ	呼吸不全	誤嚥性肺炎
X I. 消化器系の疾患				
1101	う蝕	う蝕	二次う蝕	う蝕第2度
1102	歯肉炎及び歯周疾患	歯周炎	歯肉炎	歯冠周囲炎
1103	その他の歯及び歯の支持組織の障害	顎関節症	歯痛	顎関節炎
1104	胃潰瘍及び十二指腸潰瘍	胃潰瘍	十二指腸潰瘍	出血性胃潰瘍
1105	胃炎及び十二指腸炎	慢性胃炎	胃炎	急性胃炎
1106	痔核	内痔核	痔核	外痔核
1107	アルコール性肝疾患	アルコール性肝障害	アルコール性肝炎	アルコール性肝硬変
1108	慢性肝炎（アルコール性のものを除く）	慢性肝炎	活動性慢性肝炎	慢性肝炎増悪
1109	肝硬変（アルコール性のものを除く）	肝硬変症	原発性胆汁性肝硬変	非代償性肝硬変
1110	その他の肝疾患	肝機能障害	脂肪肝	肝障害
1111	胆石症及び胆のう炎	胆のう結石症	胆のう炎	総胆管結石
1112	膵疾患	膵炎	急性膵炎	慢性膵炎
1113	その他の消化器系の疾患	便秘症	逆流性食道炎	口内炎
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患				
1201	皮膚及び皮下組織の感染症	皮膚感染症	蜂窩織炎	膿痂疹性湿疹
1202	皮膚炎及び湿疹	湿疹	皮膚炎	アトピー性皮膚炎
1203	その他の皮膚及び皮下組織の疾患	皮脂欠乏症	皮脂欠乏性湿疹	じんま疹
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患				
1301	炎症性多発性関節障害	関節リウマチ	痛風	関節炎
1302	関節症	変形性膝関節症	変形性関節症	変形性股関節症
1303	脊椎障害（脊椎症を含む）	腰部脊柱管狭窄症	変形性腰椎症	頸椎症
1304	椎間板障害	腰椎椎間板症	腰椎椎間板ヘルニア	頸椎椎間板ヘルニア
1305	頸腕症候群	頸肩腕症候群	頸肩腕障害	
1306	腰痛症及び坐骨神経痛	腰痛症	坐骨神経痛	筋筋膜性腰痛症
1307	その他の脊柱障害	腰椎すべり症	背部痛	頸部痛
1308	肩の傷害＜損傷＞	肩関節周囲炎	肩関節腱板炎	肩石灰性腱炎
1309	骨の密度及び構造の障害	骨粗鬆症	閉経後骨粗鬆症	脊椎骨粗鬆症
1310	その他の筋骨格系及び結合組織の疾患	筋肉痛	神経痛	関節痛
X IV. 腎尿路生殖器系の疾患				
1401	糸球体疾患及び腎尿細管間質性疾患	腎炎	腎盂腎炎	水腎症
1402	腎不全	慢性腎不全	腎性貧血	腎不全

コード	疾病分類	主な疾病		
1403	尿路結石症	腎結石症	尿管結石症	尿路結石症
1404	その他の腎尿路系の疾患	膀胱炎	腎機能低下	尿路感染症
1405	前立腺肥大（症）	前立腺肥大症	前立腺症	
1406	その他の男性生殖器の疾患	慢性前立腺炎	前立腺炎	亀頭包皮炎
1407	月経障害及び閉経周辺期障害	更年期症候群	月経困難症	萎縮性陰炎
1408	乳房及びその他の女性生殖器の疾患	子宮腔部びらん	細菌性陰炎	陰炎
X V．妊娠，分娩及び産じょく				
1501	流産	稽留流産	異所性妊娠	絨毛性疾患
1502	妊娠高血圧症候群	妊娠高血圧症候群	重症妊娠高血圧症候群	子癇
1503	単胎自然分娩	自然頭位分娩	自然分娩	単胎自然分娩
1504	その他の妊娠，分娩及び産じょく	切迫流産	子宮内感染症	血液型不適合
X VI．周産期に発生した病態				
1601	妊娠及び胎児発育に関連する障害	子宮内胎児発育遅延	低出生体重児	早産児
1602	その他の周産期に発生した病態	新生児黄疸	胎児ジストレス	A B O 因子不適合
X VII．先天奇形，変形及び染色体異常				
1701	心臓の先天奇形	心房中隔欠損症	心室中隔欠損症	先天性心疾患
1702	その他の先天奇形，変形及び染色体異常	足底角化症	角皮症	毛孔性苔癬
X VIII．症状，徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの				
1800	症状，徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	頭痛	嘔吐症	めまい症
X IX．損傷，中毒及びその他の外因の影響				
1901	骨折	腰椎圧迫骨折	肋骨骨折	大腿骨頸部骨折
1902	頭蓋内損傷及び内臓の損傷	脳挫傷	外傷性脳出血	硬膜下血腫
1903	熱傷及び腐食	熱傷	第 2 度熱傷	手熱傷
1904	中毒	刺虫症	蜂刺症	食中毒
1905	その他の損傷及びその他の外因の影響	打撲傷	結膜異物	捻挫
X X I．健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用				
2101	検査及び診査のための保健サービスの利用者	検診	健康診断	胃癌検診
2102	予防接種	予防接種		
2103	正常妊娠及び産じょくの管理並びに家族計画	妊娠	正常妊娠	多産婦
2104	歯の補てつ			
2105	特定の処置（歯の補てつを除く）及び保健ケアのための保健サービスの利用者	抜釘	気管切開口に対する手当て	骨髄移植ドナー
2106	その他の理由による保健サービスの利用者	白内障術後	ペースメーカ植え込み後	人工股関節置換術後
X X II．特殊目的用コード				
2210	重症急性呼吸器症候群 [SARS]	重症急性呼吸器症候群		
2220	その他の特殊目的用コード			
分類外				
9999	分類外	ICD-10 及び疾病分類に該当のない疾病		

4. 分析方法

データベースの作成方法及び分析方法は、株式会社データホライゾンの特許技術及び独自技術を用います。

●医療費分解技術(特許第4312757号)

レセプトに記載された全ての傷病名と診療行為(医薬品、検査、手術、処置、指導料等)を正しく結び付け、傷病名毎の医療費を算出します。

レセプトは傷病名毎に点数が振り分けられておらず、通常の統計資料は主傷病名で点数集計されており、また、治療中の傷病と治療済の傷病が併記されています。そのまま分析に使用すると「主傷病以外の傷病の医療費がゼロとなり、傷病名毎の医療費が正確には把握できない」「現在治療中の疾病が把握できない」等の問題があります。医療費分解技術を用いることで、これらの問題を解決し、疾病別に係る医療費を正確に把握できます。

●未コード化傷病名のコード化

レセプトに記載されている未コード化傷病名を、可能な限りコード化します。

レセプトは請求情報のため、傷病名が正確でない場合があります。現状10%程度の未コード化傷病名が含まれています。この問題を解決するため、株式会社データホライゾン独自の辞書情報と突合検索処理を行い、可能な限りコード化を行うことで、集計漏れを極力減らします。

医科レセプト

処方レセプト

傷病名	(1)	本態性高血圧(主)	調剤レセプト	
	(2)	狭心症		
	(3)	うつ病		
	(4)	高コレステロール血症		
	(5)	2型糖尿病		
	(6)	急性上気道炎		
	(7)	アレルギー性鼻炎		
12	再診			
時間	明			
外				
13	特			
60	糖			
摘要欄	Hb			
	外			
	B-			
	尿			
	外			
	血			
	生			
	80	処		
	方			
	長			
決定点数				
2,688				

①未コード化傷病名のコード化

未コード化傷病名を株式会社データホライゾン独自の辞書情報と突合検索処理しコード化します。

医科レセプトの記載		コード化
(1)	本態性高血圧(主)	未コード化傷病名 ⇒ 8840107 本態性高血圧症
(2)	狭心症	4139007 狭心症
(3)	うつ病	2961003 うつ病
(4)	高コレステロール血症	2720004 高コレステロール血症
(5)	2型糖尿病	2500015 2型糖尿病
(6)	急性上気道炎	4659007 急性上気道炎
(7)	アレルギー性鼻炎	4779004 アレルギー性鼻炎

②医療費分解後グルーピング

レセプトに記載された全傷病名に対し、適応のある医薬品や診療行為を関連付け、医療費を分解後、傷病毎にグルーピングします。

医科レセプトの記載		薬品	検査	診療行為	合計点数
(1)	本態性高血圧症(主)	184.3	25.2	266.5	476.0
(2)	狭心症	963.6	4.7	61.0	1,029.3
(3)	うつ病	63.7	0.3	11.0	75.0
(4)	高コレステロール血症	858.1	4.1	57.2	919.4
(5)	2型糖尿病	618.3	356.7	61.3	1,036.3
(6)	急性上気道炎	0.0	0.0	0.0	0.0
(7)	アレルギー性鼻炎	0.0	0.0	0.0	0.0
合計					3,536.0

●傷病管理システム(特許第5203481号)

レセプトに記載されている傷病識別情報、医薬品識別情報及び診療行為識別情報に基づき、傷病の重症度を判定します。

例えば糖尿病の重症度を判定することで、将来の重症化予測や特定した対象患者の病期に合わせた的確な指導を行うことが可能となります。株式会社データホライゾンにおいて開発した傷病管理システムを用いて、糖尿病患者を階層化し特定します。

●レセプト分析システムおよび分析方法(特許第5992234号)

中長期にわたるレセプトから特定の患者についてアクティブな傷病名とノンアクティブな傷病名を識別します。

レセプトに記載されている傷病名は、追記式のため、過去から現在までの傷病名が記載されており、そのうち、約4割が現在治療中でない傷病名といわれています。重症化予防や受診勧奨等、個別の保健事業の実施に当たっては、現在治療中の傷病名のみを取り出し、該当者を抽出する必要があります。前述の「医療費分解技術」では、当月の傷病名別にどのような医薬品や診療行為が使用されたのかは把握できました。しかし、傷病の種類によっては、中長期にわたる投薬や診療がなされるため、必ずしもその傷病名がアクティブかノンアクティブかを識別することが困難でしたが、当特許技術で解決しました。

●服薬情報提供装置、服薬情報提供方法、およびコンピュータプログラム(特許第6409113号)

多剤併用による薬物有害事象(ポリファーマシー)が大きな社会問題となるなか、お薬手帳が実現できなかった患者の全服薬情報を一元的に管理することが求められています。本特許を活用することで、今まで実現できなかった、医科・調剤レセプトから取得した患者毎の全服薬情報を一元的に把握し、患者本人への啓発を促し、かかりつけ医やかかりつけ薬剤師への服薬情報提供を通してポリファーマシー解消のための服薬指導を支援することが可能となります。

●マスタの整備

マスタ(傷病名、医薬品、診療行為等レセプトに記載される全てを網羅したデータベース)を定期的にメンテナンスし最新状態に保ちます。